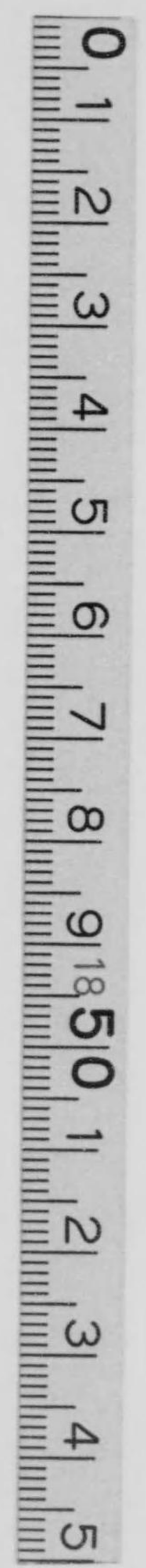
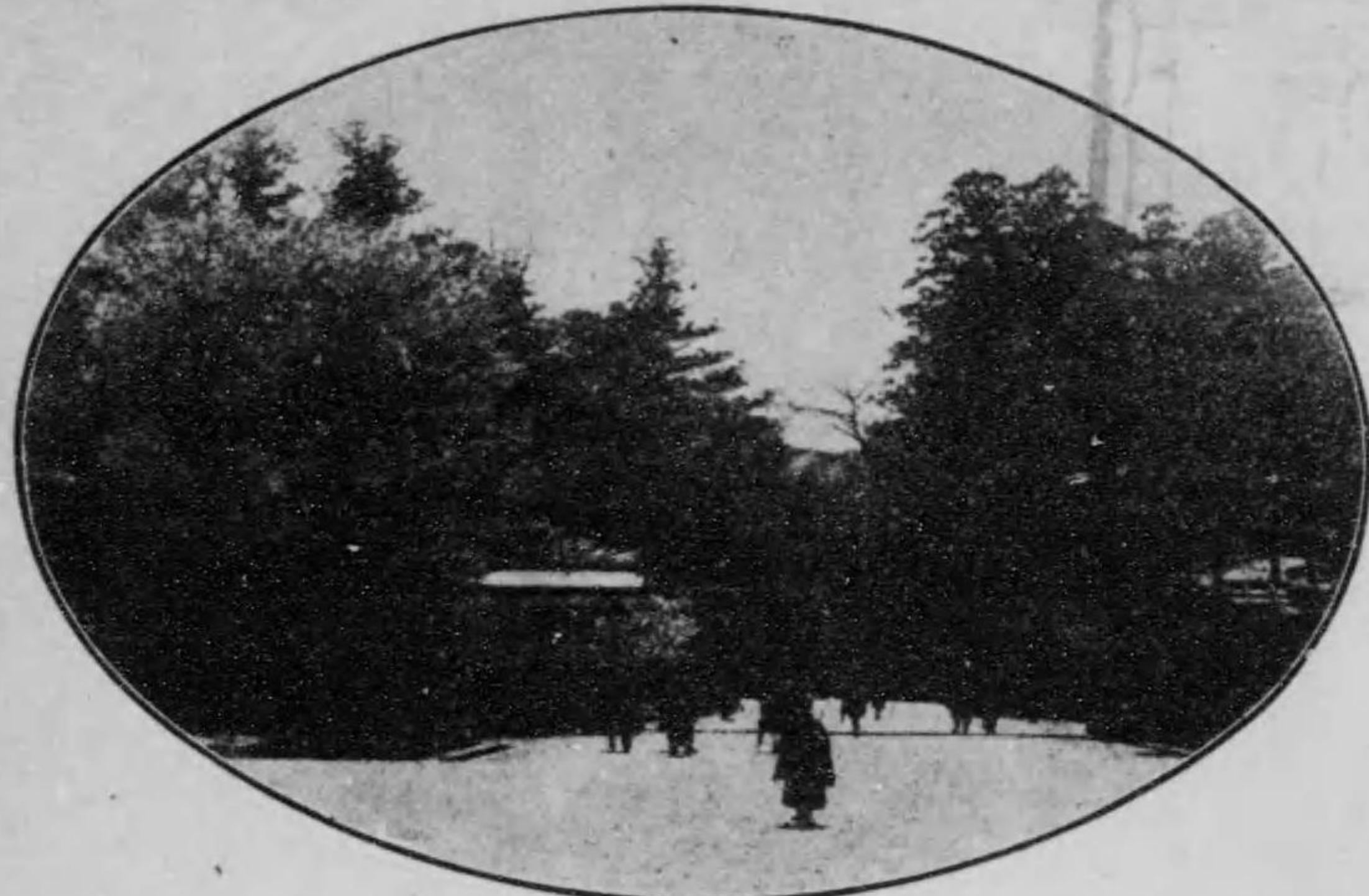
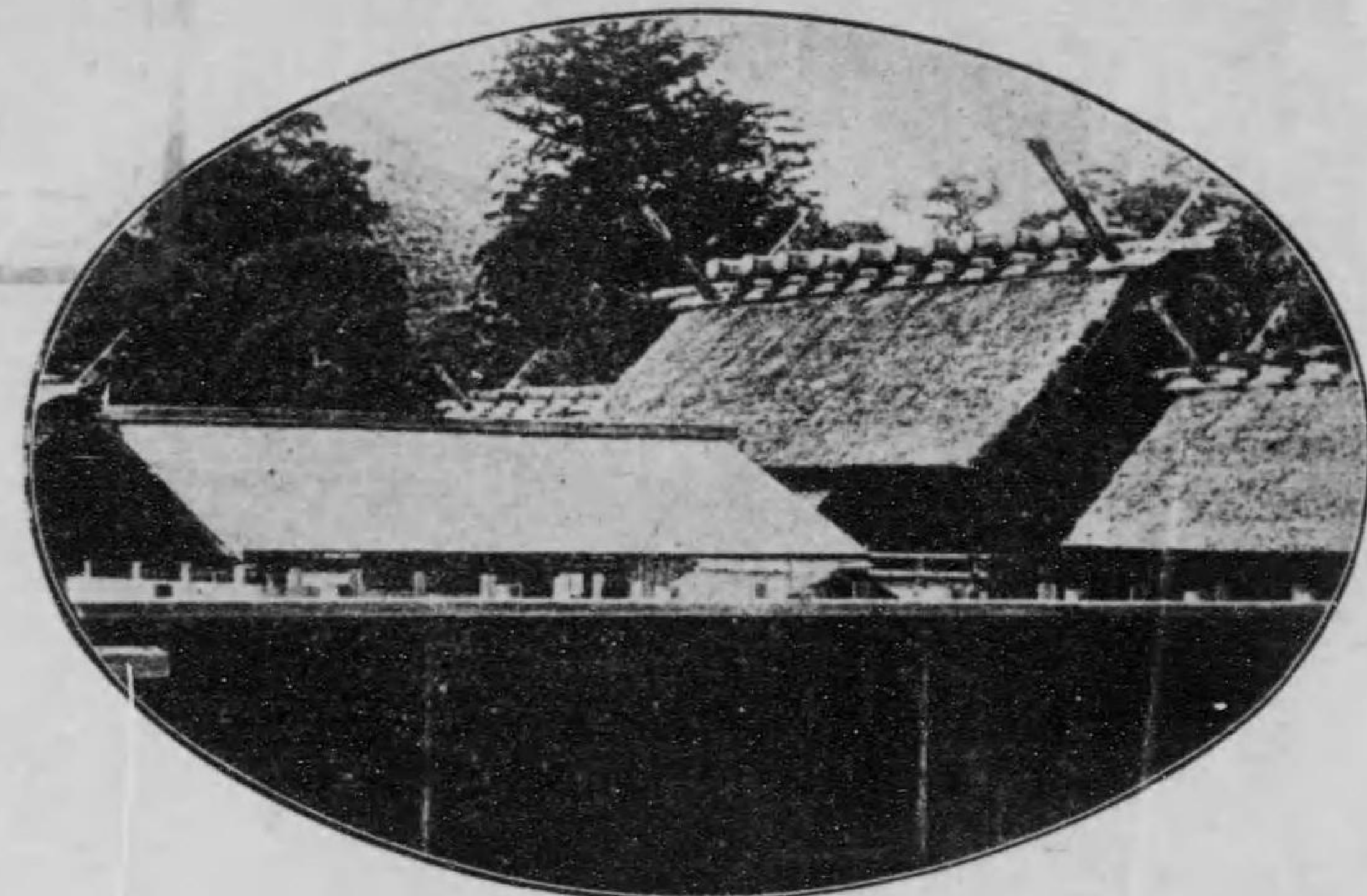


419  
67

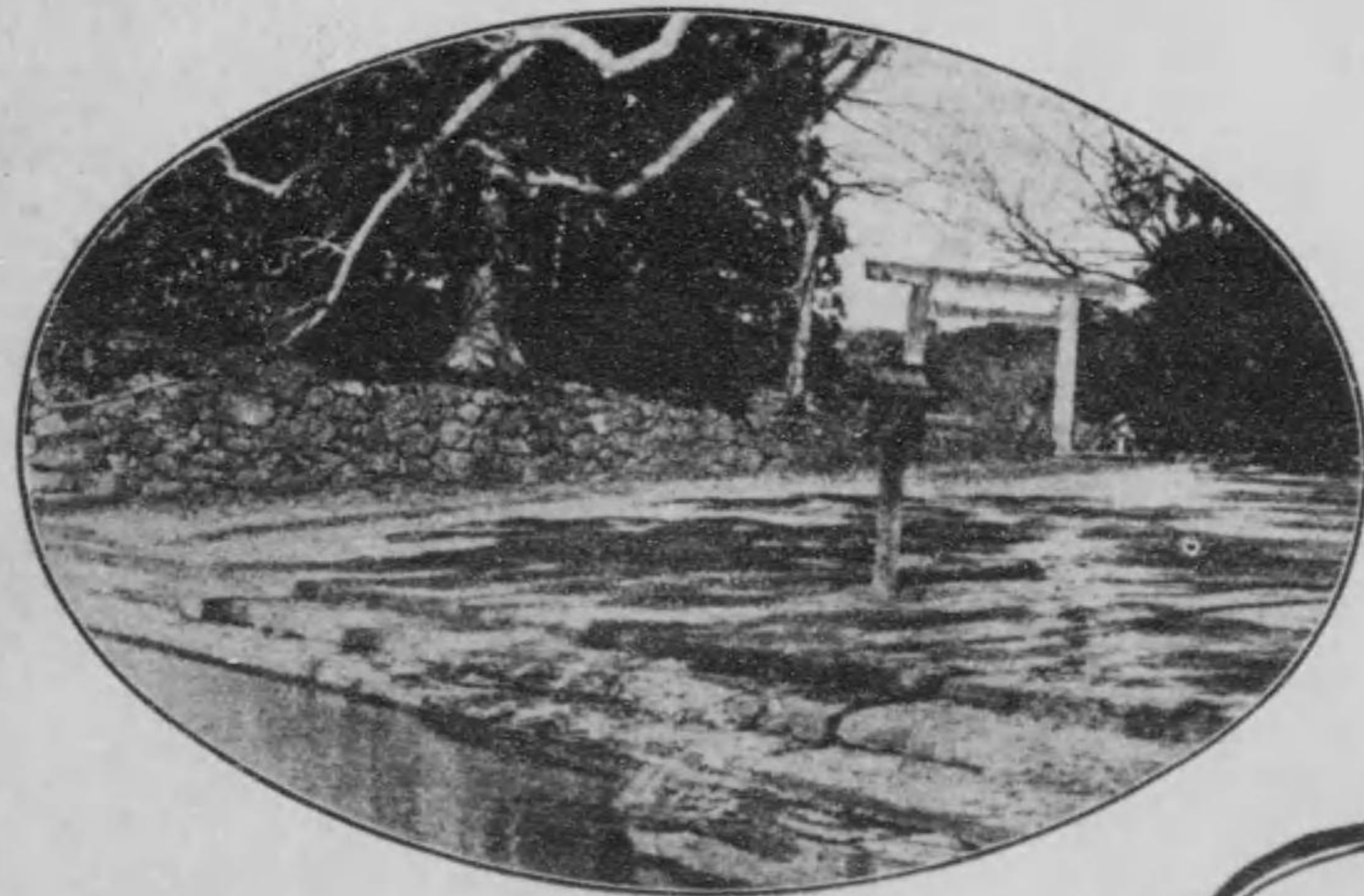




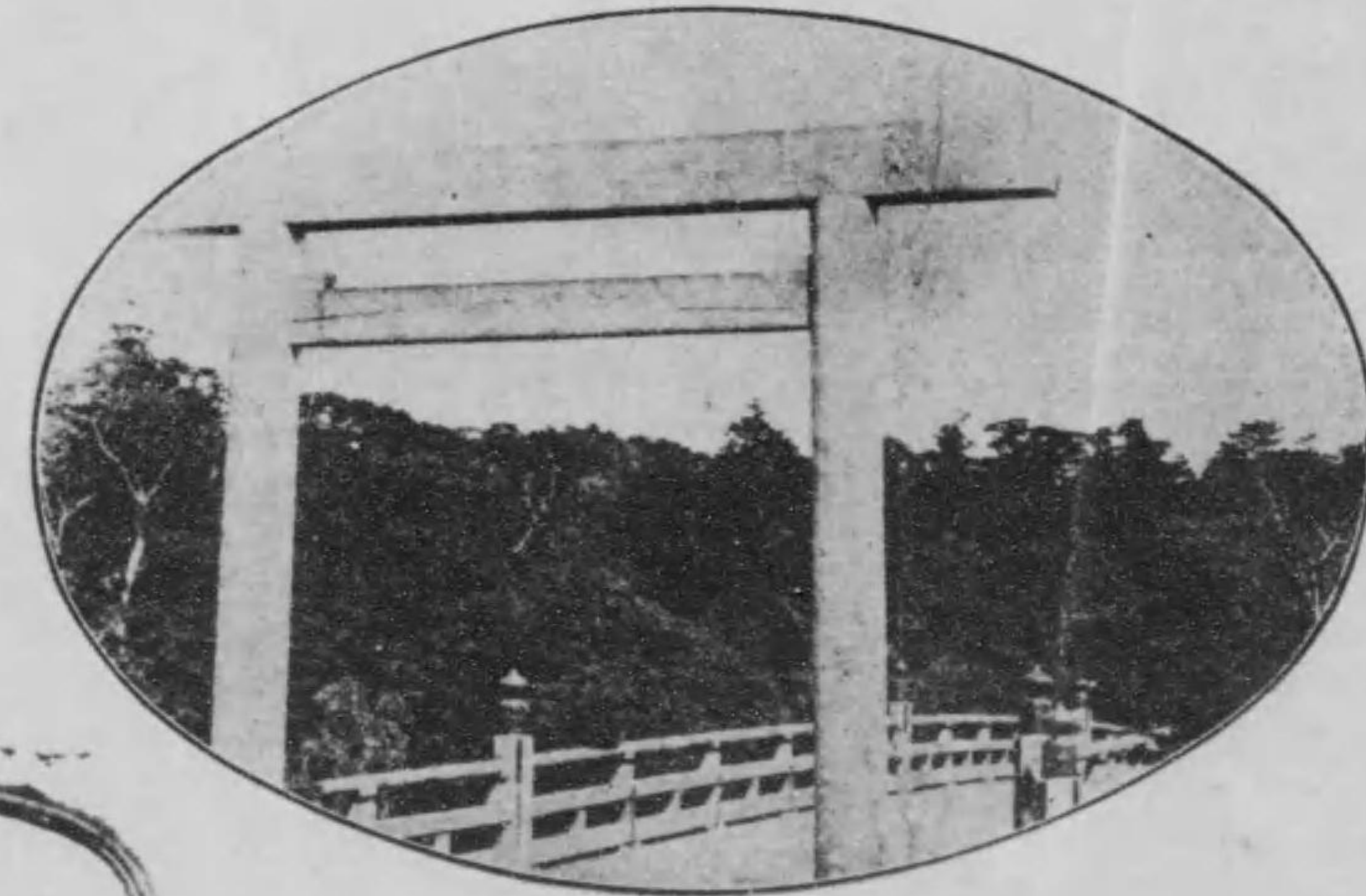
苑 神 宮 内



殿 正 御 宮 内



場 洗 手 御 宮 内



橋 治 宇 宮 内

大正  
5. 5. 15  
内交

## 皇太神宮

内宮と稱し、外宮と共に皇室の祖廟をなし、天照皇太神を祭る。天手力雄命萬秋津師姫を合祀す。垂仁天皇の二十五年倭姫神勅を奉じ始めて神宮を此地に建てしより今日に至る迄二千餘年に垂んとす。山田より宇治の市街を過ぎ五十鈴川の清流を渡れば、則ち神苑に入るべく一道の芝生緑甍を展べたるが如く、其間稚松の點綴して清楚の光景既に全く塵寰を遠かるを覺えしめ、白砂砥の如き大道を進めば、大山大將奉獻の巨砲と東郷大將奉獻の大砲彈とは苑内にありて異彩を放つ。前者は明治二十七年戦役に鹵獲せる所、後者は三十七八年戦役の戦利品として共に神明加護の謝恩を表せる絶好の記念たるもの詣者蕭然として先づ襟を正さざるを得ざるなり。

ぎて左轉せば、則ち内宮の神殿林樹の間に隠見するを拜すべし。内宮の建築は所謂「唯一神明造り」の式に依り上古以來多少の變化はありたれど、白木造りの樸古にして然かも壯麗犯すべからざる形式を具へ、外宮と同じく毎二十一年目に改築して正遷宮を行ふことと定めらる。改築の頃に際しては造神宮使の工匠は、凡て古式の裝束をなして事に従ふなど詣者をして自ら千古の昔に還るの想あらしむ。

内外兩宮が舉國尊崇の中心となれるは、絮説するまでもなく、四時の祭祀の壯嚴なるは固より其他事あれば常に勅使を遣して奉告し、殊に明治三十七八年役を畢りて平和克復するや、聯合艦隊先づ來りて茲に詣で尋て車駕親臨、克捷奉告の祭を行ひ給ふ。蓋し曠古の盛儀なりと云ふべし。實に國民たる者一度神宮に詣でざれば國民の義務果たさざる感あり尊し。

▼何事のをはしますとは知らねとも、悲しけなさに涙こぼる、

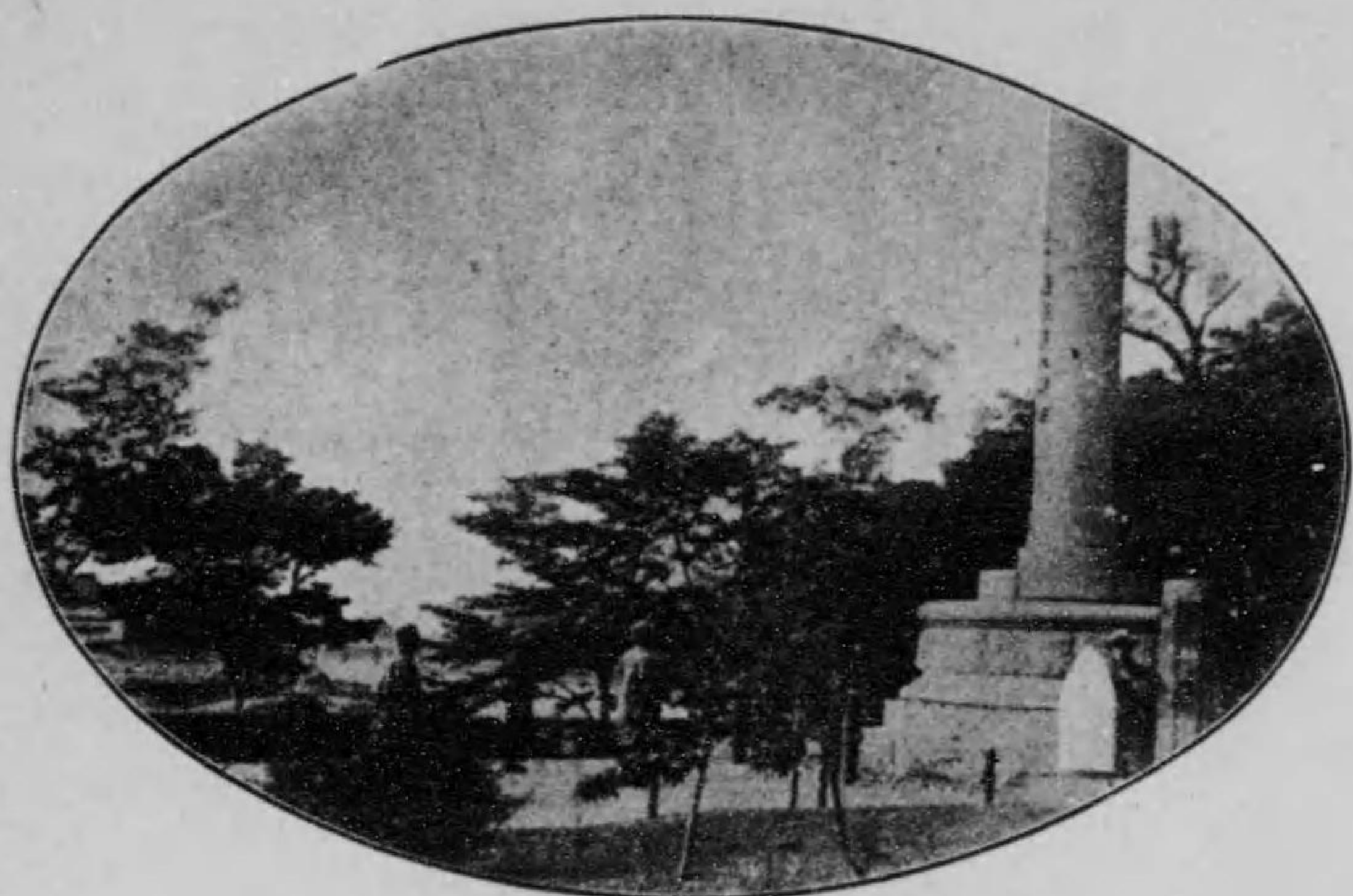
西行

▼何の木の花とは知らぬに、はいかな

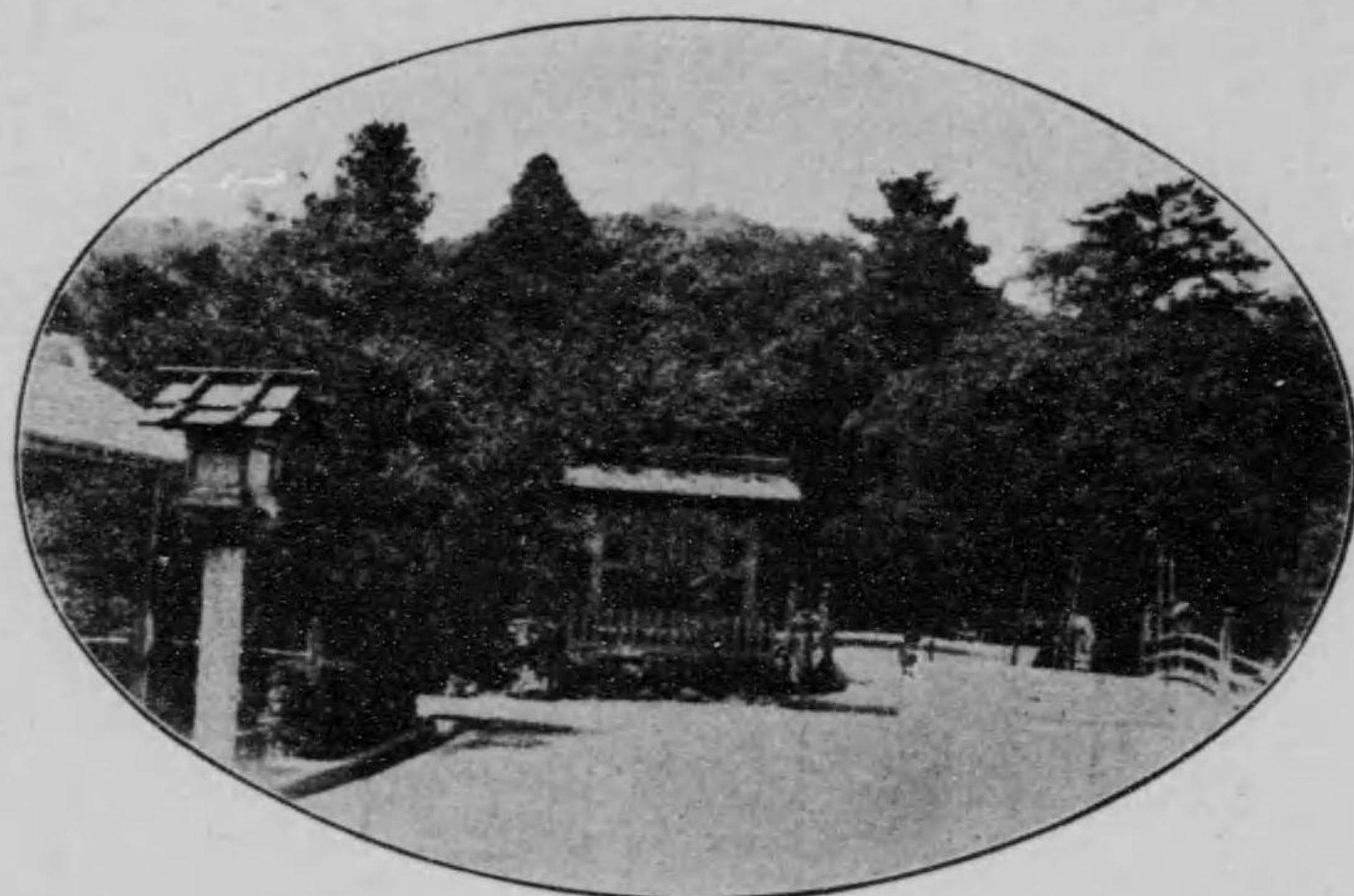
芭蕉

▼五十鈴川 金波流點塵 水天一同色 請看月分昇

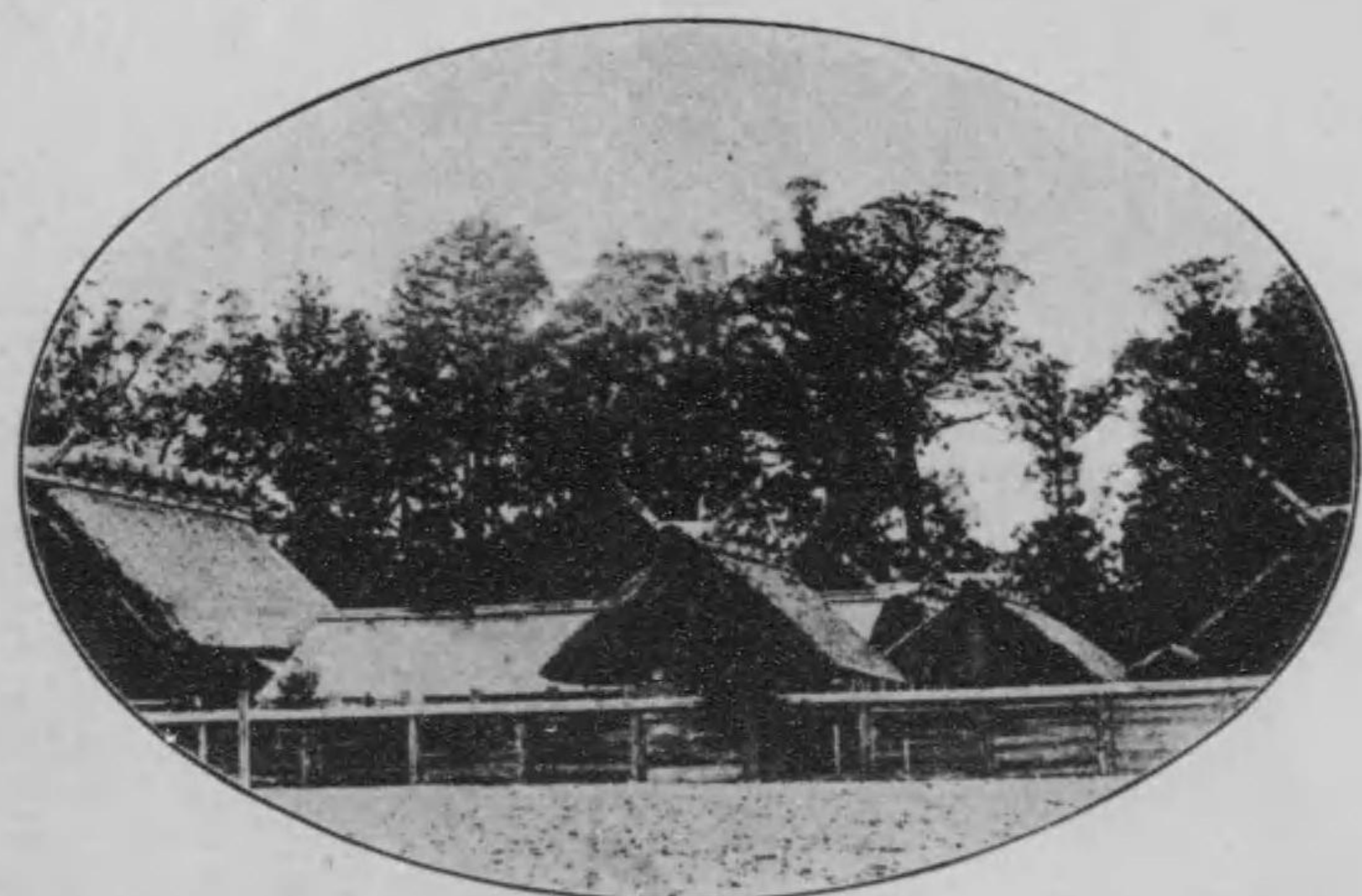
林春信



砲役戰露日獻奉宮内



苑 神 宮 外



殿 正 御 宮 外

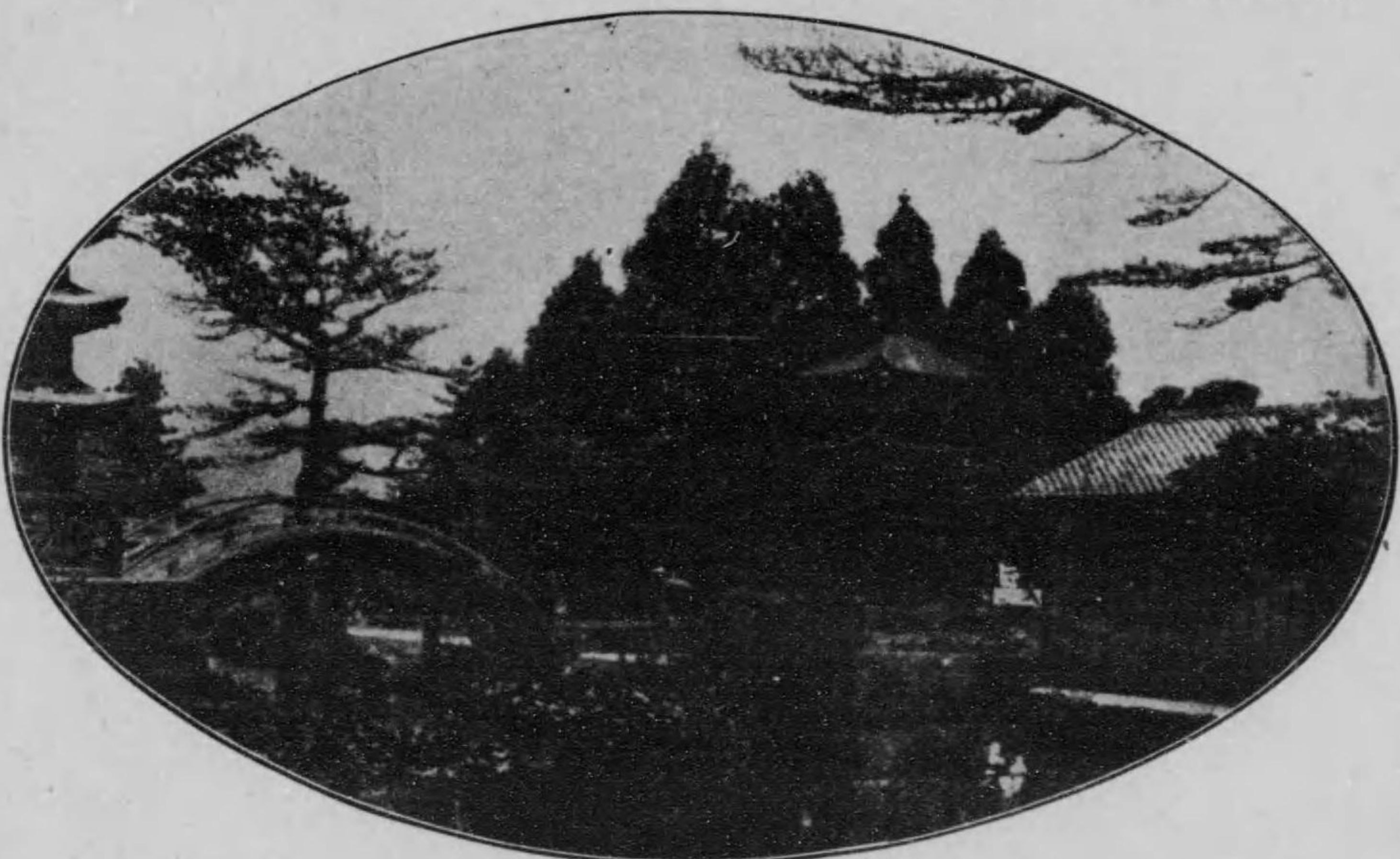
外 宮

山田町の南端に鎮座まします豊受  
 太神宮は一に外宮と稱す、宮居は寛  
 潤幽邃にして社殿また森嚴を極む  
 本社には豊受太神を祀り、瓊々杵尊  
 天兒屋命、大玉命を配す、雄略天皇の  
 二十二年七月之れを創建すと云ふ  
 毎二十一年改築遷宮式を行はせら  
 る。

總覽

本縣は東經一三六・三一、北緯三四・四三に  
 位し海拔五・五近畿地方の東南部を占め、伊  
 勢伊賀志摩の三國と紀伊國南北牟婁二郡と  
 よりなり北東は岐阜愛知の二縣に隣りし西  
 北滋賀縣西は和歌山、奈良縣に接し京都府  
 の小部分に接す、

東南の二面太平洋  
 に面し、地形東北  
 より斜に西南に伸  
 び、其の中央に於  
 て伊賀は西北に、  
 志摩は東南に突出  
 し、恰も大鵬の兩  
 翼を張れるに似、  
 太平洋に面せる顯  
 著の出入をなせり  
 面積約三百六十九  
 方里長方四十四里  
 幅二十里にして、  
 海岸は近く答志島  
 菅島神島等を控ゆ  
 る志摩半島及び半  
 島以西の南岸は頗  
 る屈曲せるも、伊  
 勢灣に瀕する處は  
 一般に低平にして  
 地勢は西部並に北  
 東部を除くの外概  
 ね南に傾斜をなす地質豊川以東の地並に本  
 縣の南部に於ては新火山岩、古生層に次ぎ  
 て中世層、第三紀層、第四紀層、舊火山岩、  
 結晶片岩層を見る、山岳河川著名なるもの  
 わらざるも藤原岳一、一四二、釋迦ヶ岳一、  
 一〇五、御在所山一、二五三、綿向山一、二



五四、大洞山一、〇五二、高見山一、三四〇、  
 局岳一、〇四四、大台原山一六八五尺等あれ  
 ども海拔著しからず、宮川三三、濁川大内、  
 山川、藤川、横輪川、櫛田川一七、蓮大川、  
 雲出川、一二、村川、八手俣川、鈴鹿川九、安  
 樂川三嶽、三瀧七、朝明川五、町屋川九、揖斐  
 川三、木曾川三等は伊勢灣に入り伊賀川一  
 五、服部川、長田川、  
 名張川一三里は西流  
 して大阪灣に達す、  
 氣候溫和にして溫度  
 平均一四六、最高三  
 四、六最低三、五度な  
 り、行政区劃三市十  
 五郡三百二十五町村  
 にして伊賀二郡、伊

朝熊山連珠橋

海を呑む茶の子の餅や  
 ふじの山  
 (一休)

勢三市十郡、志摩一  
 郡、紀伊二郡とす、縣  
 廳を津市に置く(各  
 官衛表別記)

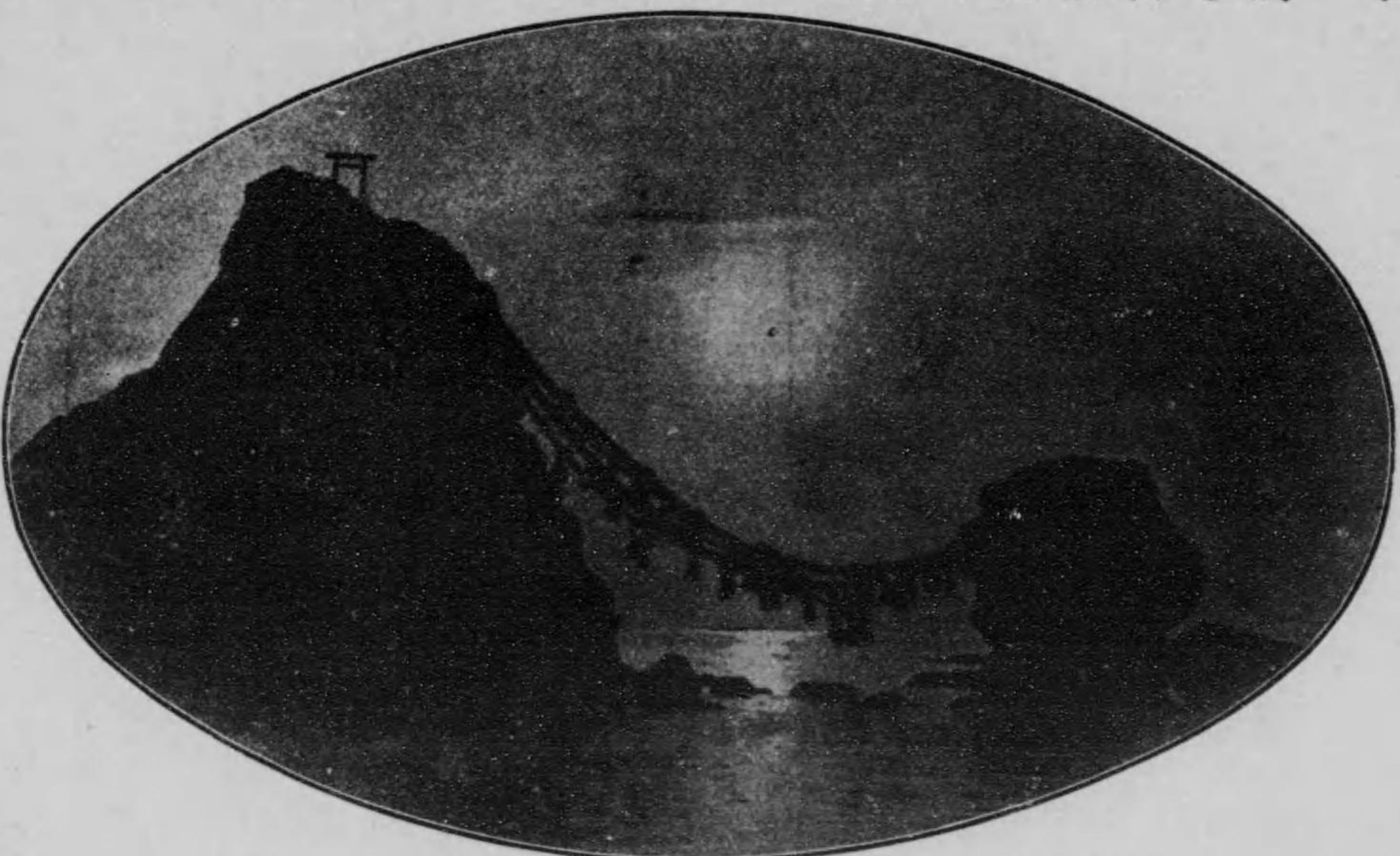
人口一、〇四三、四一  
 七、一方里につき二  
 八三一方料につき一  
 八四の比例は明治三  
 十六年の調査にして  
 現今人口の比例を算  
 しなば急劇の人口増殖の程度を見興味ある  
 べし。

交通縣下の海岸線は其延長頗る大にして、  
 單に伊勢灣に面せるものみにて北は揖  
 斐川口より南は大港に至るまで約三十里の  
 一大彎曲を畫きて長く連り、一帯の沙濱に

して水浅く且つ出入に乏しきも其の間猶桑名、四日市港神社、大港鳥羽、等皆般船に適す、特に四日市港は日本要港の一に推され、明治二十三年特別輸出港に指定されしが、更に三十二年開港場となれり、陸路主要なるもの十條ありて北方尾張より來たり桑名、四日市、龜山、關の諸邑を経て近江に入るを東海道と云ふ、

三重郡に於て東海道と分れ神戸白子、津、松坂を過ぎ宇治山田に至るを伊勢街道と稱し鈴鹿郡關より棕本窪田を経て津に通ずるを伊勢別街道津より片田、長野、平松平田等山間の小邑を過ぎて西に入り伊賀上野町に至るは伊賀街道伊賀上野

より古山を経て名張に至るは名張街道、關より東海道と分れ加太、柘植、佐那具、上野、島ヶ原を経て山城に入り奈良に出づるは大和街道、一志郡六軒より二本木、伊勢地、阿保、名張を過ぎて大和に入るは初瀬街道、松坂より櫛田川の流に沿ひ大石、宮前、波



瀬等を経て紀の川谿谷に出るは和歌山街道松坂より山間の道路を過ぎ相可より西に折れて野後、長尾、尾鷲、木の本を経て和歌山縣に入るを熊野街道、宇治山田より潮合川を渡り朝熊山の北麓を過ぎて志摩の鳥羽に至るは鳥羽街道なり。鐵道は關西鐵道を主線にして其幹線名古屋より木曾川の大鐵

橋を渡りて本縣に入り桑名四日市を経て西走し加太越を上り分れて幹線は伊賀盆地を貫き木曾川谷に出で奈良に至り、一は近江に入りて草津に至りて官線に會す龜山驛より津市に至るもの參宮鐵道之より南に延びて大廟の所地たる宇治山田市

ます鏡二見の浦にみかゝれて  
神風淡き夏の夜の月

二見の浦に達すもの著名なり。  
二見ヶ浦に達すもの著名なり。

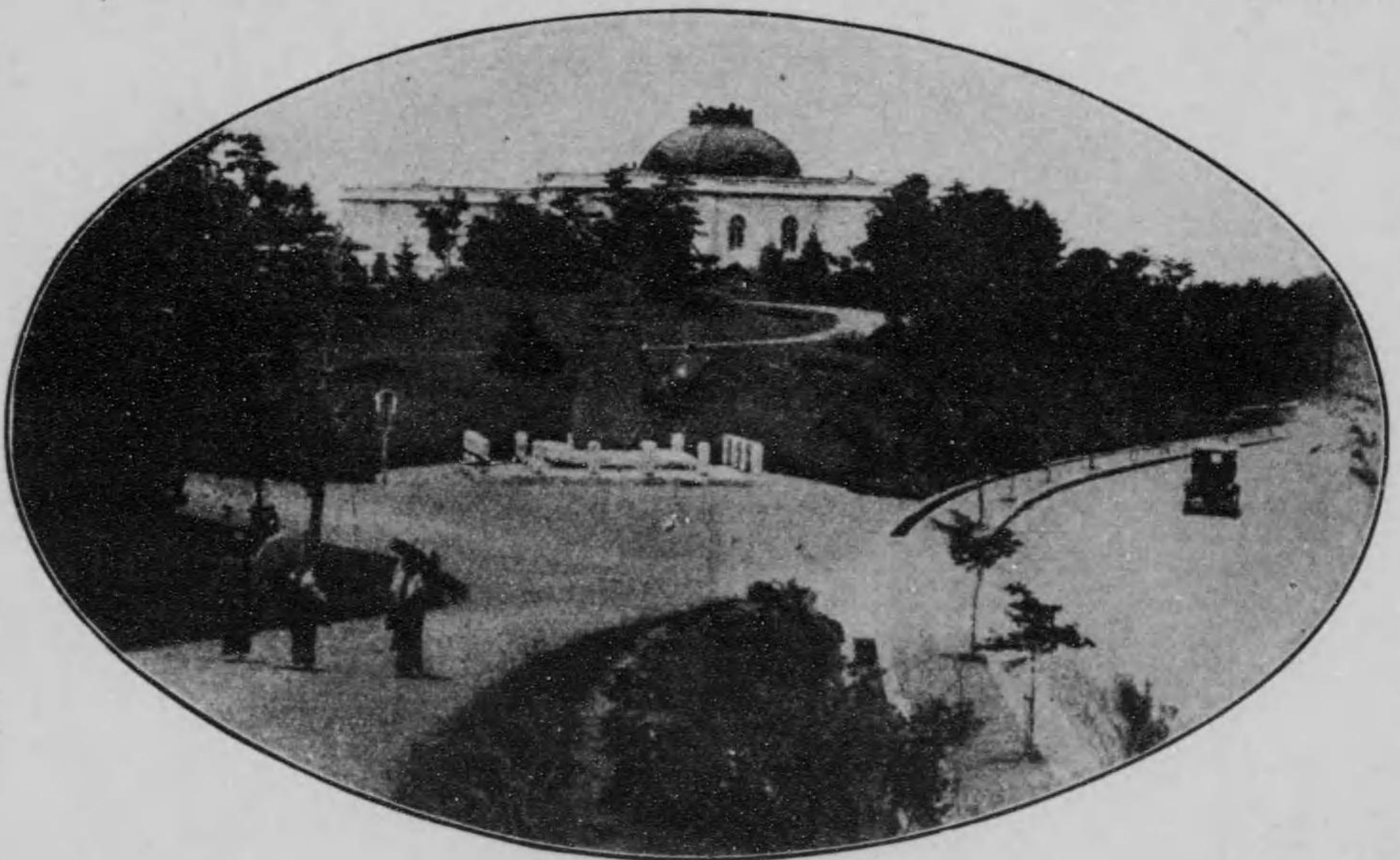
水路揖斐川、木曾川、宮川、雲出川、町屋川は三里乃至十五里の間舟楫の便ありて交通の便他府縣に見ず。

沿革 本縣の沿革を尋ねんか石器時代の人民遺物發見地として有名なり、遺物種類には石鍬、石斧、石匙、石槍、石小刀、石庖丁、獸骨牙、獸骨角等多數發見を以て大古諸國中先きに人間の住みたること知るべし、紀伊國海草郡にありて今日國幣中社として尊崇する伊太祁曾神社は實に素盞鳴尊の子五十猛命を祀れり、而して五十猛命

が其妹神と俱に紀伊に入りし事は紀に明記して曰く素盞鳴尊之子、號五十猛命、妹大屋津姫命、次抓津姫命凡三神亦能分三布木種一即奉<sub>レ</sub>渡<sub>二</sub>於紀伊<sub>一</sub>也と此の三神共に紀伊に奉祀し延喜式に載せて名神大祀と爲すとあれば、此の地方は夙に出雲派の諸神により開拓せられしものにして、日本民族純血種のあるべきは當然とす、肇國時代、崇神帝立つに及び大和國磯城郡三輪村の邊なる瑞離宮に治し四道將軍を以て四方平定をなす、帝祭政一致の制を釐めて神宮皇居の分離を決行し、神鏡寶劍を大和笠縫邑に祀らしめ

たり、笠縫邑は蓋し淺茅原即ち今の茅原なるべし。

垂仁帝の朝更に伊勢度會の五十鈴川上の地に奉遷したるものは今の内宮なり、山田の外宮は、推略帝の御時丹波の豊受太神を遷し祀れるものなり、景行帝東征西伐其の功を奏し國土平定せしかば、諸王子を各地



に分封し行て之を治めしめたり即ち國造稻置を以て國郡制の端緒を開きたり。

國造縣支配布表伊勢國

神武—神八井耳命—伊勢船木直

孝照—飯高君—壹志君

開化—品遲部君—佐那造

日本武尊—伊勢別

天御中主命—天日鷲命—伊

勢朝臣—伊勢直

中臣伊勢連—磯部直—

度會神主

志摩國

天穗日命—島津國造

伊賀國

山—須知稻置—名婆利

田—安寧—稻置—三野稻置

微—古館成倉早蒼—賽餘萬客餘香—此中靈寶知多少—千歲傳來神澤長—置鹽棠園

御—孝元—伊賀朝臣

幸—垂仁—伊賀國造

道—光仁帝立つに及び從來の弊

制を改め、政務の大綱を振

肅せしめ、國府及び國分寺

を設け地方政治の中心たり

し國府及び信仰の燒點とな

りし一の宮、國分寺僧寺の

所在地本縣の分

國府所在地

伊勢國鈴鹿郡國府村大字國府

志摩國志摩郡—國府村

伊賀國阿山郡三田村大字三田

國分僧寺所在地

伊勢國阿藝郡何曲村大字國分

志摩國志摩郡—國分村

伊賀阿山郡三田村字三田

一ノ宮所在地

國名 社名

伊勢 椿大明神 猿田彦命 鈴鹿郡椿村  
 志摩 伊雜宮 天照大神 志摩郡磯部村  
 伊賀 敢國神社 金山姫命 阿山郡府中村

紀伊 日前國懸宮 石姥命 海草郡宮村

平安朝桓武帝國郡の制を一定せしむの

伊勢(以世)

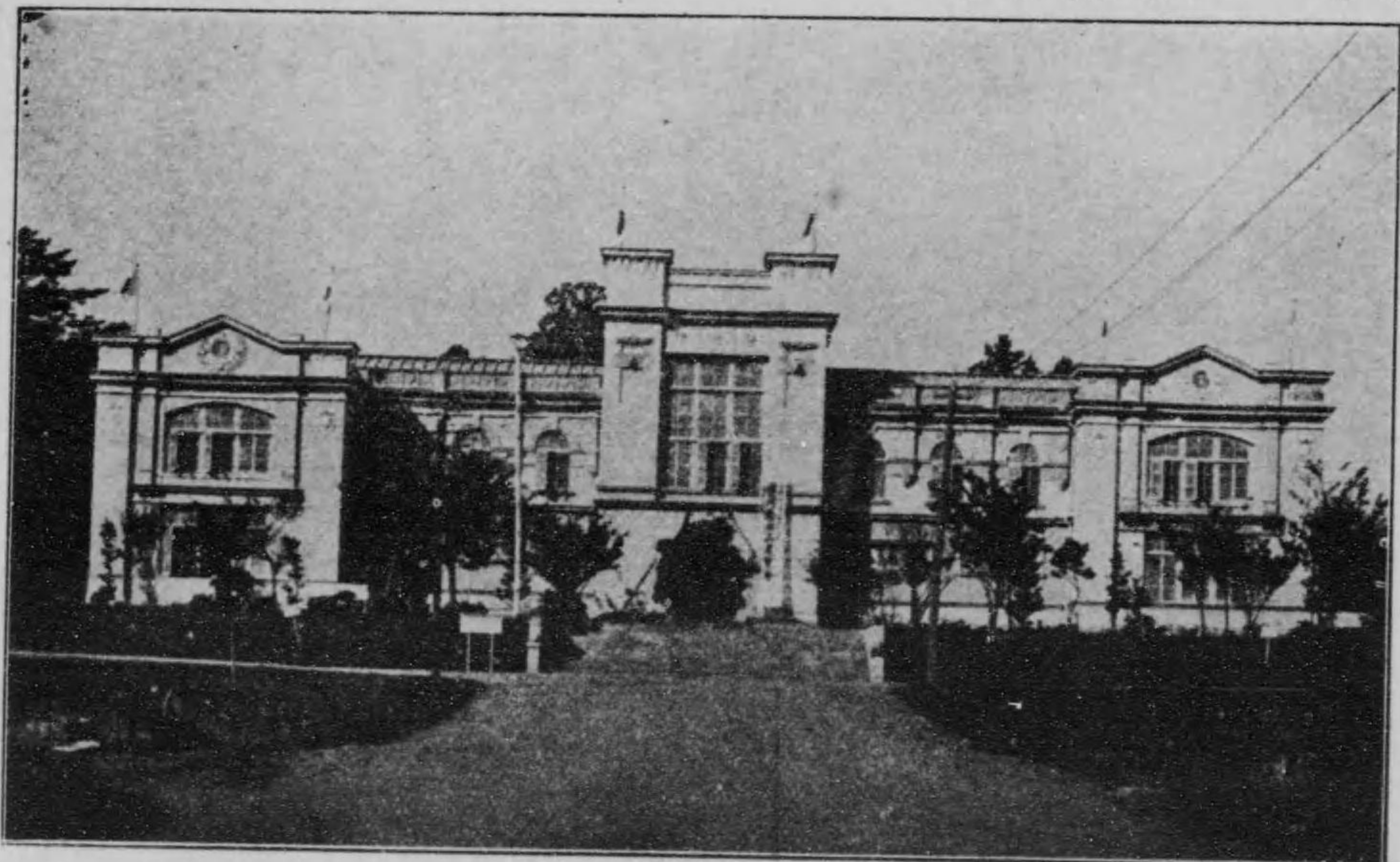
桑名 員辨 朝明  
 三重 河曲 鈴鹿  
 奄藝 安濃 壹志  
 飯高 多氣 飯野  
 度會

志摩(之萬)  
 答志 英虞

伊賀(以加)

伊賀 阿拜 山田  
 伊賀 名張

■群雄割據時代に於ては伊勢は北畠氏之れが國守となり志摩を兼管せしが、顯泰の時に及んで國守と稱すれども、僅かに南方五郡を管せしのみ、永享年中守護土岐持頼誅せられてより後は、土豪蜂起して北勢の地を争ひ統一する所なく北畠政具漸く勢を得て、土豪神戸、長野諸氏を降し全國に號令す、信長起るに及んで先づ其北方を侵し第 信包をして、長野氏を繼がしめ、信孝をして神戸氏を冒さしむ、又瀧



(市津)館列陳業勸縣重三

川一益に北勢五郡を與へ長島に治せしむ、天正四年に至り信長全く北畠氏を滅す、志摩は伊勢と共に北畠氏の所領にして、土豪橋、九鬼の諸氏之に隸せしが北畠氏滅て信長之を九鬼嘉隆に與ふ。

伊賀は世々仁木氏の管する所なりしが、永正の末葉衰微して柘楨へ服部の諸族相闘ぎ

終に北畠の併する所となる、天正九年に至り織田信雄諸氏を滅し瀧川雄利を封し上野城に治せしむ、江戸幕府時代、徳川家康征夷大將軍に任ぜられてより、諸候の改易を行ひ近畿諸候の配置を成したるもの及び伊勢山田に町奉行を置きて之を治せしめしことあり幕府直轄の地を除き領内一城の制を定めたる當時の領主表の内本縣の部を次頁に擧げんに

松坂	五萬五千石	古田重勝	初
桑名	十一萬石	松平定勝	初
同	六萬石	松平定教	末
神戸	五萬石	一柳直盛	初
同	一萬五千石	本田忠貫	末
同		藤堂高虎	幕府初期の領主
同	三十二萬三千石	藤堂定教	
同		末葉の領主	



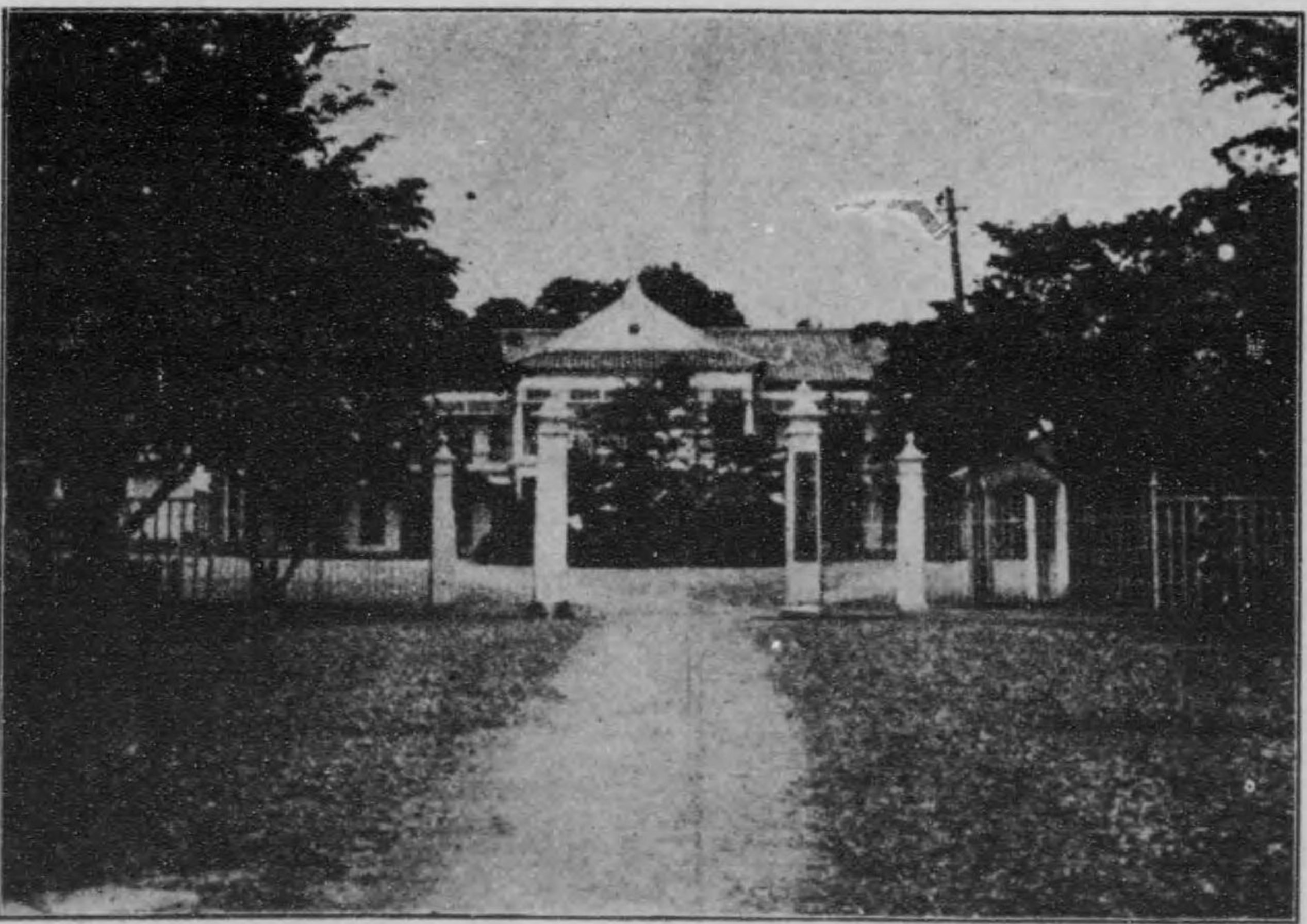
龜山 三萬石 三宅康信 初  
 同 六萬石 石川成之 末  
 菰野 一萬二石 土方雄久 初  
 同 一萬千石 土方雄志 末  
 久居 五萬三千石 藤堂高邦 末  
 長島 二萬石 菅沿定仍 初  
 同 二萬石 増山正同 末  
 志摩國  
 鳥羽 五萬五千石 九鬼守隆 初  
 同 三萬石 稻垣長敬 末

上野 津藩 藤堂城代 始末

■明治元年府藩縣創置せられ、當時度會府なりしが京都、大坂、東京府を除き府を改めて縣となし度會縣となし、志摩全圓二部、伊勢五郡、紀伊一郡、安濃津縣伊賀全圓四郡、伊勢八郡なりしを、明治五年府縣の廢合改稱に伴ひ安濃津縣を三重縣と改め九年に至り度會縣を本縣に合併せしものなり、明治二十九年三月郡村の廢合あり、阿拜山田を廢し阿山に名張、伊賀を名賀に三重、朝明を三重に奄藝、河曲を河藝に飯高、飯野を飯南に答志、英虞を志摩に現在の郡名と變更せしものなり。

■宗教 本縣は國家の宗廟、大神宮の鎮座在します處なるを以て、神教從て發達し佛教之れに亞ぐ、山田には伊勢大神祭神天照皇太神を祭り、宇治山田市には神宮、豐受太神宮祭神、瓊々杵尊宮を祭り宮居高くましますなり別格官弊社には津市に結城神社祭神、結城宗廣同光親を祭る、又伊勢國熊褒野村には熊褒野神社祭神、日本武尊を祀る其他府縣社以下一七五〇境外無格社六九二三合併し其數を減ぜしと雖も、他縣に比し多大なり。又佛教盛んにし

て、天台二四二真言二二六淨土三三四臨濟一八四曹洞四四三黃蘗一四真言八二七日蓮三四時宗四ヶ寺あり建築總べて宏大にして壯麗を極むるもの多し  
 ■農産物 主なるものは米麥菜種茶大豆にして特に米と茶は本縣屈指の産物にして米質良好にて伊勢米或は尾張米の名を以て、東京深川大阪堂島市場に於て上米の價格を



三 重 縣 廳

有せり、茶は品質山城京都に及ばざるも静岡に次ぎ産額多く、麥菜種は重に沿海地方に栽培せられ共に重要な物産にして昔より伊勢油の名あり近來養蠶業盛んになり産額年々増加の傾向を示しつゝあり、本縣は西方及南端は山岳重疊して耕地に乏しけれ共南北に連る海岸及東西に流るゝ諸川沿岸には著しく耕地の發展を見地味概ね肥沃にし

て諸種の農耕に適し加ふるに津市に縣立農事試験場あり、度會郡には郡立農事講習所ありて、南北兩勢に於ける農業の中心を作り、又各郡には郡農會あり何れも農事思想の喚起に勉むるを以て諸種の農産物著しく發達せり、工業産物年々産額の増加を示しつゝ、あり生絲の製産量百萬貫を示し價格又四百餘萬圓にして主なる生産者氏名は

三重郡大矢知村 五島製絲場  
 同郡 三重村 三重製絲場  
 同郡 四郷村 後藤製絲場  
 同郡 同村 伊藤製絲場  
 飯南郡花崗村 柿本製絲場  
 飯南郡松坂町 前田製絲場  
 津市 柳山 關西製絲株式會社  
 宇治山田市二俣町 度會製絲場  
 阿山郡上野町 東海製絲株式會社  
 同郡 丸柱村 井岡製絲場  
 多氣郡津田村 海住製絲場  
 一志郡高岡村 高岡製絲株式會社  
 同 中原村 鈴木製絲場  
 同 大井村 井關製絲場  
 河藝郡棕本村 駒田製絲場  
 鈴鹿郡龜山町 田中製絲場  
 同郡 椿村 丹羽製絲場  
 紡績産額 三九六七、五九三貫餘  
 三重紡績四日市工場 同津分工場  
 同桑名分工場 同川島分工場  
 織物 本縣工産物中首位を占め最近の調査に依れば實に二千萬圓を算し絹綿交織、絹布、綿布、麻織等を製産し、輸出向あり内地向あり古來伊勢木綿として天下に勢名を有し伊勢縞、松坂縞、檜織、白木綿、笹川縮の名稱あり、生産者の主なるものを掲ぐ  
 安濃郡安濃津 富田織布工場  
 河藝郡榮村 後藤織物工場

同郡 一身田村 富田織布工場  
 同郡 同村 藤村織布工場  
 飯南郡神戸村 松坂木綿合資會社  
 同郡 港村 笹川縮布製織所  
 北牟婁郡二郷村 濱田工場  
 宇治山田市 東機業工場

■三重縣多額納稅者人名表

稅額六、八五八圓 商 九 鬼 紋 七  
四日市中納屋町  
 五、二六三圓 商 土井八郎兵衛  
北牟婁郡尾鷲町  
 五、〇七三圓 商 伊藤小左衛門  
三重郡四郷村  
 三、四八三圓 農 眞 弓 吉 雄  
津 市  
 三、四六六圓 商 伊 藤 傳 七  
三重郡四郷村  
 二、七五八圓 農 山羽九郎兵衛  
宇治山田市  
 二、六〇二圓 銀行業 堀 内 鶴 雄  
飯南郡宮前村  
 二、五四八圓 商 森 寺 喜 兵 衛  
四日市市  
 二、三九九圓 農 木 村 誓 太 郎  
眞辨郡稻部村  
 二、三二二圓 農 和 波 鑑 太 郎  
眞辨郡笠田村  
 二、一三三圓 商 山 中 傳 四 郎  
四日市市  
 一、九七八圓 農 松 永 忠 兵 衛  
北牟婁郡船津村  
 一、八三五圓 商 白 塚 大 三 郎  
飯南郡松坂町  
 一、七九三圓 商 清 水 三 右 衛 門  
三重郡日永村  
 一、七四八圓 商 田 中 治 郎 左 衛 門  
津 市

陸軍三等主計正  
從六位勳四等功五級  
芝田忠五郎君  
東京牛込余丁町一一九



陸軍一等主計從六位勳四等 奥野萬吉君

七十二町木荒谷四京東

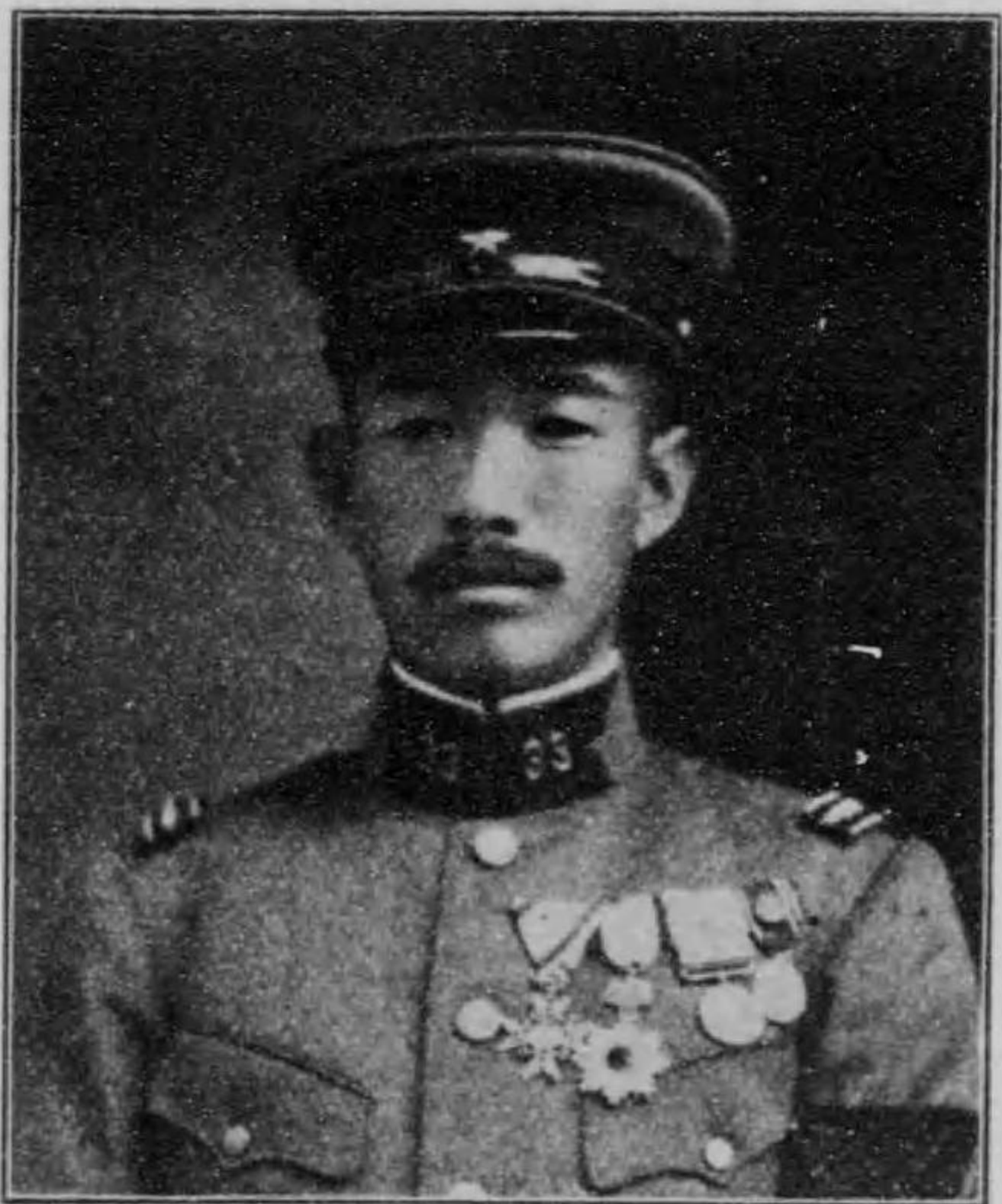
官吏  
高槻節夫君  
横浜市南太田二、〇三四

航路標識管理所技手  
奥川徳次郎君  
汽船羅州丸

公吏  
宮地忠男君  
東京府下荏原郡大井町三三〇

日本銀行員  
木岡甲子男君  
東京牛込薬王寺町八四

日本銀行員  
 鶴田磐之輔君  
 東京牛込矢來町一



步兵第三十三聯隊  
 陸軍歩兵大尉 佐野光信君

醫科大學副手  
 醫學士 五井義雄君  
 東京本郷森川町一

官吏  
 江崎七三郎君  
 横濱市西戸部町六九四

航路標識管理所技手  
 坂倉米松君  
 神奈川県保土ヶ谷町

代議士  
 川崎克君  
 (三重縣出身)

## 津市

縣の首府にして、一身田と高茶屋の間にありて東は阿漕浦に臨みて、贅崎港を有し、岩田川其の中央を貫流す。舊藤堂氏三十五萬石の城下にして、東西一里二町南北一里二十丁あり、市坊の數八十八の多さに達し街衢は岩田塔世の二

川を以て橋南、橋内、橋北の三區に分かれたれ、市況繁盛なり、古來伊勢は津でもつ津は伊勢で持つの俗謠ありし處とす。

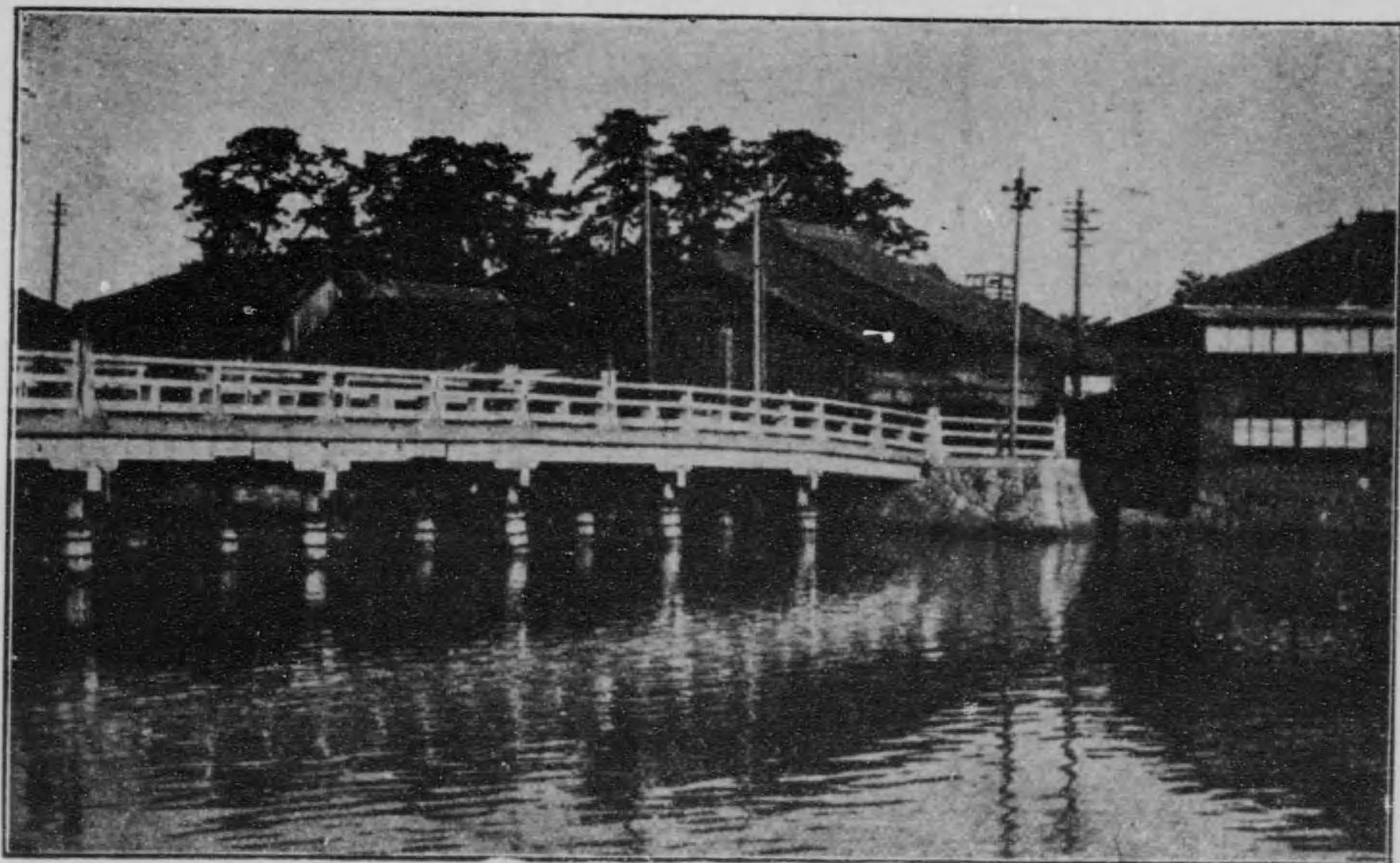
津公園は小丘に據て櫻樹多く杜鵑花に名あり、中央澗水を堪へ潺湲流水絶えず、丘頂に象觀亭、耕省臺ありて、西に群峰の翠色を眺め、東は伊勢海の帆影を瞰るべし、園内に廣明館あり、東隅に高山神社あり、舊藩主藤堂高虎を祀り毎年四、十月の二季祭典を行ふ。公園に近き此の邊一帶の地を橋北と稱す。三重縣廳、議

事堂、病院等あり、橋内の區内中央に舊城址ありて、南方岩田川に枕す、慶長年中藤堂氏封を此處に受け、明治維新に廢せらる、今本丸西丸の石壘を見るのみ。陸軍所管地にして、安濃津地方裁判所、縣立師範學校市役所あり、第三十旅團及歩兵

五十一聯隊を久居に置く、舊城址あり西は西堀端町及び一番町にして、觀音寺は中央最も繁華なる大門町にあり、藤堂氏累世の菩提所たり、本堂仁王門結構頗る宏大にして境内興行物茶店を設け、軒を連ね劇場勸工場の設けあるは、大阪の千日前東京の淺草に酷似せり。

榮町に四天王寺の名刹あり、麻戸王子の草創に係ると云ふ、前者は眞言宗後者は曹洞宗に屬す、其他乙部の天然寺、願王寺、西來寺大門の大寶院皆何れも名刹にして有名なり。

贅崎港、贅崎浦、安濃浦、阿漕浦何れも風光佳絶にして、夏季海水浴に來る者多く、日出前より盛なり、濱上休憩所ありて浴客の便あり、特に阿漕浦は青松白沙相映帶し、人をして宛然畫圖中にあるの感に堪へしむ。



津市岩田橋

### 縣廳所在地目標各地里程

- 鳥羽へ十三里二十九丁
- 上野へ十二里二丁
- 山田へ十里一丁
- 松坂へ四里二十六丁
- 白子へ四里五丁
- 關へ五里三十四丁
- 桑名へ十二里十八丁
- 神戸へ五里三十丁
- 龜山へ七里十七丁
- 四日市へ八里二十八丁

阿漕浦に引あみも  
 度重さなればあらはるゝ



阿 漕 塚

辯護士  
 木谷利吉君  
 津市丸ノ内本町

東京市本郷元町二ノ六二  
 東京小石川病院長  
 醫學士 橋本節齋君  
 津出身

川村 嘩君  
 東京麻布新堀町

三重縣理事官  
 倉田 有吉君  
 津市外古河



本縣の主腦

知事	馬淵 銳太郎
内務部長	堀田 義次郎
警察部長	三矢 宮松
理事官	山岡 國利
同	島山 利隆
同	滋野 拾四郎
同	倉田 有吉
警察視	立花 實太郎
同	渡邊 恒三郎
同	郡 茂徳
同	上石 利貞
同	武田 愛一
警察醫	長谷川 貞一郎



三重縣理事官從七位勳七等 滋野拾四郎君

裏西世塔市津



安濃郡草生村 藤谷茂君



津市玉置町 金子彌君



陸軍歩兵中尉 藤堂高英君







津市著名工商人名

津市大門町  
吳服商  
白銀屋  
電話長一〇三、四〇六

同上濱町  
國產木綿問屋  
富田金七  
電話長一三三九  
振替大阪一九三〇四

同地頭領町  
國產木綿特製チトセ織  
黒川重兵衛  
電話三四七、電略チトセ

同地頭領町  
紅屋  
買綿問屋  
藤枝政治郎  
電話長四一七、電略ベニヤ

同北町  
豐田屋  
ちどり足袋製造  
奥井格之助

同萬町  
卸商  
旭屋  
島駒之助

同阿漕町  
エンマ足袋製造販賣  
鈴木松之助

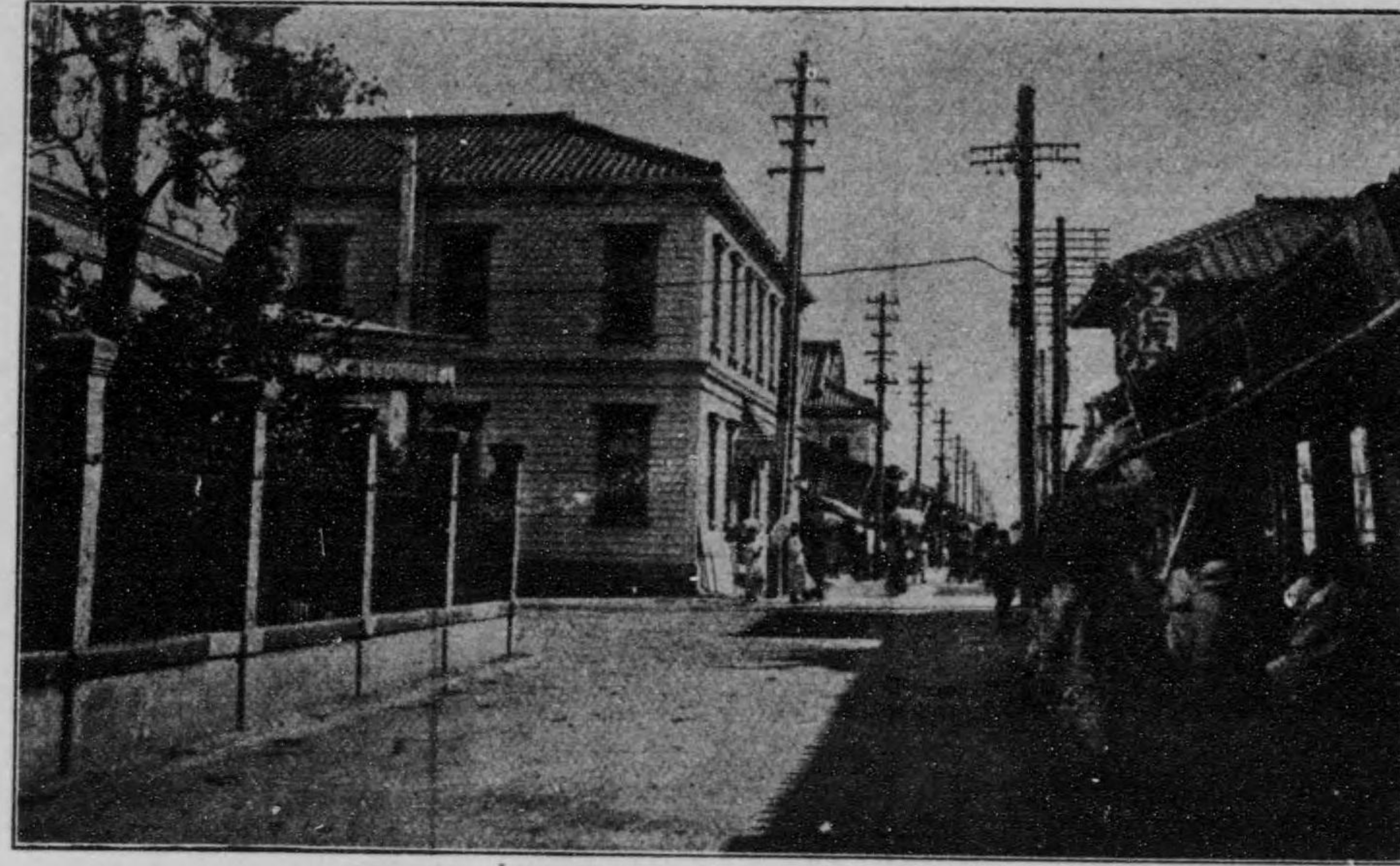
津市宿屋町  
チドー足袋製造發賣元  
特許眺タオル卸商  
メリヤスカパー  
電話長二六五、電略イセ

**伊勢足袋株式會社**  
社長 堤清助 專務取締役 風里谷治  
創立大正元年ナルモ各共進會博覽會ニ於テ受賞數二十餘回ノ光榮ヲ得タリ



吉原洋三郎君

東京府下中野町字中野九〇三  
臺灣銀行員(津出身)



津市大通門



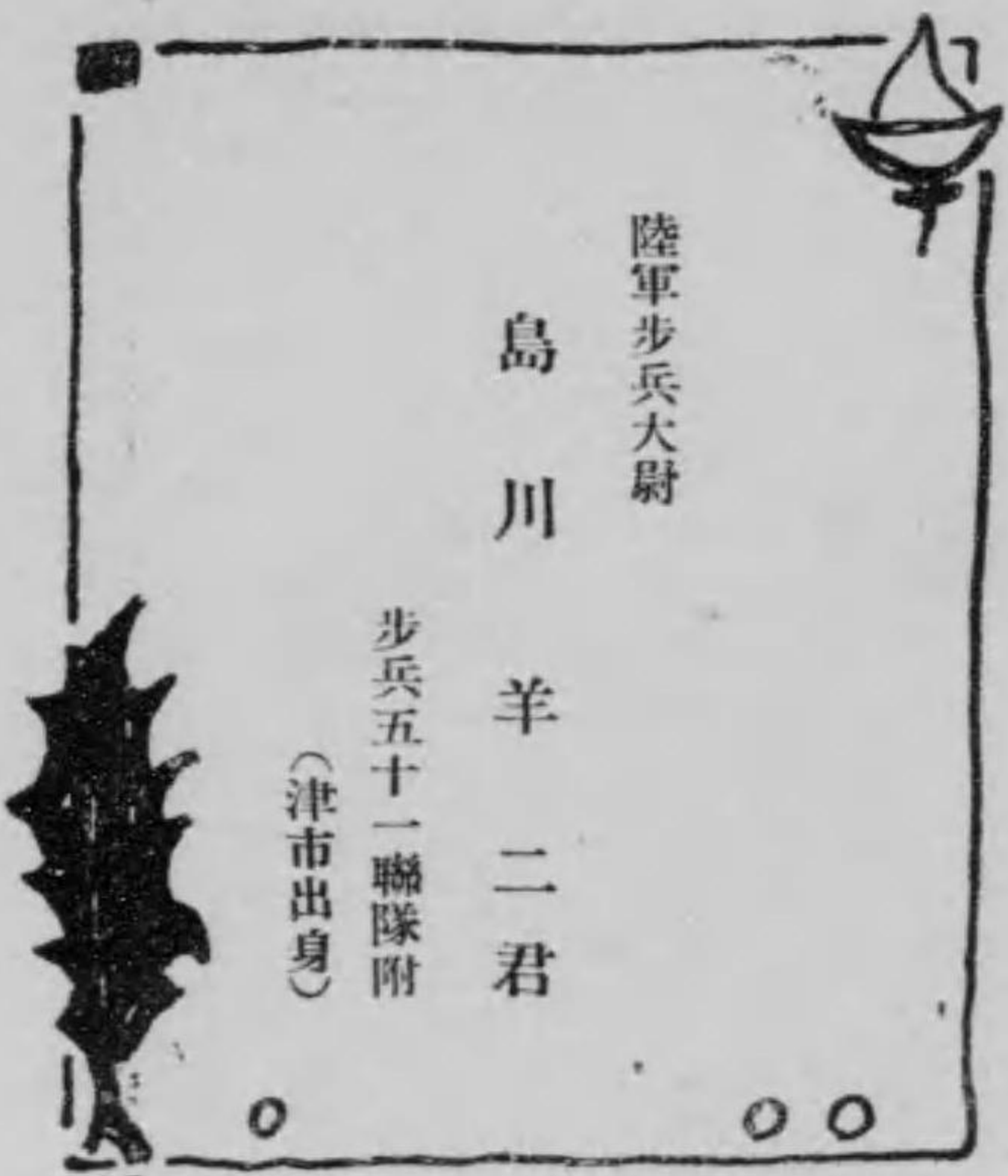
森本武次郎君

津市大字宮ノ前  
三重縣士族

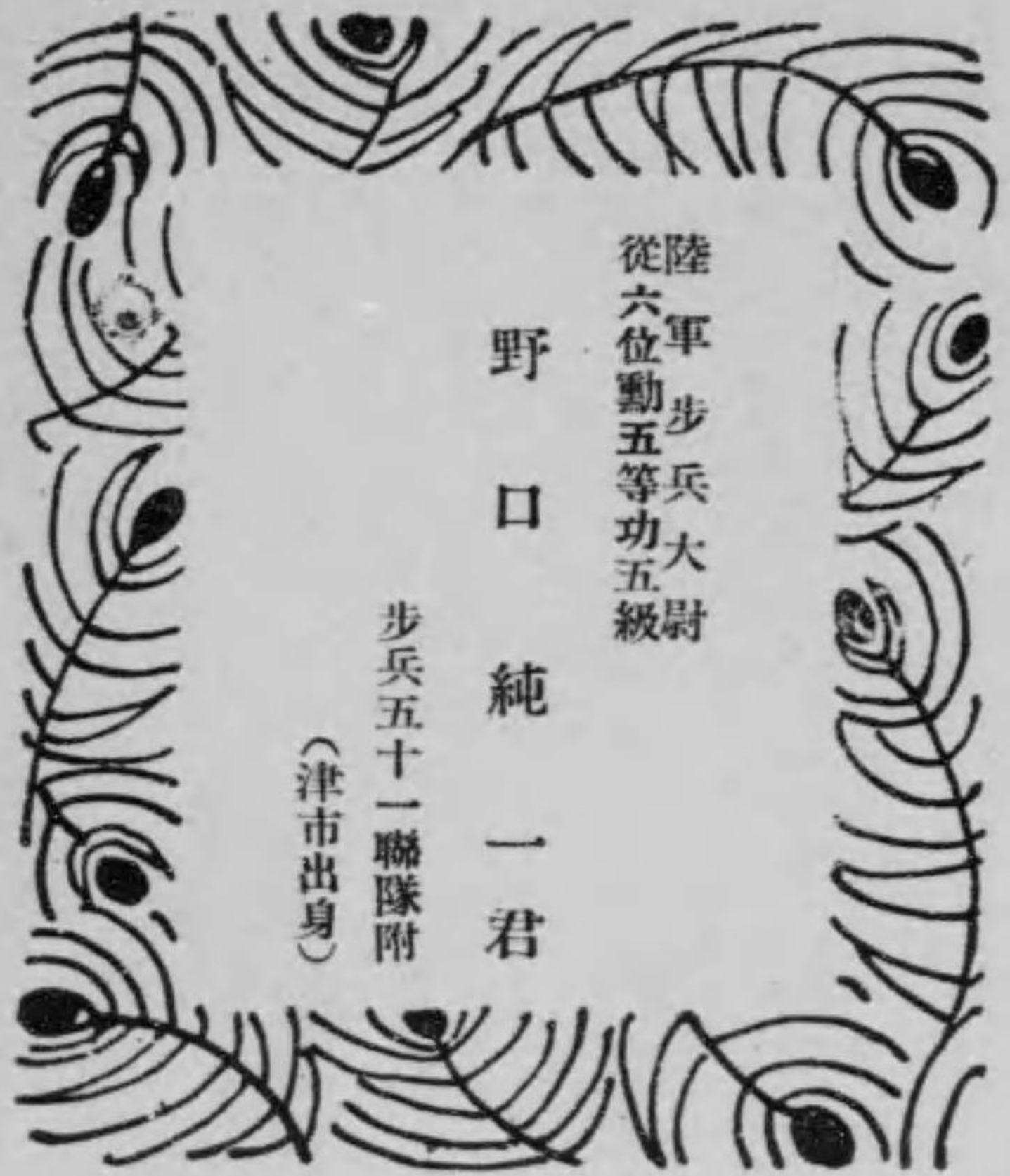




陸軍工兵大尉從六位  
勳五等功五級  
玉井 要人君  
東京府下西大久保三一八  
(安濃郡高宮村出身)



陸軍歩兵大尉  
島川 羊二君  
歩兵五十一聯隊附  
(津市出身)



陸軍歩兵大尉  
從六位勳五等功五級  
野口 純一君  
歩兵五十一聯隊附  
(津市出身)

津市下部田

丹羽式輕便  
足踏織機  
(特許品)  
丹羽 安吉  
電略(ニハ)振替大阪五一九八

特許編網機  
綿絲漁網製造

三重縣津市南堀端

合資 中村兄弟商會

電話長三八 電略ナカ(又)ナ  
振替東京九七五五大阪九二五三

同分部町岩田橋詰

陶器  
左官材料  
清水 與左衛門  
電話四一五 電略カ

同地頭領町

西洋家具  
建具指物  
川出 牧五郎

同岩田町

國產草履表  
壘表  
麻裏販賣  
田中 政吉  
電話長五〇五 電略ヤマカ  
振替大阪九三三七

同船頭町

燐寸小箱  
木地製造  
市川 庄平  
電略〇一

同佐伯町

燐寸小箱  
木地製造  
賀來 申藏

同西新町

伊豫燐寸小  
箱木地製造  
内田 芳次郎



贊崎渡船場



(津市出身)

安濃津地方裁判所検事局  
監督書記從七位  
川口 舍藏君



(安濃郡檜形村出身)

陸軍歩兵大尉正七位  
勳五等功五級  
青木恒五郎君



(津市下部田出身)

東京府下大久保四七七  
遞信省官吏日本法律學士  
中 山 新 君

米穀商主ナル者

米穀肥料委託販賣津市上濱町

橋本利助  
電話一三八電略ハシリ(又)ハ

津市岩田元築造

米穀雜穀肥料商 大倉利兵衛  
電話二五八電略ヲクラ(又)ヲ

津市金屋町

米肥穀委託 關林田中林助  
賣買問屋 支店 築地町 電話一三六  
電話長一九電略タナカ(タ)

津市新道

米穀商 米藤 寺島藤左衛門  
精米業 電話五三八 電略テラ(又)テ

津市南堀端

米穀商 三宅勝吉  
精米業 電話三四〇 電略〇カ(又)〇

肥料商主ナル者

津築地町

肥料兼苦料商 久世卯兵衛  
電話長三五二 電略クセ(又)ク

津市立合町

特許第一七三四六號 松井商會  
完全肥料製造所 立合町

津市京口町

肥料酒類穀物商 小島惣右衛門  
電話長二二二 電略コシマ(又)コ

津市伊豫町

肥料商 柴田儀三郎

酒造醬油業主ナル者

津市極樂町一

米穀商 森谷長次郎  
電話長四三八 電略モチ(モ)

津市築地町

川喜田四郎兵衛

同 極樂寺

小野庄兵衛

同 玉置町

岡本五郎八

同 岩田宮前

飯田竹次郎

同 築地町

篠森勝次郎

同 藤枝町

深尾龜三郎

同 伊豫町

伊藤六左右衛門

同 西來寺町

金子金藏

清酒、醬油、餘慶町 高井作右衛門  
醸造販賣 電話一一七 振替東京五〇七七

同 伊豫町

森本仙右衛門

同 八幡町

辻金兵衛

同 上濱町

青山久四郎

同 同東町七番屋敷

丸山文七

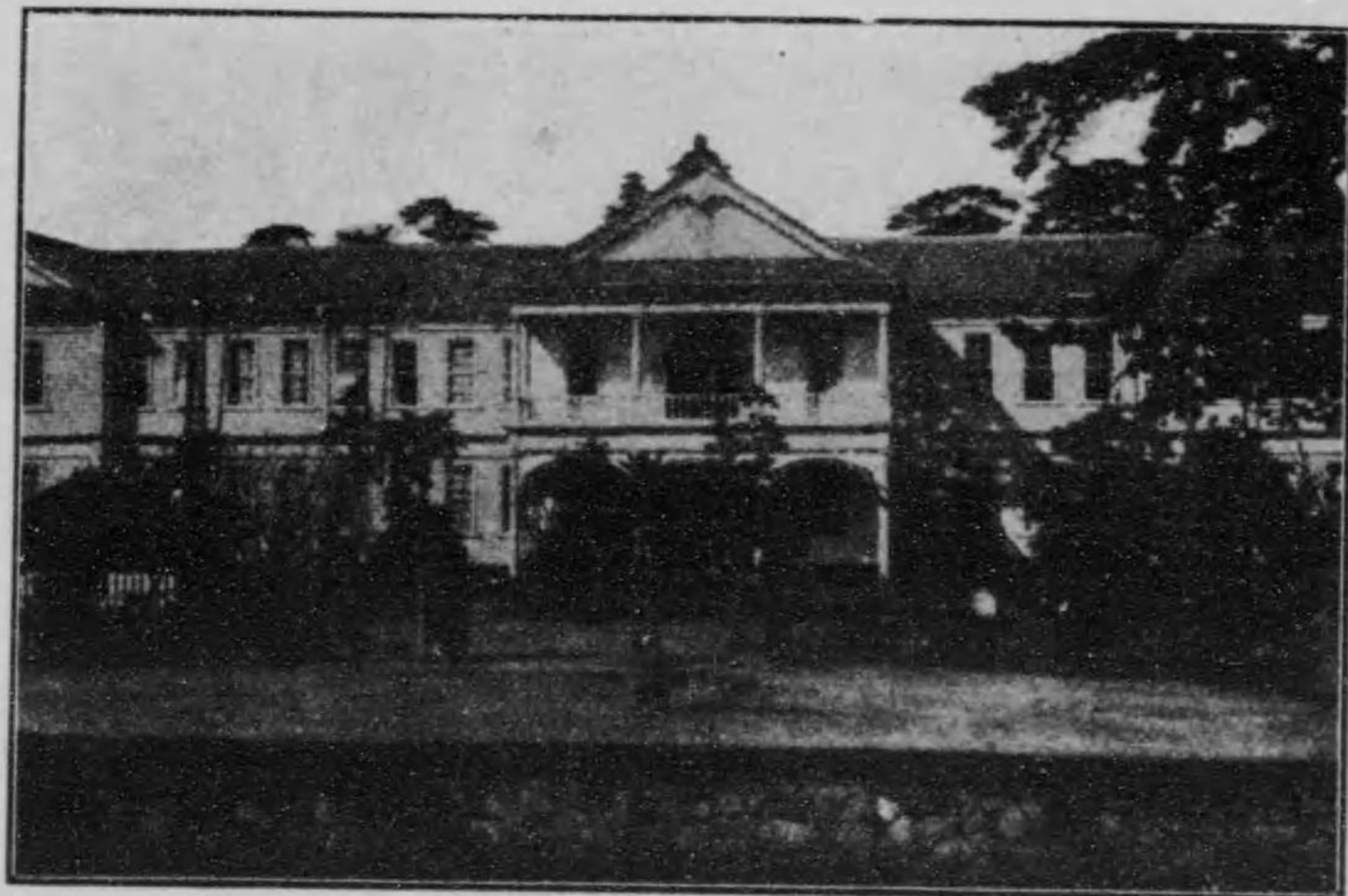
同 南濱町

藤澤茂右衛門

同 澤屋

電話二四一 電略サワヤ(サワ)

大審院判事  
法學士 磯谷幸次郎君  
(津市出身)



三 重 縣 師 範 學 校

醫 師  
三 村 石 之 助 君  
東京麹町區  
平河町四ノ二

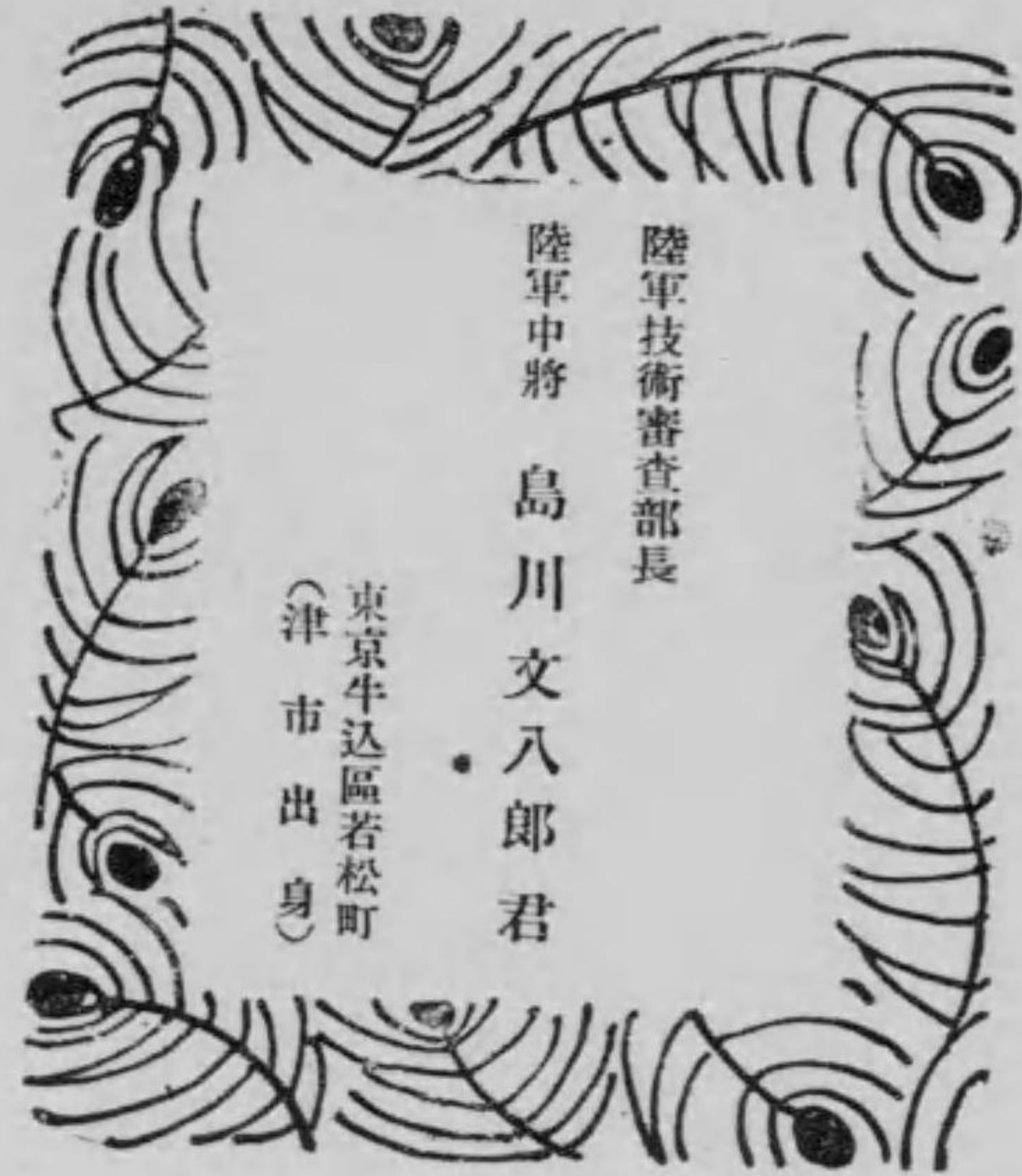
伯爵 藤 堂 高 紹 君  
東京本所區  
橫網町一丁目

伊勢新聞社長  
松 本 恒 之 助 君  
津市丸ノ内

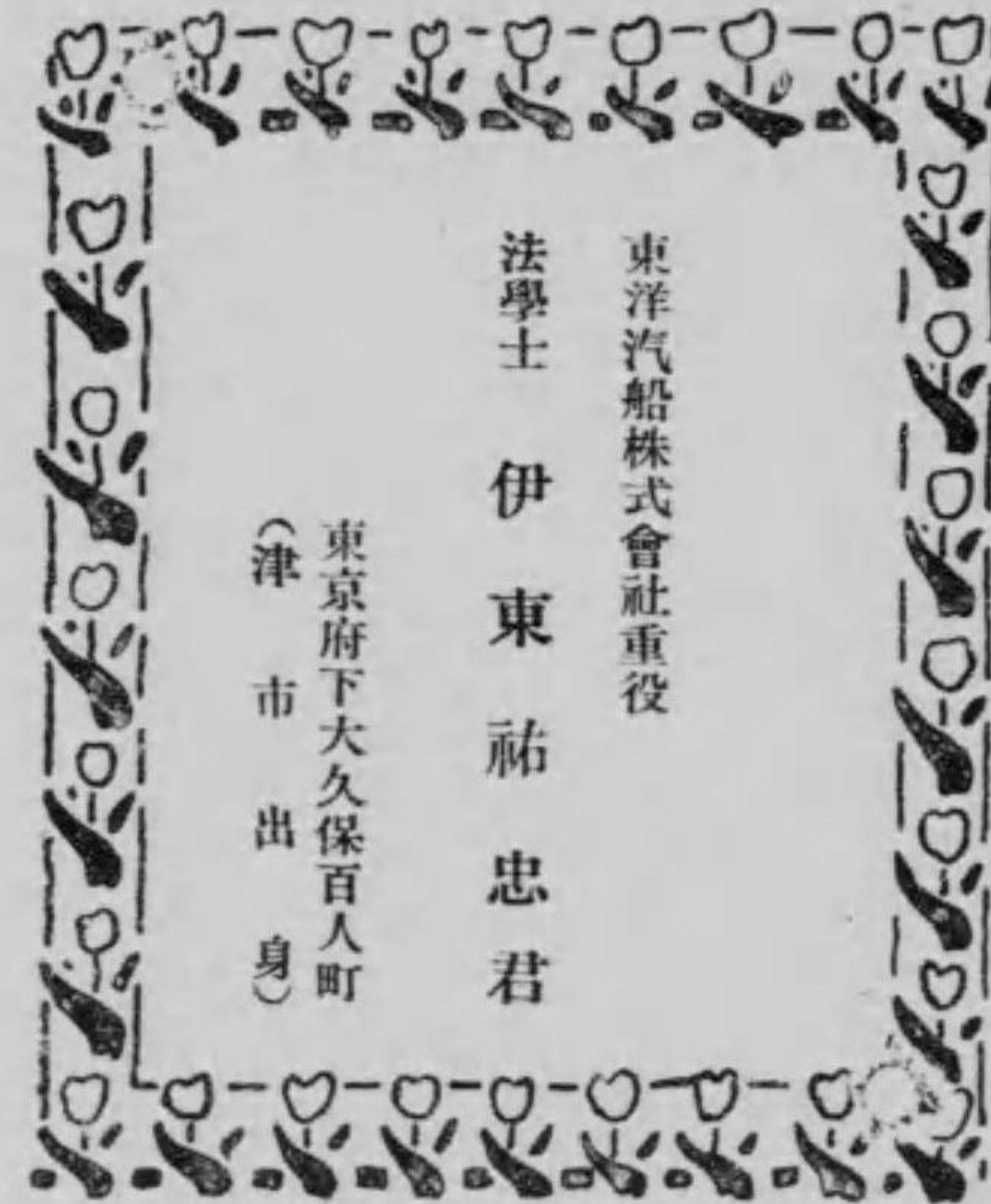
陸軍中將  
栗田直八郎君  
東京赤坂青山南町六  
(津市出身)



陸軍技術審査部長  
陸軍中將 島川文八郎君  
東京牛込區若松町  
(津市出身)



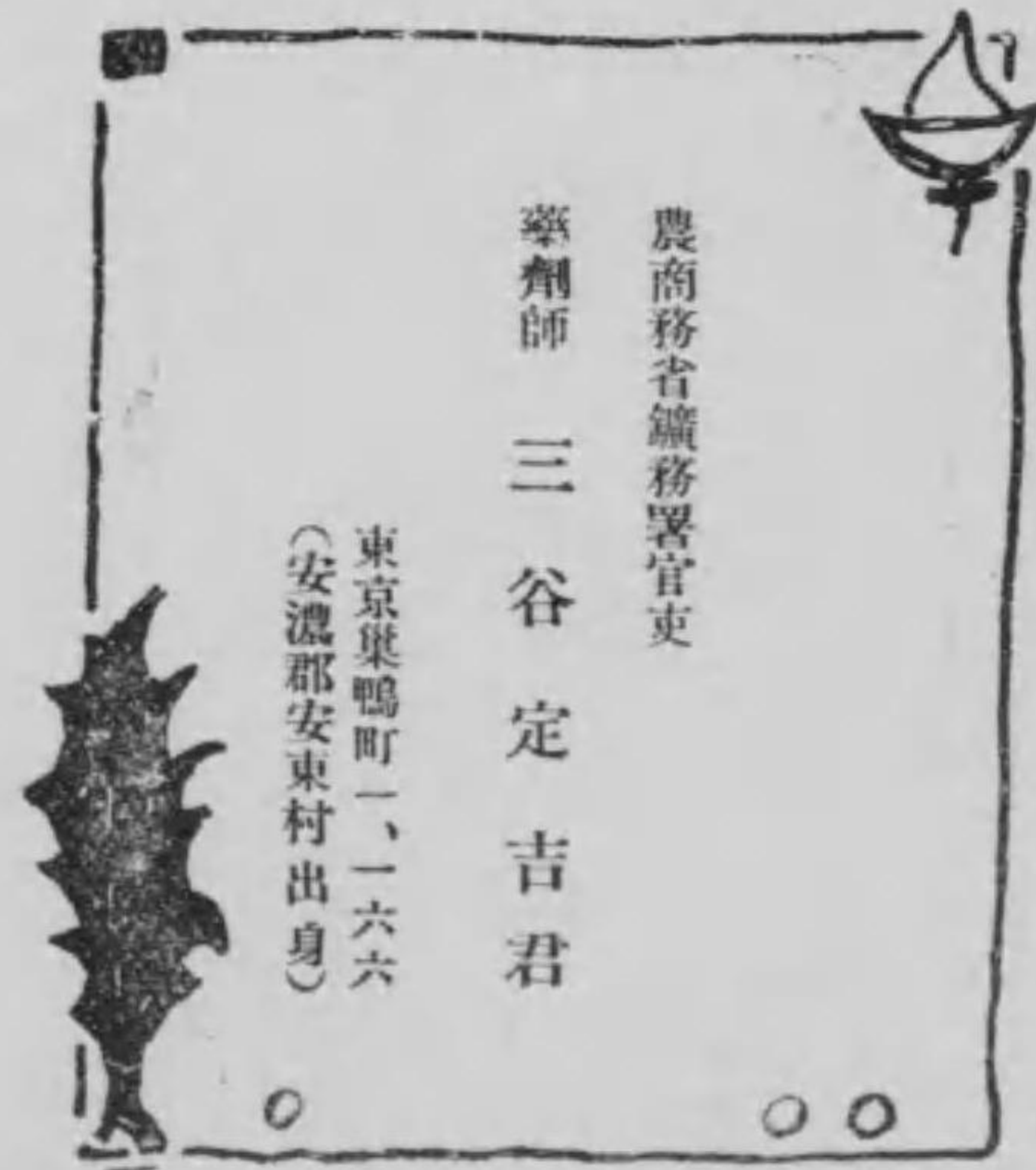
東洋汽船株式會社重役  
法學士 伊東祐忠君  
東京府下大久保百人町  
(津市出身)




新世界京橋區  
政新聞記者 小森默笑君

八十町雀連區田神京東

農商務省礦務署官吏  
藥劑師 三谷定吉君  
東京巢鴨町一、一六六  
(安濃郡安東村出身)



服部洋紙店重役  
大 斂 儀 三 君  
東京日本橋堀留町





陸軍歩兵大尉正七位  
勳五等功五級 坂口 彌吉君

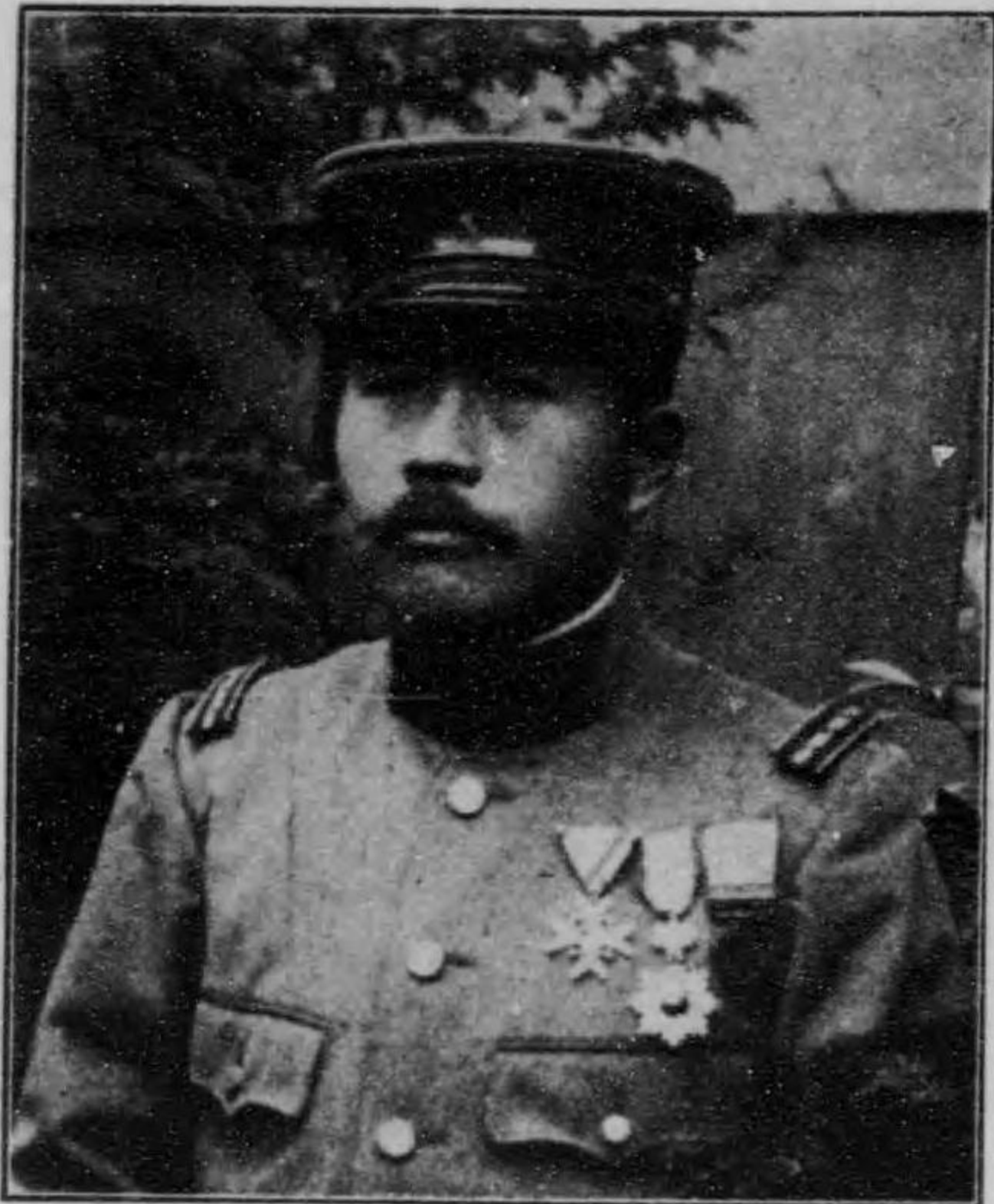


(安濃郡檮形村出身)

東京醫科大學醫學教室  
醫科大學助手醫學士 朝川 順君



陸地測量部勤務  
陸軍砲兵大尉正七位勳六等 宮崎 則美君



(安濃郡新町出身)

同 立町  
(名菓) 金玉堂  
浦千鳥、あこぎ焼  
あこぎ飴 平松 佐十郎  
電話 三三二

同 新立町  
米穀取引所 高木 安次郎  
仲買業 電話長三一八、電略キチ

同 新立町  
米穀取引所 丸岡 爲之助  
仲買業 電話一二八長四三〇、電略ッ〇一

同 下部田町  
竹材及洒竹 關權 倉田 德次郎  
製造販賣

同 丸ノ内  
竹材問屋 角中商店 森田 庄藏  
並籠 電話 六五〇

同 常盤町  
木材商 八田 新五郎  
電話長五四〇、電略ハタ

同 船頭町  
木材商 谷口 半内  
電話 三一

同 船頭町  
製木材業 國分市 太郎  
電話三一、話略〇コ(コ)

同 宮ノ前  
木材商 國分 芳太郎  
電話 四三五

山之瀬古町  
土木建築 野呂組 野呂 廣吉  
請負業 電話長 二四七



農商務事務官  
正七位  
法學士 森谷秀三郎君  
東京府下下濠谷羽根澤  
二六三 (津市出身)



帝國大學法科大學教授  
法學博士 宮崎道三郎君  
東京市本郷曙町一五  
(津市出身)



川口佐一郎君  
東京日本橋蠣殻町  
(津市出身)

津市岩田町  
香油、蠟燭、元結  
線香類販賣 川北佐平治  
電話長 二五五

同 築地町  
スタン卜石油會社代理店

諸油商 松田茂登  
電話長一七一 電略カネエ

同 下部田町  
皮革商 山本恒一郎  
電話長 五一九

同 相生町  
牛皮商 製造商 里見嘉平次  
洗濯石鹼 電略マルカ(又)カ

同 上濱町  
砂糖、米利堅 伊藤太七  
粉、石油商 電話一五電略イタ 振替 大阪四三三八

同 茶屋町  
紙、砂糖 富島利八  
豐表商 電話五八 電話トミリ

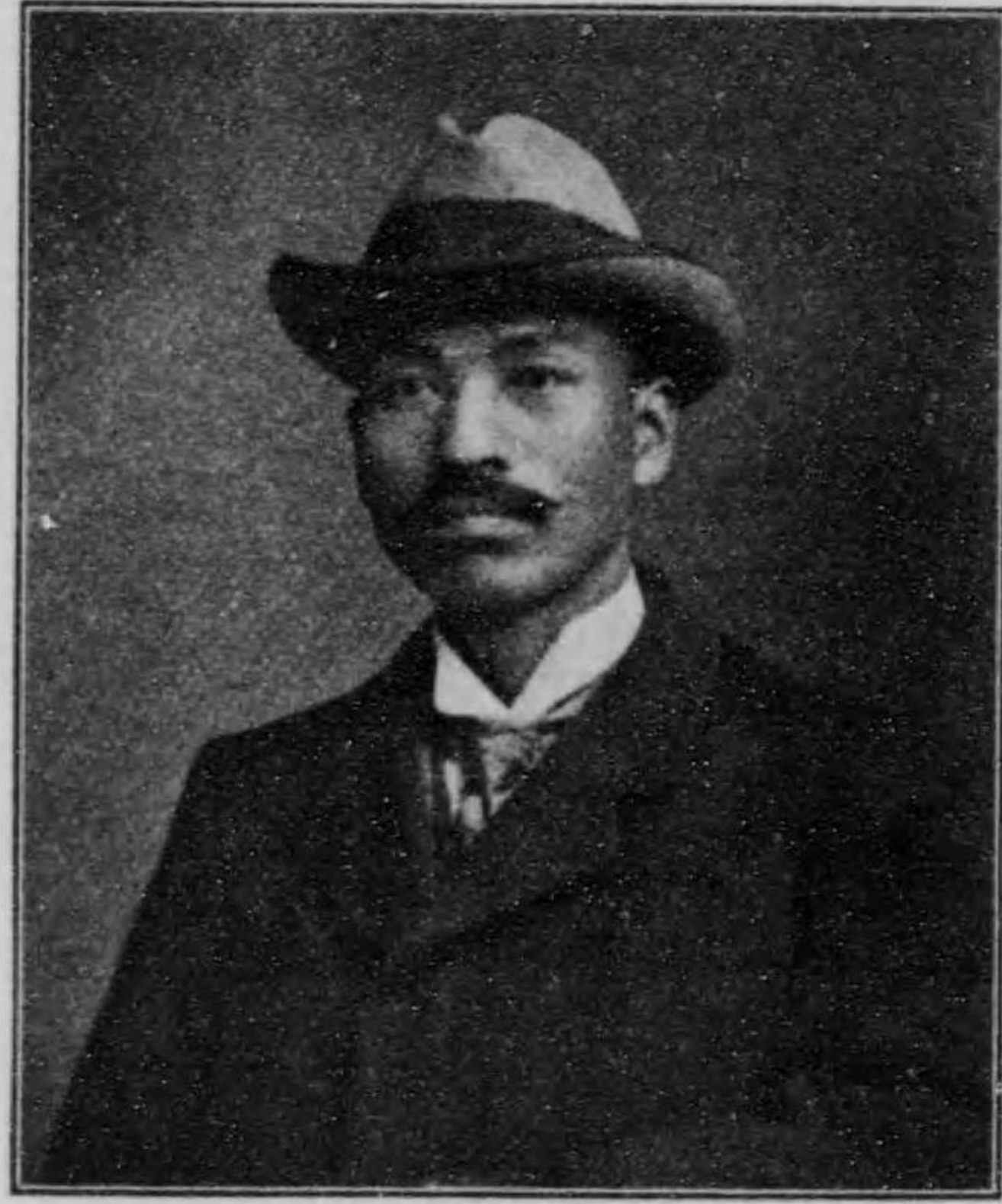
同 柳屋  
砂糖、石油 太田茂兵衛  
綿糸商 電話長三六 電略ヲヲタ 振替 大阪一六四六

同 藏町  
紙、砂糖、麻苧 せきや 岡崎茂八  
網糸、疊糸 同 立町 めん勘

同 村山勘七  
紙、砂糖、蠟燭 電話二七 電略ム(ムラ)

同 分部町  
(名菓) 前川喜三郎  
千鳥煎餅 電話 一六七

東京市日本橋區本石町三ノ四  
鑛務省官吏(新町出身) 大和智道君



津市佐伯町 執達吏 柳田玄一君



津市西新町 執達吏 清水伴造君



津市之資産家

宿分山築大船大築山分宿  
屋中部地門頭門地中部屋  
宿分山築大船大築山分宿  
屋中部地門頭門地中部屋

京新上 下 極 東 西 宿 上 築 宿 北 分 分 上 大 船 大 築 山 分 宿  
口 東 濱 田 樂 口 出 屋 敷 屋 濱 地 屋 濱 部 部 濱 門 頭 門 地 中 部 屋

所得稅年額二千五百圓以上

田中治郎左衛門 川喜田久太夫 辻國三郎 眞弓吉雄 鈴木庄次郎 松本恒之助 小松林源六 富田金七 梅本惣八 岡田茂兵衛 岡田右衛門 中川藤右衛門 川喜田四郎兵衛 橋本清兵衛 金子安兵衛 田中安兵衛 丸山文七 後藤仁兵衛 伊藤孫一 伊藤純太郎 小島惣右衛門

大富惣兵衛 下岡新次郎 土山小一郎 國分三郎 山本政三郎 富島利八郎 野呂廣吉 雪下貞夫 淺野生貞 小野寺右衛門 加藤勝藏 原田靜雄 堀田義次郎 野呂兵衛 野呂直助 玉置直助 土井留之助

大東北北藤東東玉玉  
門濱江置置

松阿天渡谷伊丸川岩  
田保春邊澤藤山口田  
甚弘源正次辨藤長九  
郎平郎郎郎助七郎務



野間正稿君

東京市麹町區上六番町  
三二、商工中學校幹事  
(津市出身)

遞信省官吏(津市出身) 西川佐太郎君



陸軍砲兵少尉

川合 潔君

野砲十七聯隊附(津市出身)

工兵第三大隊附陸軍工兵特務曹長勳七等

川邊源三郎君



(安濃郡安東村出身)



醫學士

岡本 弘君

津市岩田山中町





静岡聯隊區司令部陸軍歩兵  
大尉正七位 五等功五級

小川三郎君



歩兵第五十一聯隊附  
陸軍歩兵中尉從七位

應森

孝君



社神城結(津)



安濃津區裁判所監督書記現住  
津市西新町(伊賀上野町出身)

中尾熊之助君



歩兵第三十三聯隊附陸軍歩兵  
特務曹長從七位勳六等功七級(津市上濱町出身)

君郎次定垣稻

津市極樂寺

醬油 後藤仁兵衛

同入江町  
青物商 芝原恭一郎  
乾物商

富士倉屋 津市築地町  
酒味贈 岡本千代治  
醬油販賣 電話二四〇 電略フシ(ヌ)フ

同北濱町  
岡八兵衛

安濃郡新町

和洋酒 谷口文助

同千歲町  
小塚政吉

津市常盤町

酒醬油商 高井作右衛門

同藏町  
谷中平三郎

同魚町

魚類商 羽田貞吉

同伊豫町  
福島岩吉

同北濱町

魚類商 岡平右衛門

同下部田公園前  
臈浴巾製造業 臈浴巾商會  
曙タラ 電話長六七〇 電略オホ

同魚町

魚類商 中島長七

同西町  
胡蝶印、布袋 柴田廣吉  
印タラ 製造

同魚町

魚類商 倉田太郎兵衛

同餘慶町  
國產木綿 廣瀨平治郎  
製造販賣 電略ヒロセ

同魚町

魚類商 須崎七郎兵衛

同釜屋町  
輸出向紙糸 盛林合資會社  
紙織物製造 電話三三六 電略〇セ

同北濱町

魚類商 鈴木九藏

同宿屋町  
吳服太物商 紙平吳服店  
支配人 福井松藏  
電話長二六〇 電略カミヘ

津市築地町  
大阪商船株式會社 太田回漕店  
荷客取扱店 太田茂兵衛  
運送業 電話長三五 電略ヲヲタ

營業所 西來寺町  
運送業 三木治 齋藤治平  
兼旅館  
(津驛出張店電話七四) 本店中町 電話長七三

同 築地町  
運送業 鈴木市太郎  
電話二〇四 振替大阪一二〇七四

同 藏町  
旅人館 岡宗太夫  
電話長三七

同 榮町塔世橋際  
旅館 河内屋事落合せい  
電話長一二四

同 西町  
旅館 古梅軒 加藤源助  
電話長一二二

津 停車場前  
遠帆樓松坂屋  
旅館兼 後藤市兵衛  
料理店 電話一八、六二七

同 北町  
旅館 大鹿旅館 齋藤鹿之助  
電話三三三

同 入江町  
料理兼 生月竹中 密次郎  
旅人宿 電話六二

同 津市海岸  
料理店 聽潮館 後藤たね  
兼旅館 電話長一〇六

同 立町  
池上鐘詰店  
名産時雨蛤鐘詰池 上徳兵衛  
及各種鐘詰卸商 電話 六五三

同 贊崎通り  
伊勢磨砂 野田清三郎  
問屋 電話ノタ

同市 愛宕町  
獸肉問屋 鳥金尾金五郎  
卸 電話 六三一

同市 立町  
乳母車製造 後藤吉兵衛  
藤細工

同市 大門町  
玩具物問屋 進伴左衛門  
電話シ

同市 魚町  
保險業 辻彦作

同市 萬町  
料理業 岡新六

同市 西町  
料理業 若林喜兵衛

同市 入江町  
料理業 植村ハナ

同市南ノ瀬古町  
料理業 北村利兵衛

桑名町

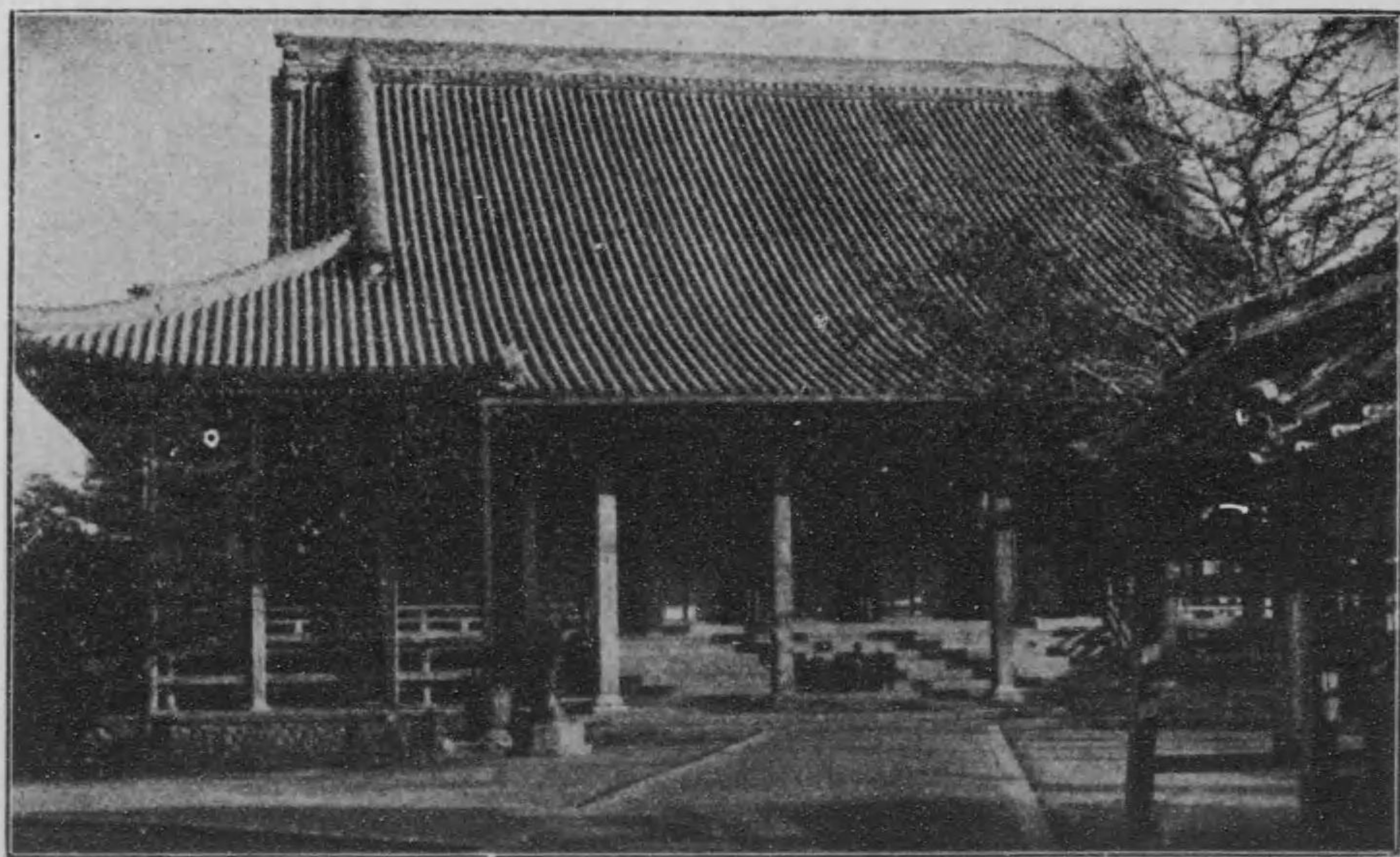
舊久松氏十一萬石の城下なり、揖斐川の下流に位し港津をなし、市街南北に長く東西に短し縣下六市街の一にして桑名郡役所稅務署の所在地なり、商業繁盛を極む、就中米穀の取引最も盛にして、東京の蠣殻町大阪の堂島に次いで、本縣桑名の名高し。市街は平行にして三面繞らすに濠を以てし、吉の丸に近く貯水場あり、最も繁華なる場所は米取引所の附近にして、本町、江戸町、片町之れに次ぐ、附近名勝古蹟多く、大字三崎に桑名神社、中臣神社鍋屋町に天武天皇社あり、淨土宗淨土寺法盛寺は名ある、古刹なり。

町の名産時雨蛤、白魚、蕪を晝きたる塗物盆煉瓦なり。

米穀の取引最も盛なるを以て随つて町況活氣を呈す又酒の醸造進歩を見、精良酒を出すに至れり。名産時雨蛤の罐詰天下に其名聲を博し、共進會博覽會に於て名譽金牌の受賞者少なからず、又改良せる漁網の製出さるゝ所なるを以てこれ又博覽會共進會に於て受賞者多く、水産上多大の貢獻をなすつゝあり。金融界に於ては株式會社桑名銀行設立弘化二年と云ふ。信用最も多くして其他桑名米穀取引所の如く、實に設立天明四年の古きものにして、如何に此地の商業の往昔より盛なりしを推知せらるべし。

名勝古蹟

桑名神社  
中臣神社  
天武天皇社  
法盛寺  
淨土寺



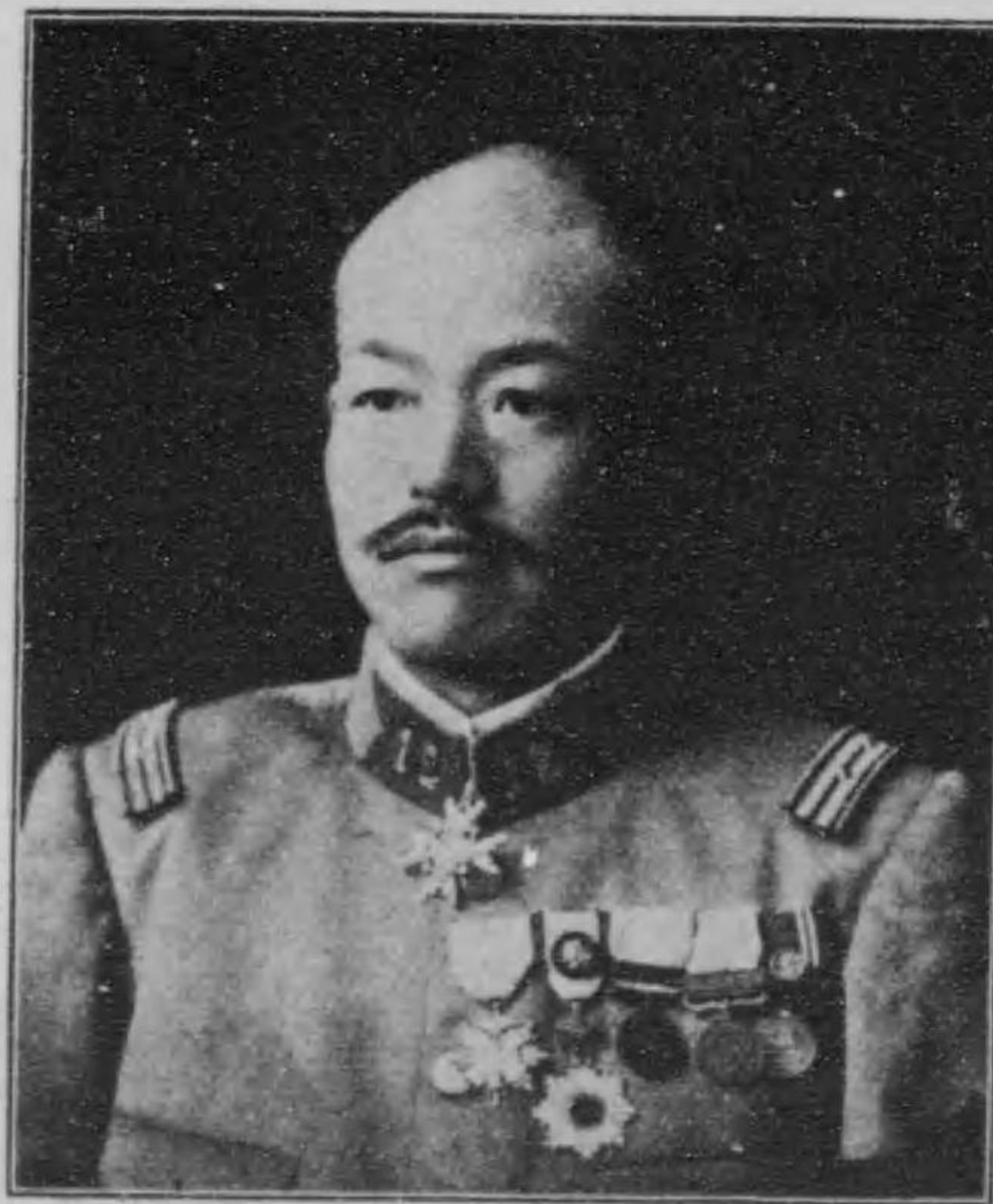
寺 盛 法 (名 桑)





宇都宮憲兵隊長  
陸軍憲兵少佐

日下部道德君



小倉市大坂町百十八  
野砲兵第十二聯隊長  
陸軍砲兵大佐

木村戒自君



文學博士 前田 慧 雲君  
 東京市小石川四片町  
 (桑名郡出身)



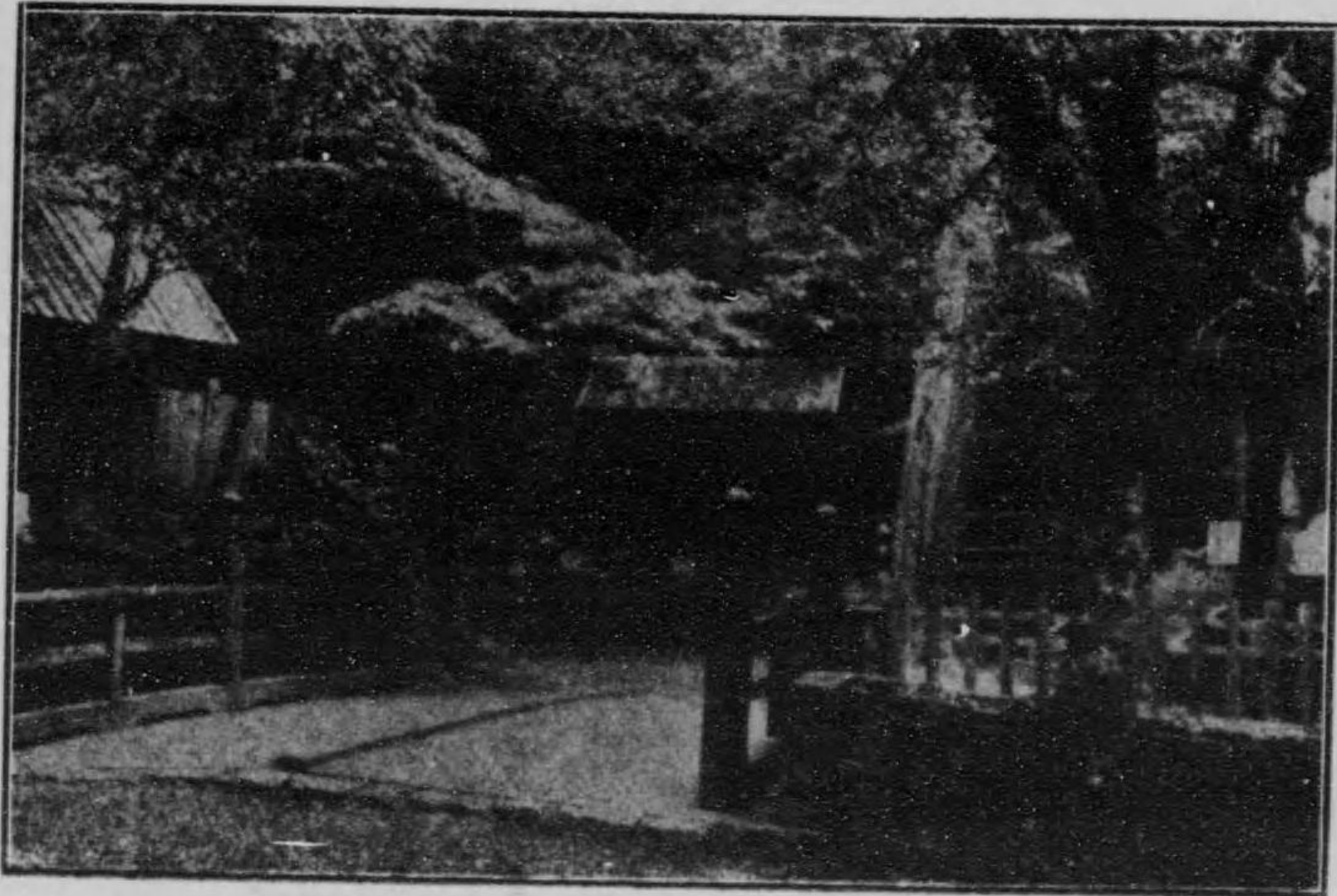
陸軍一等主計正七位勳六等  
 (桑名町字新屋敷出身)

君一 上 井

■ 名 勝

多度神社

國幣大社にして多度村  
 に鎮座す、多度山は最  
 も幽古にして八勝の選  
 あり



大福田寺  
 眞言宗にして大山田村大字  
 東方に在り、附近なる丸山  
 は近國を雙眸に收むるの勝  
 區

長島城址

木曾、揖斐二川の中間なる  
 長島村にあり

立坂神社

益生村大字矢田に鎮座す、  
 有王墓あり

白魚塚は城南村大字赤須賀  
 新田の堤上にあり



文 部 次 官  
 福 原 録 次 郎 君

桑名町北魚町

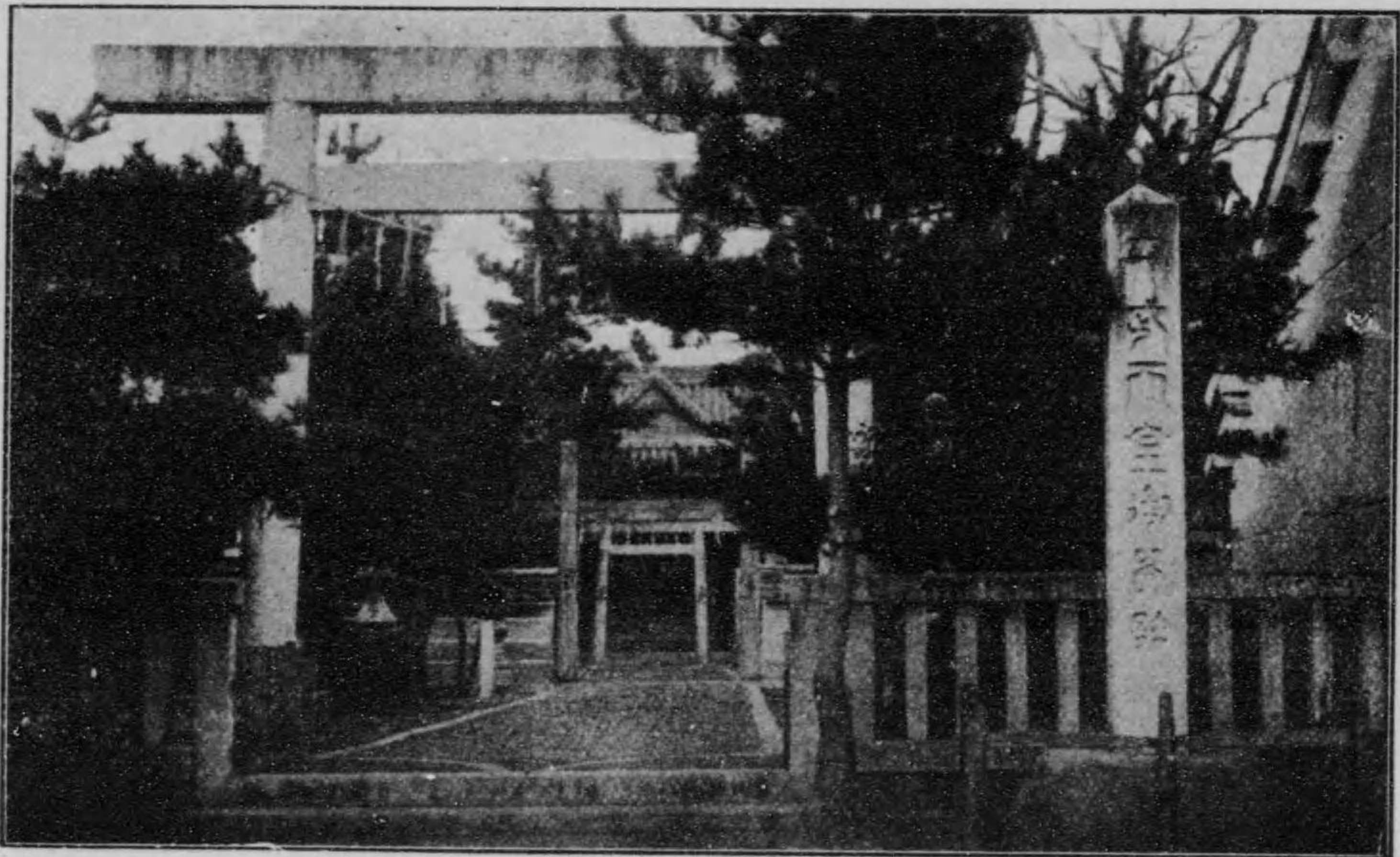
資本金三十萬圓

株式會社 桑名銀行

電話長四〇 電略〇

株式會社 桑名貯蓄銀行  
 桑名倉庫株式會社  
 桑名米穀取引所  
 桑名町電話長二〇

天武天皇御舊蹟



桑名町

材木商 佐々部 材木店

電話長二〇三

同船馬町

材木商 三ツ和材木合資會社

電話六一 電略三ツ

桑名驛前

鐵道貨物運輸業 明治運送取引店

電話長一三〇

桑名郡大山田村

運送業 眞野運送店

電話一一六 電略マノ

同郡大山田村

同 內國通運株式會社代理店

電話長二二一 電略〇ツ

伊勢富田驛

日本遞業株式會社取引店

同 合資會社今村運送店

電話長一六

富田驛前

運送業 生川平三郎

電話九 電略一

桑名町字馬道

製綿業、小袖、青梅、中入判、製綿 所

電話長二〇六 電略〇キチ(又)〇

同町

磁瑯鐵器及鑄物製造販賣 磁瑯鐵器株式會社

電話二七三〇 電略ホロ(又)ホ

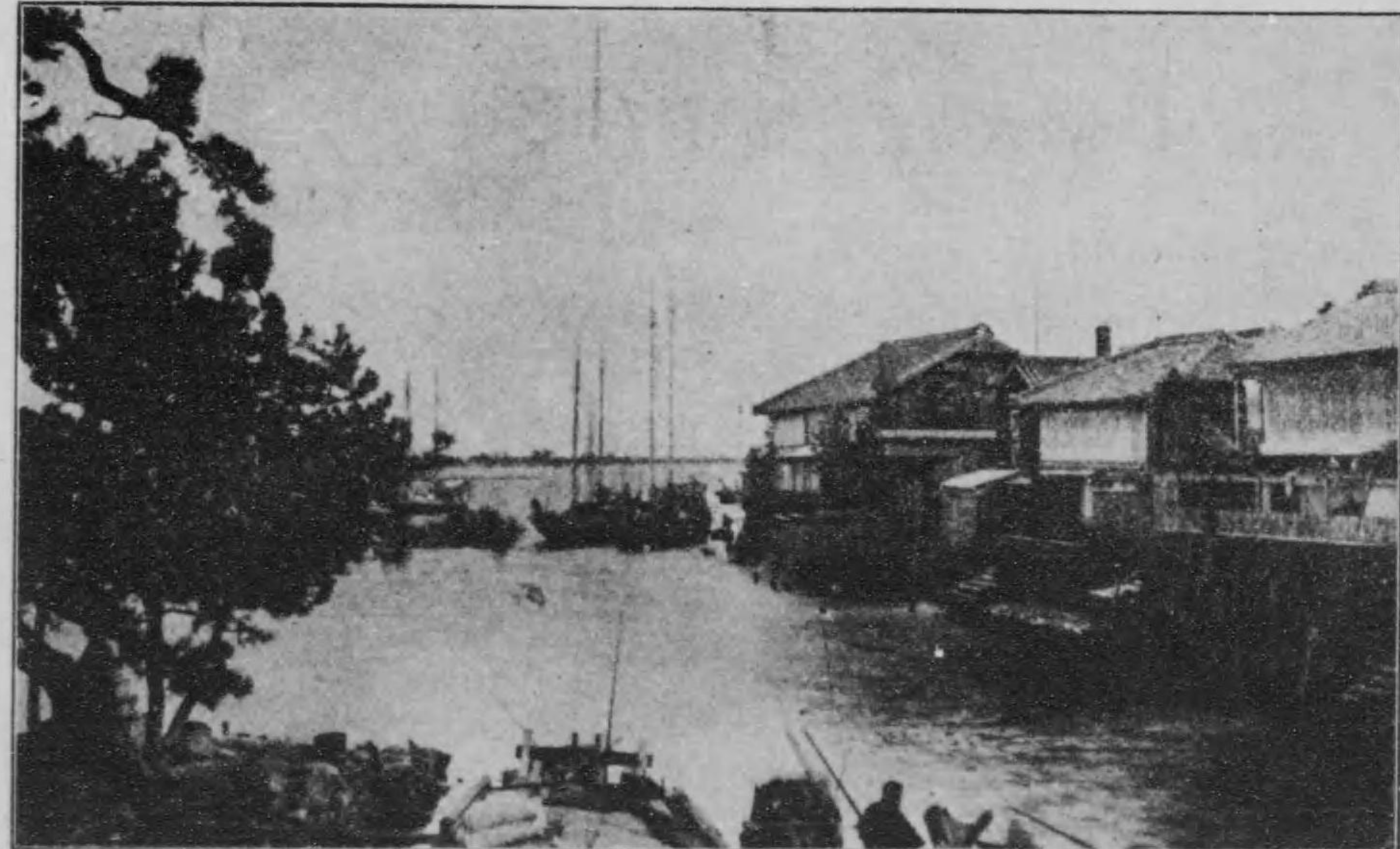
三重郡富田村

水飴晒飴製造販賣 加藤孫兵衛

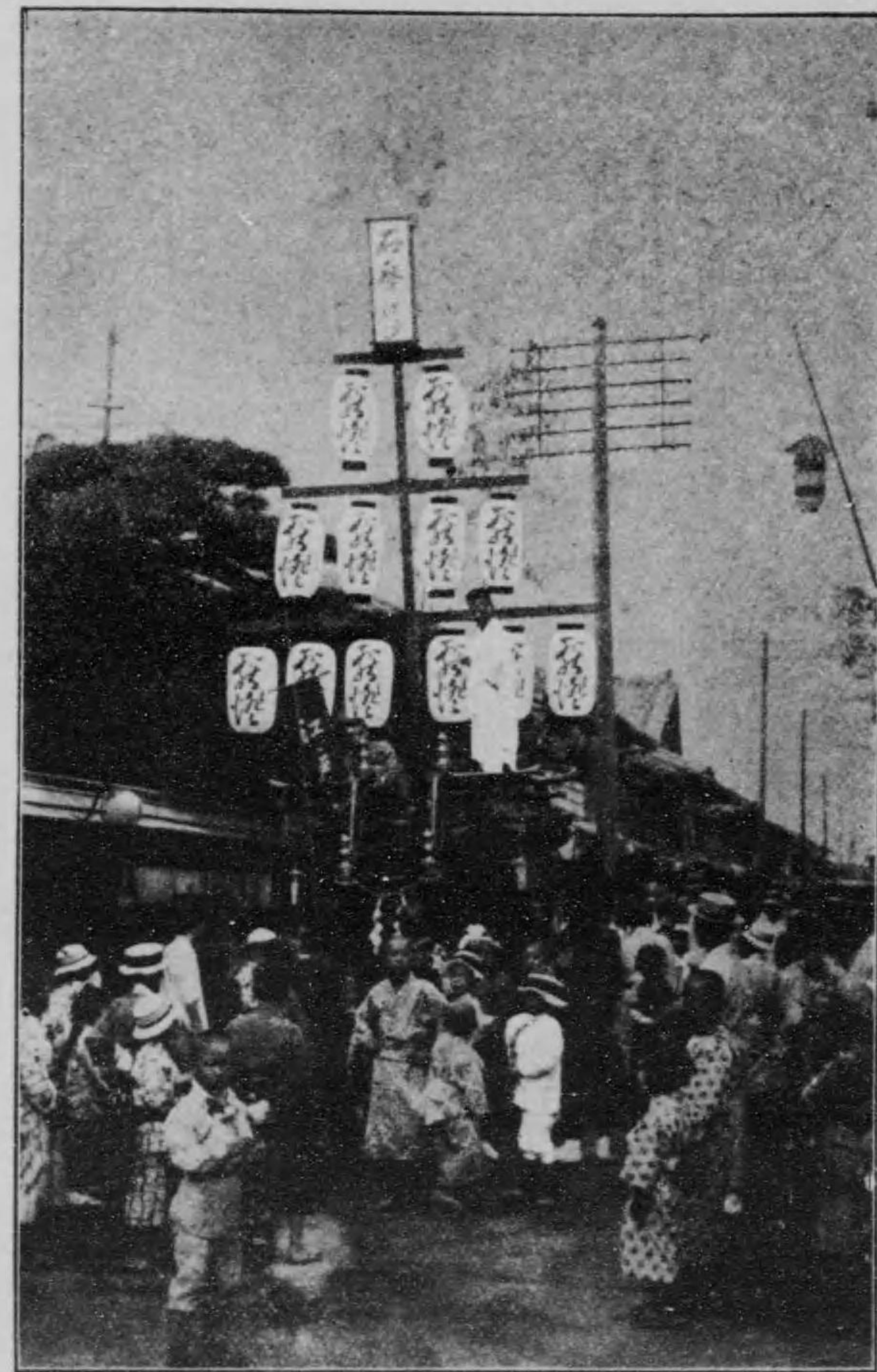
電話八 電略カト(カ)

陸軍騎兵中尉  
從七位  
馬場 三 次 郎 君  
騎兵第一聯隊附  
(桑名出身)

桑名病院長  
醫學士 竹村 榮 太 君  
桑名郡桑名町

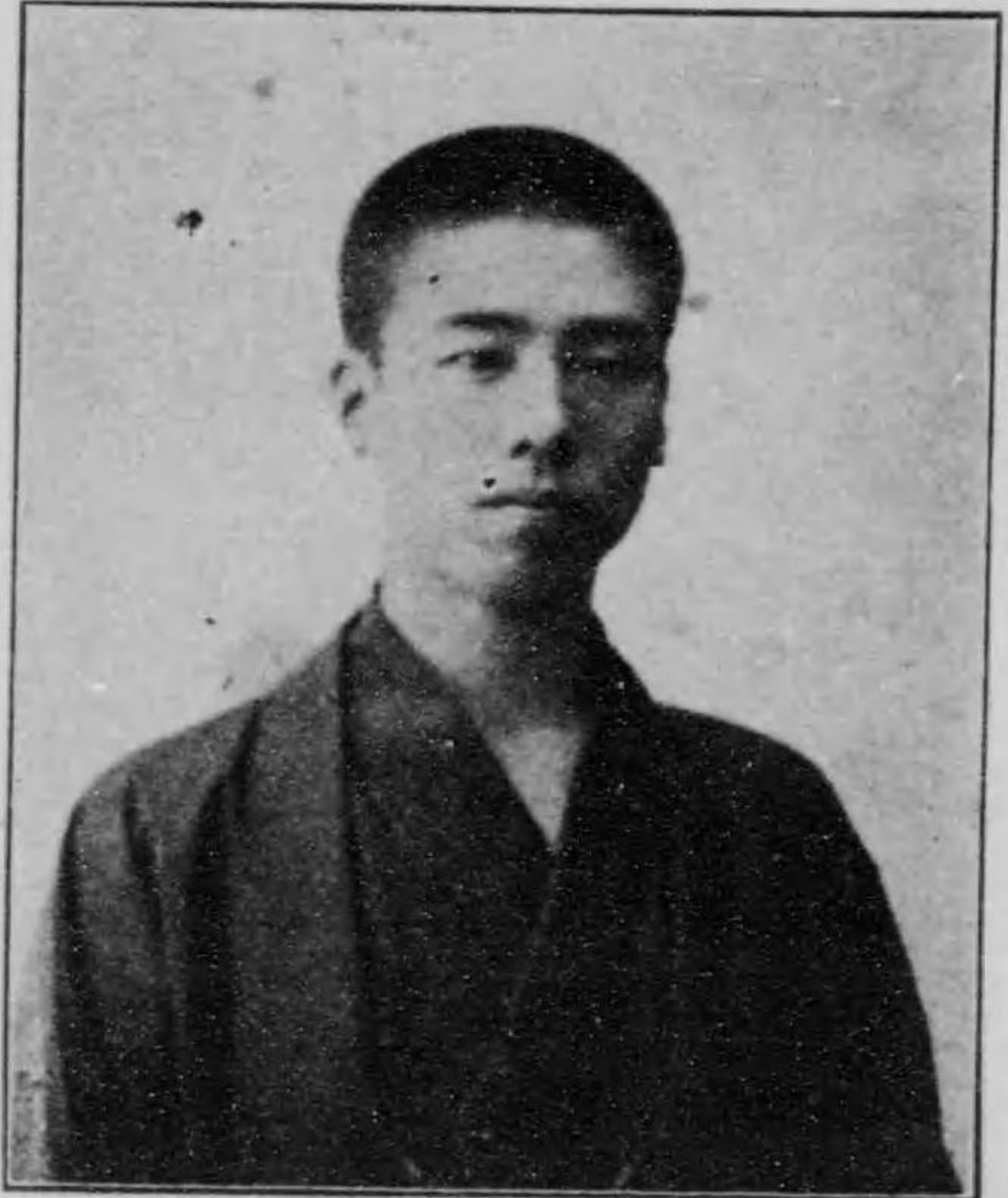


揖 斐 川 の 河 畔

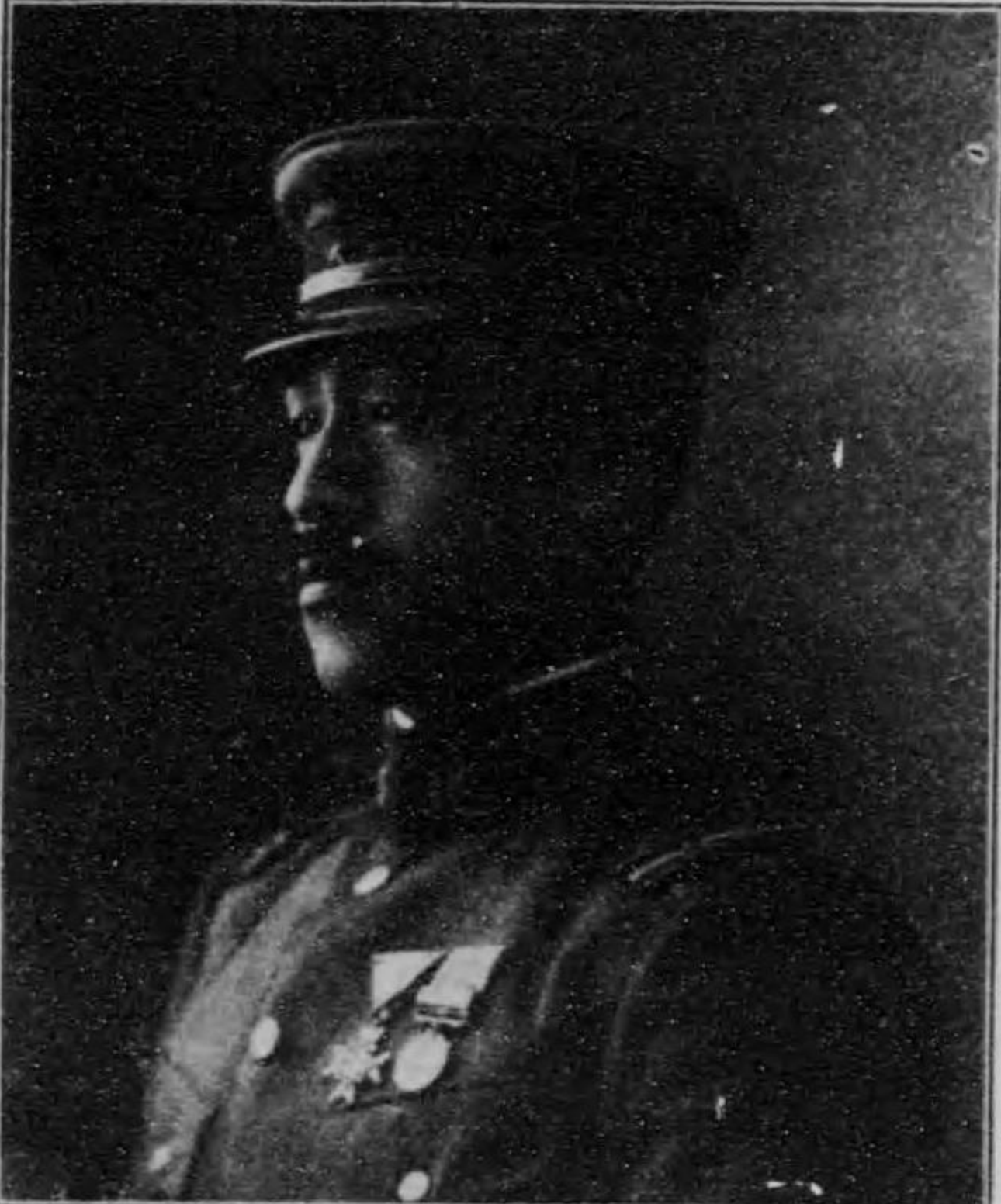


桑 名 江 戶 町 石 取 祭

陸軍三等正計正  
從六位勳四等功五級  
松尾經喜君



陸軍歩兵中尉  
從七位勳五等  
佐藤秀義君



現住津市一番町  
執達吏  
片桐敬一君



(桑名町新地出身)

桑名町資産家

川瀬庄次郎伊藤幸吉	佐藤信之助岩間節藏	伊藤紀兵衛平野助右衛門	森喜兵衛加藤新平	貝塚卯兵衛岩尾惇正	山本治兵衛稻垣助八	伊藤甚吉町田鈴三	田中爲吉町田路男	安達半三郎橋爪敬太郎	水谷宗吉内田十喜治	出口與平竹田乘男	岡村清兵衛小出六郎	河瀬文藏桑原利作	伊藤襄吉佐藤伊三郎	荒木喜助堀田房吉郎	桑原新七横田太一郎	鷺野辛藏水谷勘助	伊藤清六山本重次郎	松井七太松田吉次郎	水谷與六安達仁兵衛	松本長藏稻垣謙次郎	高島嘉藏小林藤助	平野勘六伊藤紀三郎	石野五郎兵衛佐藤源太郎	水谷さい磯野彌吉	伊藤しな久村源助	伊藤卯七安井清三郎	水谷吉兵衛飯田一畝	堀谷吉加藤友次郎	味岡主す佐藤治兵衛
-----------	-----------	-------------	----------	-----------	-----------	----------	----------	------------	-----------	----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-------------	----------	----------	-----------	-----------	----------	-----------

桑名郡村名

警察署管轄 役場所在地

伊曾島村同	木曾岬村同	長島村同	楠村長島分署西	七取村同	多度村同	古美村同	古濱村同	野代村同	深谷村同	大山田村同	在良村同	益生村同	桑部村同	城南村同	赤須賀村桑
福豊新田	西對海地新田	長島	西	福	戸	古	力	中	上	北	蓮	本	桑	和	名
								須	深	別	花	願	部	泉	獵
								村	谷	所	寺	寺			師
									部						町



君憲邦古加士博學法

風寶本江舟堤住今中今今今今福鍋萱葭紺吉南三油宮江本新矢柳伊元外吉川  
 呂殿願場町原吉一一一江屋町屋津魚崎町通戶町地田原賀赤堀之口  
 寺、大田八相寺片中大大北太矢傳新入、京、北職片清船原一新賀桑、三  
 宮、小福町幡生、北、丸、治、町、馬、江、鍛、町、殿、魚、人、町、水、馬、色、屋、敷、名、堀、丸  
 網

桑名町名

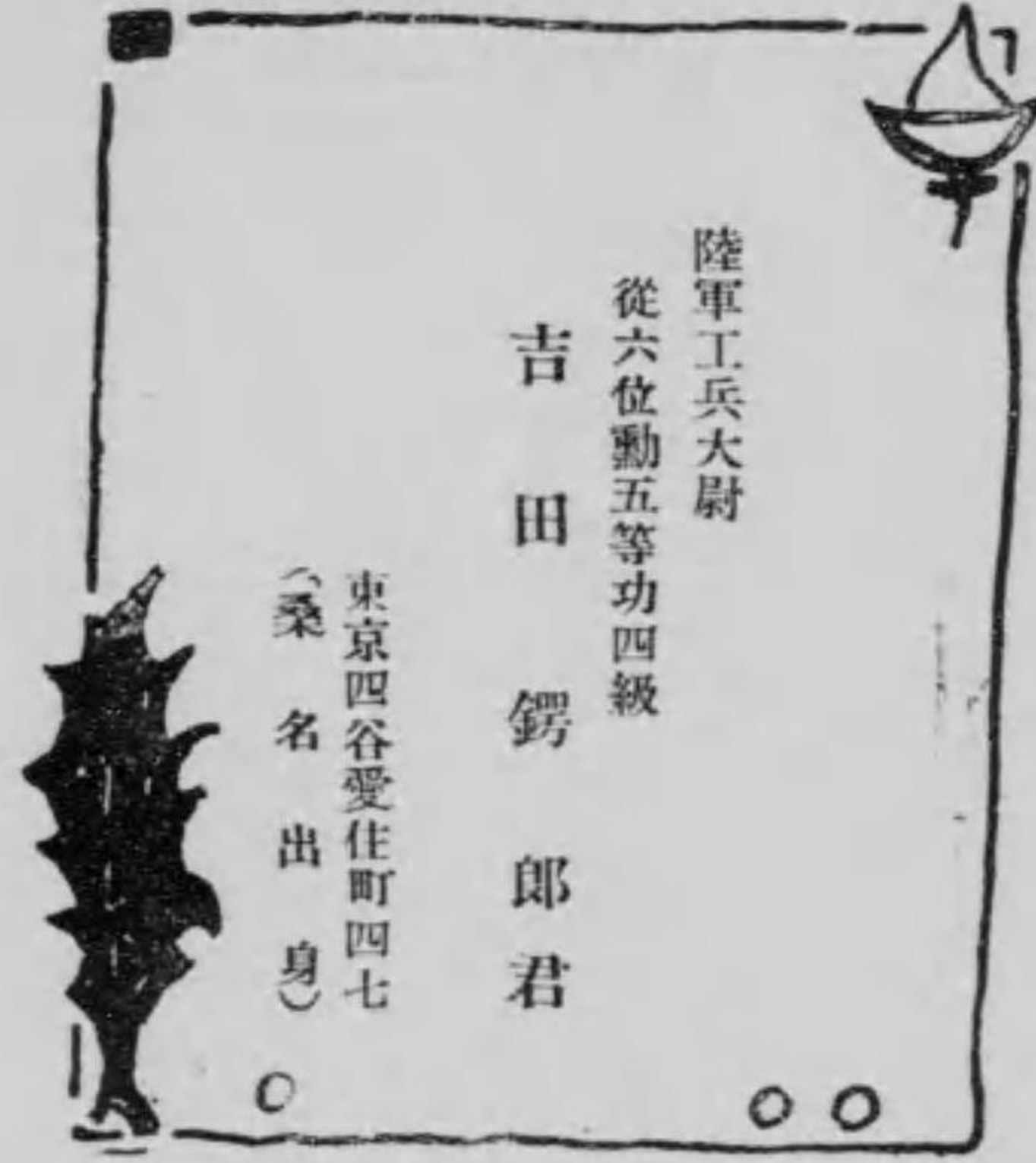


君清谷水

現住津市丸ノ内殿町  
 執達吏(古濱村出身)



陸軍歩兵大尉  
從六位勳五等功五級  
三宅 光治君  
東京四谷區右京町三八(桑名出身)



陸軍工兵大尉  
從六位勳五等功四級  
吉田 鏗郎君  
東京四谷愛住町四七(桑名出身)



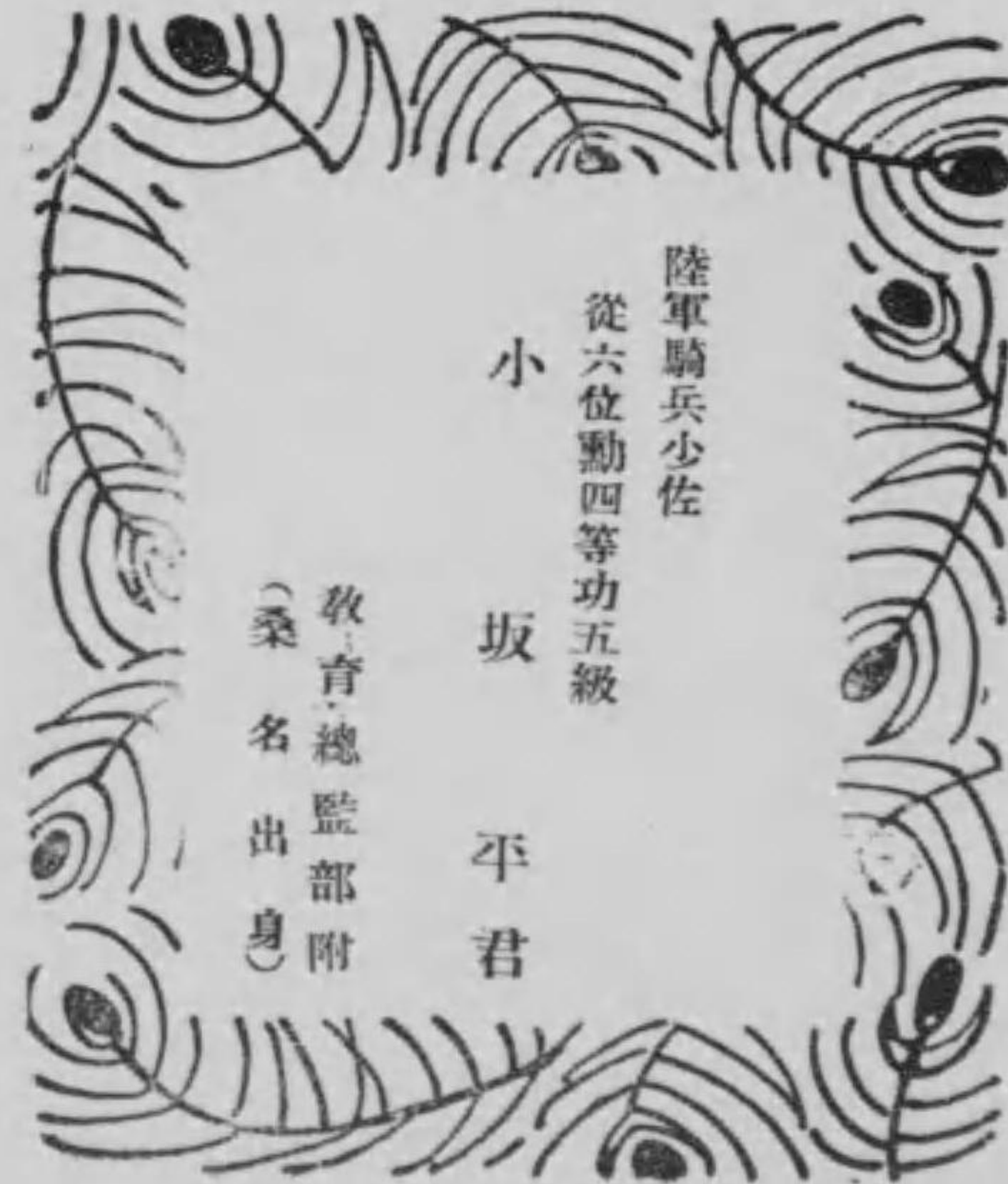
陸軍輜重兵大尉  
正七位勳五等  
鷺野 幸三郎君  
輜重兵第四大隊附(桑名出身)



鐵道院技師  
從六位勳五等  
山田 鑑雄君  
東京市四谷區內藤町一番地乃十二號(桑名出身)



豫備陸軍三等軍醫正  
正六位勳四等功五級  
平野 敏雄君  
靜岡市安西南裏町二十四(桑名出身)



陸軍騎兵少佐  
從六位勳四等功五級  
小坂 平君  
教育總監部附(桑名出身)

桑名町大字吉津屋町  
島清  
國の春、天壽酒 伊勢清六  
電話長一六六 電略シマセ

同町字水車  
清酒釀造 渡邊角次郎  
電話二三七

同町字馬道  
清酒釀造 桑原忠藏

桑名町  
波切屋商店  
清酒釀造曲玉 森喜兵衛  
正宗、花娘 喜兵衛  
電話一三六

桑名町大字吉ノ丸  
合資會社 桑名醬油製造所  
電話二五八 電略〇セ

同町矢田町  
肥料商 岡村清兵衛  
電話長四六 電略ヲカ(ヲ)

同町片町二九  
肥料米穀商 米勘商店  
大豆粉粕商 水谷長三郎

同町片町  
雜米穀商 德永屋  
水谷與六  
電話長二六七電略トクヨ(ヨ)

同町川口町  
名産 貝新  
時雨蛤 伊藤新七  
電話一四九 各博覽會受領

同町本町  
名産 貝又  
時雨蛤 水谷又七

同町南魚町  
柿屋  
海產物 荒木喜助  
電話長一六 電略〇キ

桑名町  
鹽元賣捌井 上喜兵衛  
米穀雜穀肥料 電話長五 電略(半)

同町馬道  
素麵業 横山留吉  
電話長二五九電略ヨコ(又)ヨ

同町片町  
内外果物 水谷久七  
青物問屋 振替大阪一三〇〇五

同町片町  
内外果實 桑名青物合資會社  
青物問屋 電話〇タイ(又)〇  
振替大阪一六三九

同町  
漁網燃糸 山本重治郎  
製造販賣 電話長一三四

同町桑名寺町  
洋貨商 稻垣助八  
電話長二〇五 電略〇スケ

同町桑名  
桑名盆 萬屋  
漆器筆筒 久村源助  
電話長四三振替東京一七二八七

同町笹屋  
砂糖小麥 平野常次郎  
飴商 電話一二 電略ヒ

同町田邊  
木材商 田邊藤次郎  
電話二五二 電略〇ト

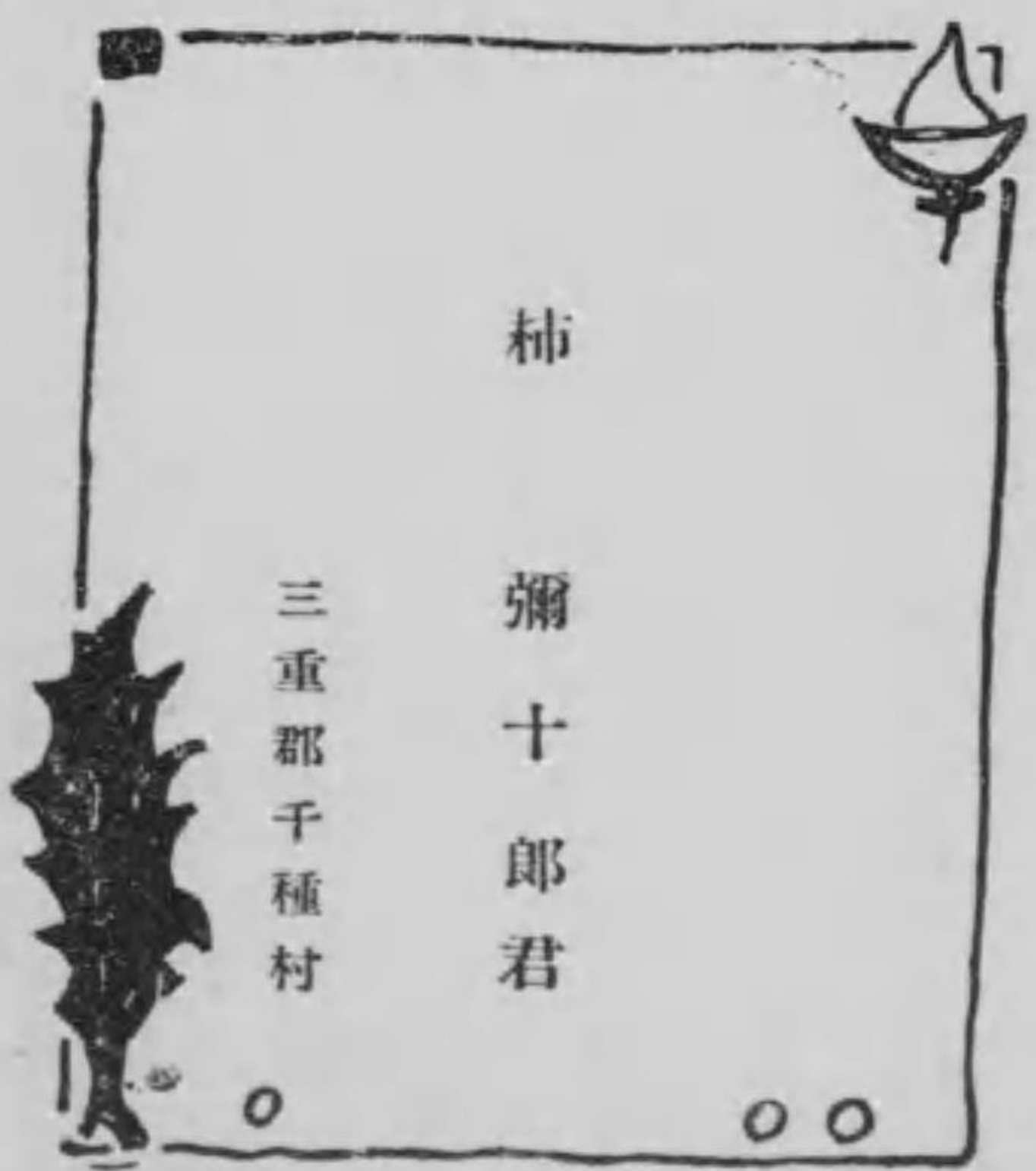
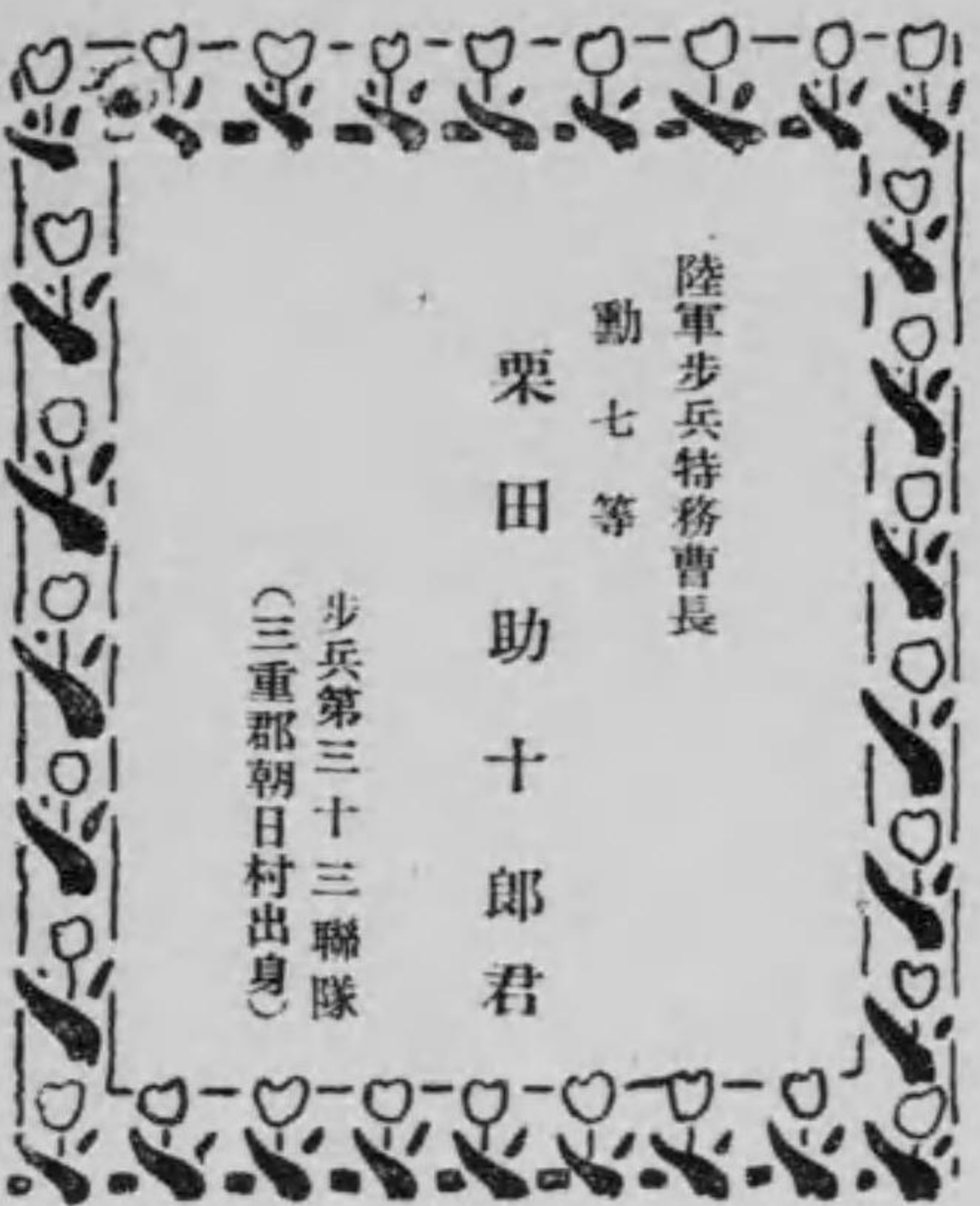


### 三重郡

桑名町を南に町田川を渡りたる所、昔は朝明川を中心として桑名郡と三重郡との間に朝明郡を置きしが、明治三十一年三重郡に合す。鐵道線路此の低地を走る。名勝古蹟に富み西行庵址は朝上村大字田口に、殖粟連の墓は保々村大字小牧に、萱生城址は八郷村大字萱生の城山に眺望によき垂阪臺は大矢知村の大字垂阪にあり、光明寺は眞言宗にして羽津村に在り又此村に岡と呼ぶ高丘ありて稚松群生して風色よし、千種城址は千種村字城山に、菰野城址は菰野村字藩内に、日永城址は日永の登城山に在り、楓溪は水澤村に在りて紅錦秋を想ふべし。湯之山温泉は菰野村字湯之山にあり温泉單純泉にして煮沸して入浴の用に供す避暑に適す、遍照院三重村大字東坂部に禪林寺は鶴川原村に觀音寺は日永大字六呂見に在り附近櫻村に長福寺址の櫻ありて伊勢義盛の墳墓は川島村大字川島の西福寺にあり、もし四日市より三岳川の流に沿ひ、谿谷を辿りて菰野に出でんか上流に飛瀑ありて飛沫雪の如く湯の山の奇觀を見るを得べし。

### 名勝

西行庵址 萱生城址 光明寺  
 千種城址 菰野城址 日永城址  
 楓溪 湯之山温泉 遍照院  
 禪林寺 觀音寺 長福城址

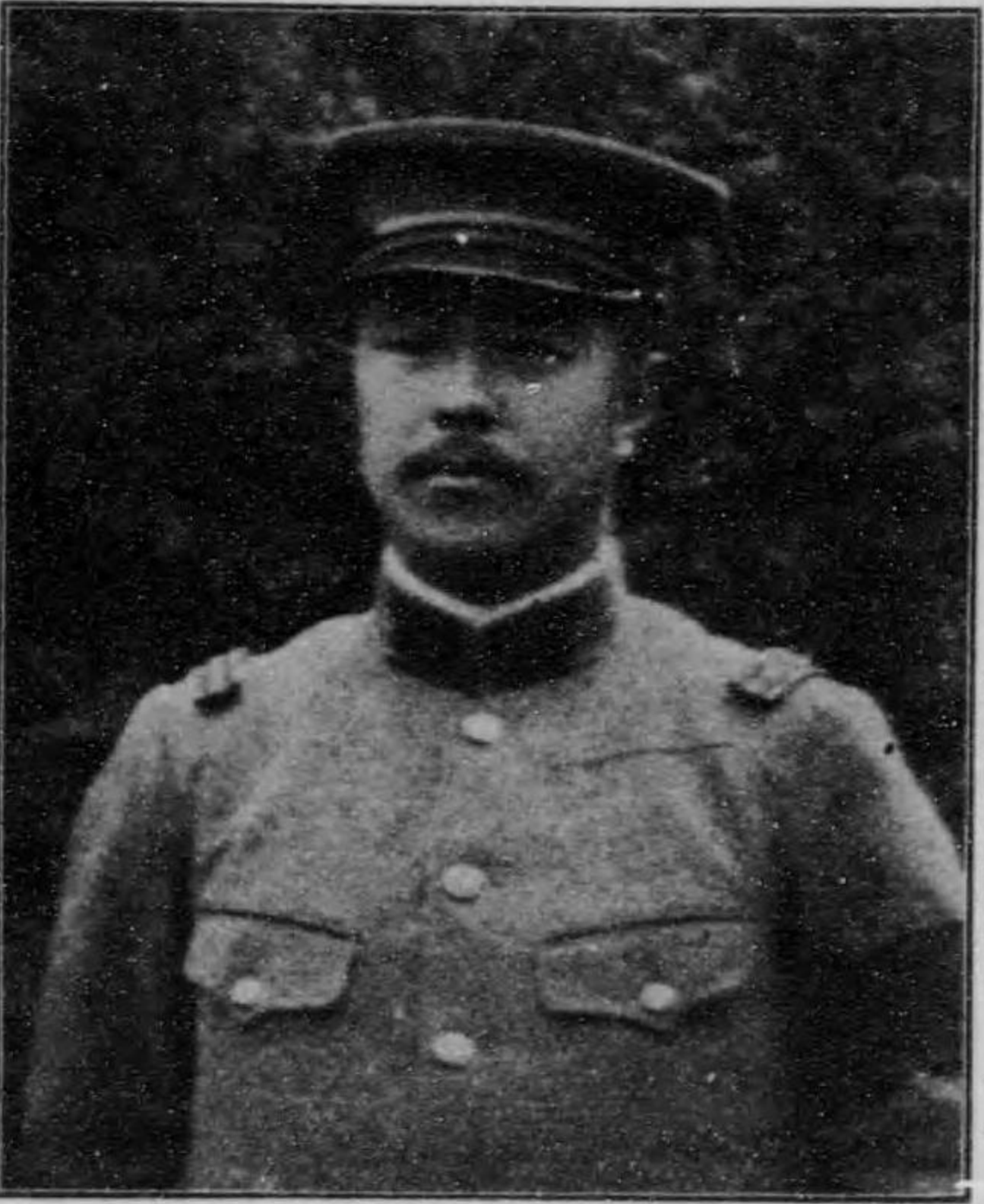


陸軍一等主計  
從六位勳四等  
服部彌太郎君



(三重村出身)

陸軍歩兵大尉  
從六位勳五等功五級  
日比重造君



(菰野出身)

陸軍歩兵少尉  
寺本喜男君



(三重郡朝日村小向出身)

歩兵少尉正八位

秦彦三郎君

歩兵五十一聯隊  
(三重郡出身)



逓信省電氣局官吏

福村貞一君

東京府下四久保  
四二六(菰野出身)



陸軍歩兵少尉

一見藤太郎君

歩兵五十一聯隊  
(三重郡出身)





東京高等工業學校教授  
正七位  
工學士 近藤清治君  
東京市小石川小日向水道町九〇（櫻村出身）

各官廳所在地  
三重郡役所  
三重郡海藏村末永  
同海武村字東阿倉川  
菰野町



東京帝國大學病院婦人科  
醫局醫科大學副手  
醫學士 片山總太郎君  
（三重郡川越村出身）



鐵道院官吏  
深井庄次郎君  
（三重郡出身）

三重郡村名

朝上村	竹永村	保々村	下野村	八郷村	大矢知村	朝日村	川越村	富洲原村	富田村	羽津村	海藏村	三重村	縣村	鷓川原村	千種村	菰野村	櫻村	神前村	鹽濱村	常盤村	川島村	四郷村	水澤村	小山田村	內部村	日永村	河原田村	楠村	
同	同	菰野	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二田	永	中	中	平	大矢	小	豐田	富田	二東	羽	末	赤	下	千	二菰	櫻	高	鹽	中	川	西	二水	山	采	二日	大	北	役場所在地	
光	井	野	里	津	田	向	色	色	田	津	永	部	水	原	草	野	村	角	濱	川	島	野	村	田	女	永	田	色	

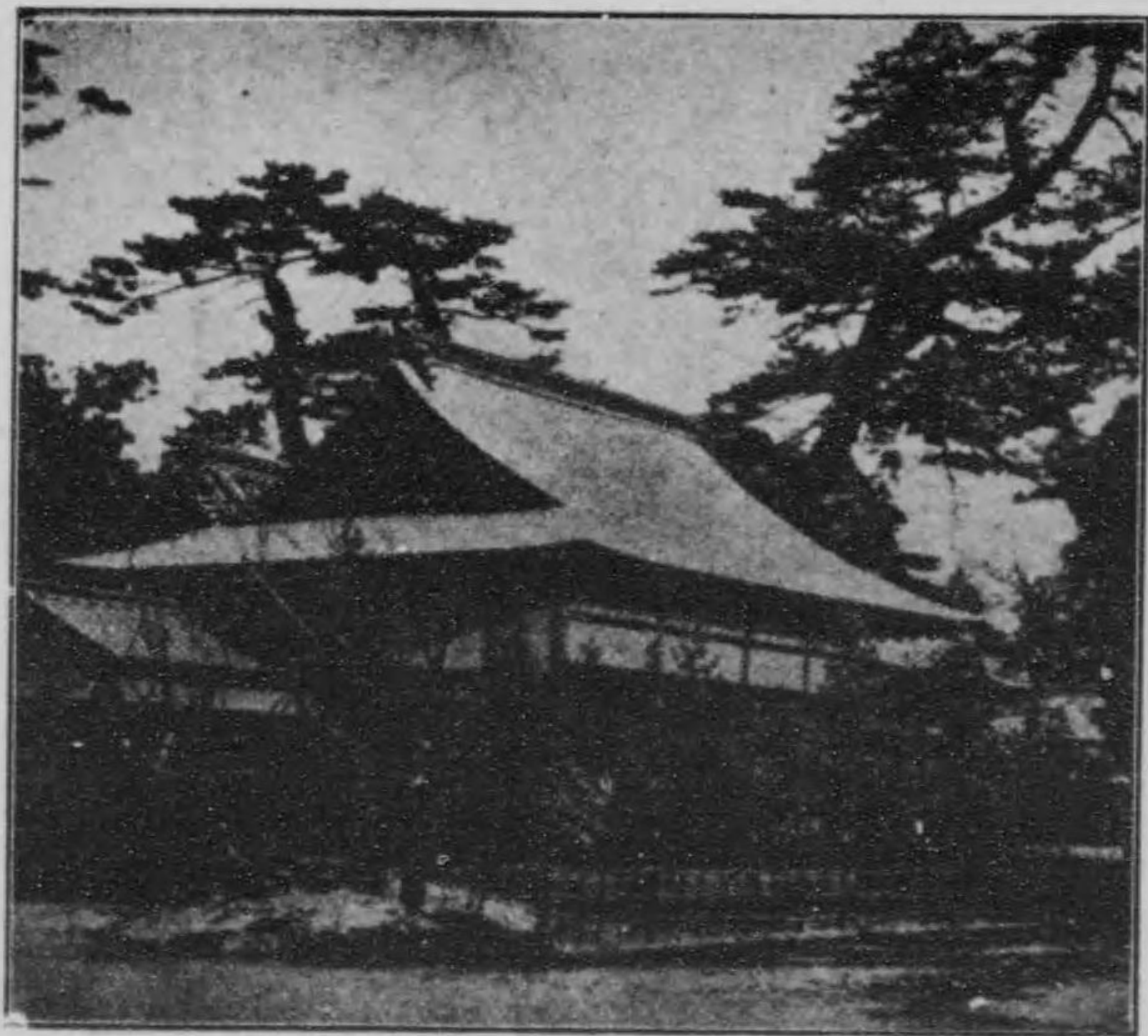
## 四日市市

桑名の南方四里の所にありて津市に五里の中間にあり、四日市港は伊勢海の西岸に位し東海道参宮街道の衝に當り、市街は三岳川に沿ひ東西に長く商店旅舎を列ね商業尤繁盛なり、港灣は伊勢海の主港にして横濱港へは日本郵船會社の定期航海ありて關西鐵道と連絡し、熱田、津島、鳥羽及紀伊、大阪へは大船商船會社の定期往復し交通甚だ便なり。市の取引商品の重要なものは、米穀油肥料とす市役所、稅務署、區裁判所、大阪稅關出張所、商業會議所、商業學校、高等女學校等設備間然するところなし。

### 市況

海運の甚だ便なるを以て諸荷の集散繁盛を極む、米穀肥料菜種商の問屋多く製油所漁網海陸運送業繁榮なり重なる商事會社銀行業商工業者を掲ぐ

- 資本金七十萬圓 株式會社四日市銀行  
四日市藏町 電話長二八、二三〇
- 資本金十萬圓 四日市倉庫株式會社  
四日市市北納屋町 電話長一五、二一七
- 資本金百萬圓 四日市電燈株式會社  
四日市市北條町 電話長五〇、五〇九
- 資本金二十五萬圓 四日市米穀株式會社取引所  
新町
- 資本金二十萬圓 四日市鐵道株式會社  
袋町
- 資本金百五十萬圓 四日市製紙株式會社  
濱町
- 三重紡績株式會社  
濱町
- 資本金五十萬圓 三重人造肥料株式會社  
藏町



諏訪神社 (四日市)

井口延次郎君

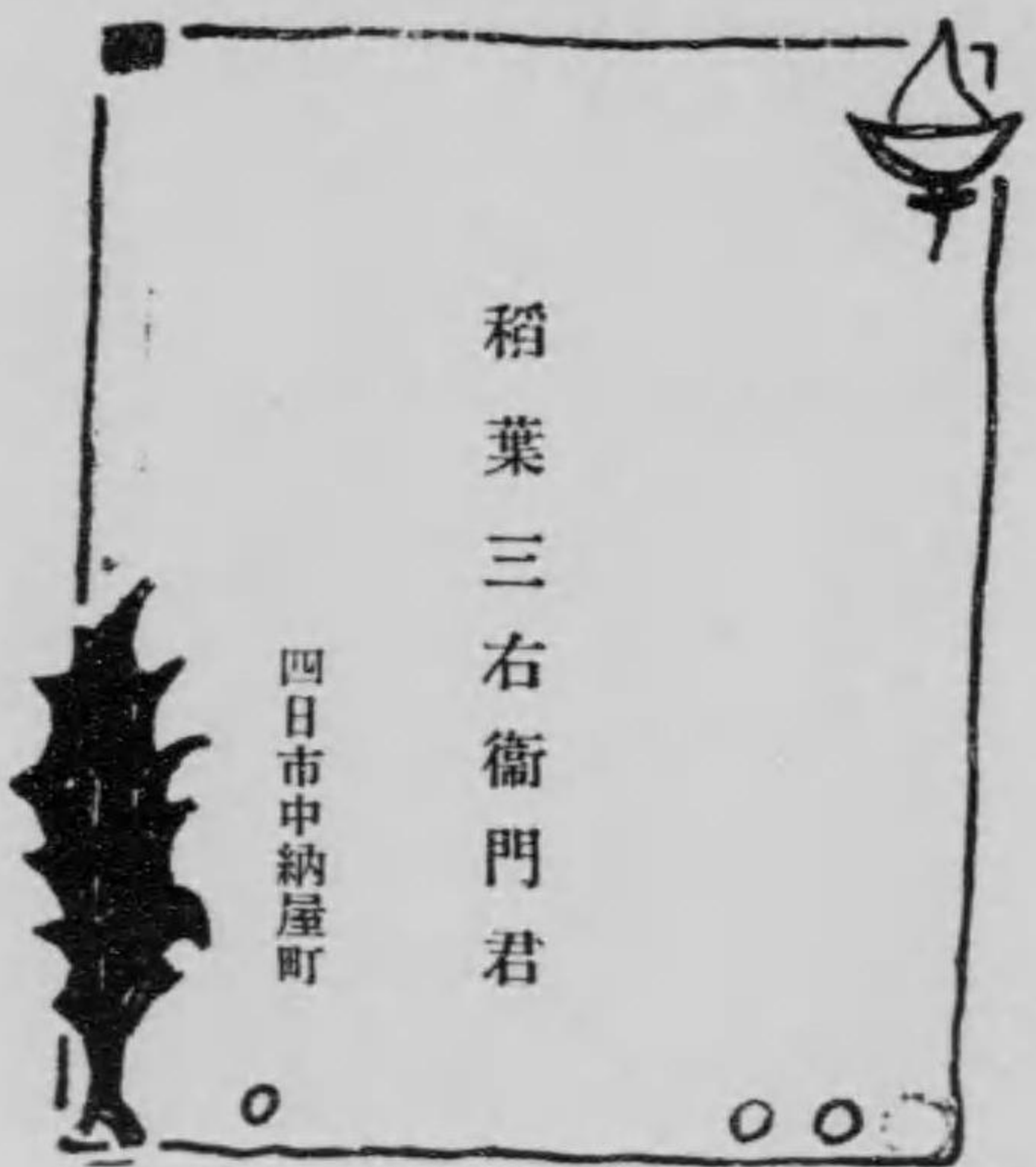


東京市下谷區上根岸町三一  
船泊業(四日市出身)



代議士 九鬼紋七君

四日市



稲葉三右衛門君

四日市中納屋町

■津測候所位置

東經 一三六、三一  
北緯 三四、四三  
海拔 五、五

■海底電線

尾張國野間村  
伊勢國建部村  
間  
心線延長 九九哩八一

■四日市輸出高は横濱を第一とし八位を占む。

輸 出 四、〇〇〇〇  
輸 入 三八二、〇〇〇〇  
合計 三八六、〇〇〇〇

■内國航路

横濱を起點とし四日市迄  
二〇二哩

■温 度

最高 三四、六  
最低 三、五  
平均 一四、六

■四日市官衙所在地

四日市々役所 四日市大字上新町  
四日市稅務署 四日市字八町  
四日市區裁判所 四日市西町  
四日市郵便局 四日市納屋町  
四日市警察署 四日市濱町



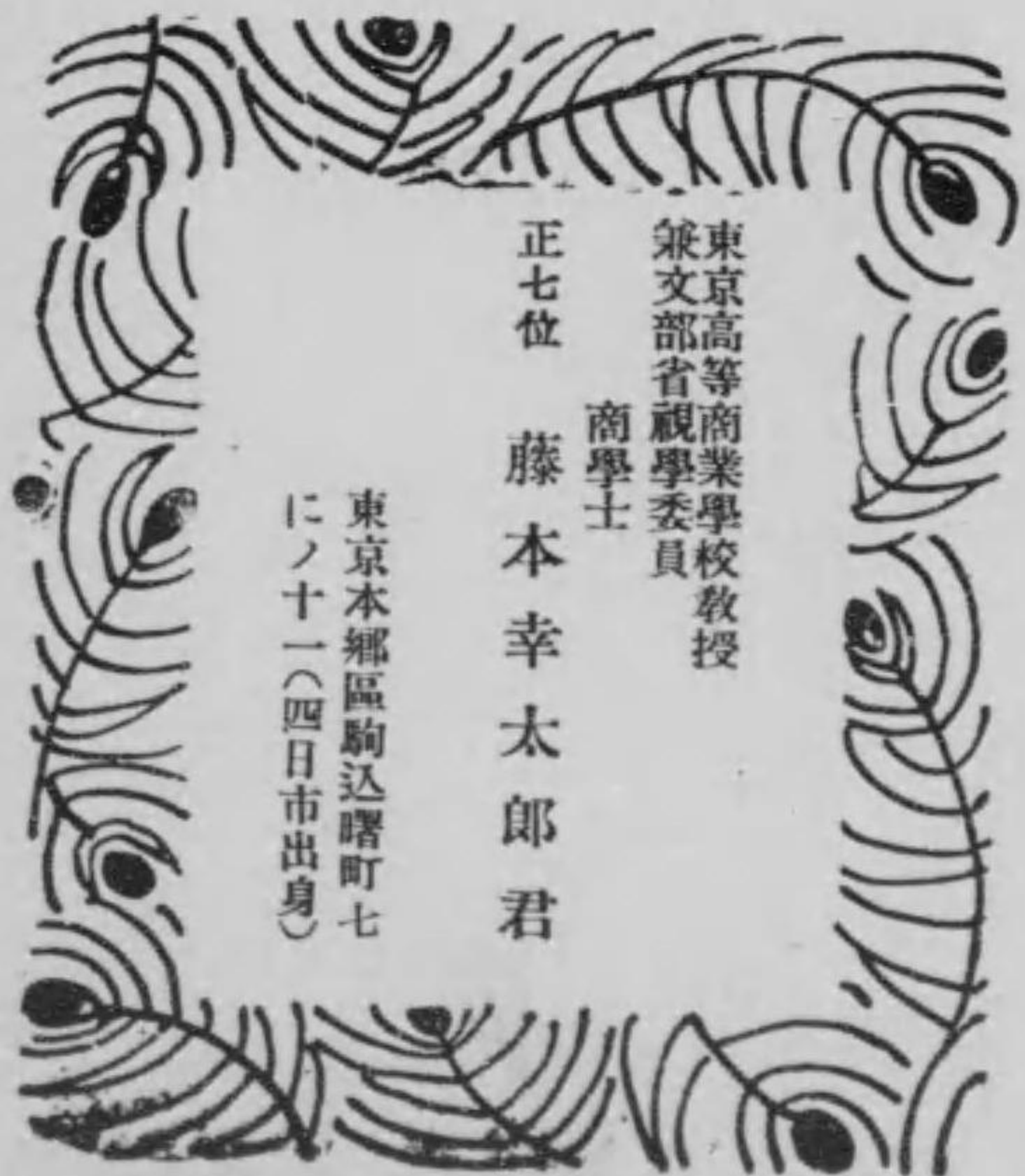
豊田虎之助君

東京市麻布飯倉町六ノ  
十一 (四日市出身)

東京高等商業學校教授  
兼文部省視學委員

正七位 藤本幸太郎君

東京本郷區駒込曙町七  
にノ十一 (四日市出身)



四日市西町須原病院長  
從七位勳六等醫學得業士  
須原廣君



四日市濱町  
森川醫院長  
森川恭太郎君



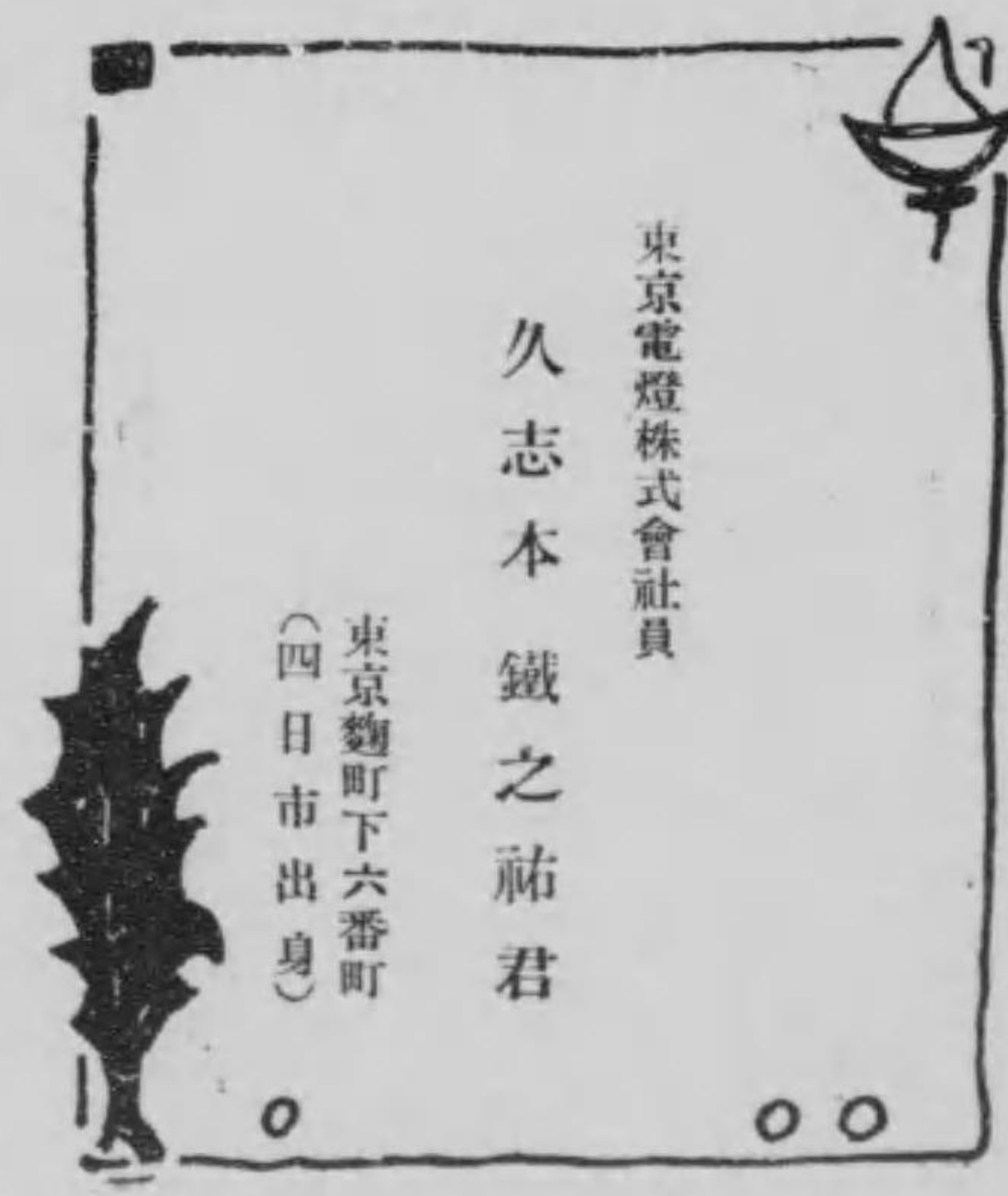
■四日市市町名

濱	西	北	中	四	南	藏	桶	稻	濱
町	町	町	町	ッ	町	之	之	葉	一
中	久	川	下	境	新	北	袋	高	堅
町	六	原	新	町	町	納	納	砂	比
上	末	南	八	北	二	南	濱	赤	丘
新	新	新	幡	條	中	納	田	堀	尼
町	永	町	町	町	納	屋			町

東京電燈株式會社員

久志本鐵之祐君

東京麴町下六番町  
(四日市出身)



東京電燈株式會社員

鈴木一良君

東京府下鴨巢宮仲  
二、一六一(四日市出身)



■四日市資産家調べ

中納屋 九鬼 紋七	藏	吉田千九郎	新田 高田 隆平	濱	川澄寅次郎
下新 森寺嘉兵衛	四ッ谷 村山 一平	堅	南川原 森 欣太郎	上新	山本與三郎
川原 山中傳四郎	中納屋 今谷常三郎	高砂	松本仙太郎	南川原 山中萬兵衛	
東中 村田七右衛門	八幡 井上 敏夫	同	松島 寅吉	南	山口 喜七
藏 吉田 信吉	高砂 小菅劍之助	川原	伊藤 清八	水車	武藤 辰三
中納屋 九鬼 德三	新田 吉田茂太郎	西	稻垣太兵衛	濱	中上庄次郎
江田 三輪 猶作	藏 田中 武	南	水谷五郎九	西	廣田六郎兵衛
藏 吉田 經造	中新田 田中 治助	江田	三輪達之助	下新	辻 寛
新田 大平庄九郎	西中 熊澤九右衛門	西	毛利 周助	四ッ谷 岸山 憲二	
比彦 三原與三郎	橋南 丹羽 傳作	北	黒川 新作		
中納屋 九鬼總太郎	北 岡田惣右衛門				
西中 伊達貫一郎	東中 辻 權兵衛				
堅 佐伯又太郎	新 片岡 常治	四日市 立	幼 稚 園	四日市 大字 南新町	
藏 名坂 彌作	桶 久志本久七郎	市 立	幼 稚 園	宇治山田市 大字 中島町	
沖島 津田 久三	中川原 山本 源助	津 測 候 所		津市 大字 津興	
濱 中村 藤助	中組 山路 伊八				
南 永田 金七	高砂 辻 豊三郎				
川原 山中 修一	北納屋 市橋 仁吉				
中組 山路伊三郎	南 中島 俊丸	農 事 試 驗 場		津市 大字 西阿漕町	
北 大原松次郎	新田 小倉梅之進				
西 廣瀬 勘平	西 伊藤 儀助	水 産 試 驗 場		志摩郡 濱島村	
新田 大平 喜定	橋南 大久保太三郎				
南 黒川 てい	橋南 大久保宗三郎	工 業 試 驗 場		津市 大字 下部田	
南 平松藤五郎	四ッ谷 山森徳三郎				
南 黒川彦左衛門	北條 平野 太七	農 事 講 習 所		度會郡 小俣村	

四日市中納屋町  
大豆、米穀 三 七 商 會  
豆粕、肥料 大 久 保 伊 三 郎  
電話長五二 電略三七

同 市 濱 田  
三重肥料 三 重 肥 料 合 名 會 社  
種 電話長一三五 電略三ヒ(又)三

同 市 濱 田  
四日市停車場前  
内外米穀 水 谷 源 四 郎  
委託問屋 電話長二一四 電略ミス(又)ミ

同 袋 町  
井筒商店  
米穀肥料 日 比 義 太 郎  
電話長一〇五 電略キ

同 袋 町  
諸 岡 彦 太 郎  
内外米穀 肥料貿易 電話長三二五 電話モロラカ

同 伊 倉 屋 商 店  
肥料專業 森 寺 喜 兵 衛  
電話一五七 電略イ(又)イクラヤ

同 市 川 原 町  
清酒 日 本 心 鈴 木 廉 平  
電話 二二三二

同 市 濱 田 町  
味噌醬油 釀造販賣 四日市醬油釀造合資會社  
電話一四七 電略四

同 桶ノ町  
醬油製造業 九 鬼 文 助

同 中 新 町  
和洋酒 食料品販賣 山 本 清 兵 衛  
電話長二電略ヤマ(又)ヤ

同 北 町  
青物果物 委託販賣 會社 青 物 問 屋  
乾鹽魚 電話長三七 四電略〇ナカ

同 西 町  
砂糖、紙 米利堅粉 稻 垣 太 兵 衛  
電話長二三八 電略(イナタ)

同 濱 田 町  
種油棉花 丹 羽 傳 作  
電話二六〇 電略ニハ

同 濱 田 町  
内外肥料 石油製油 鷺 野 吉 助  
電話本店支店長七六、七七電略ワ

同 濱 田 町  
菜種油、洋式 會社 四日市製油場  
製油ノ嚙矢 電話長四三 電略セニ(又)セ

同 稻 葉 町  
菜種油、高 等 熊 澤 製 油 場  
香油いち川油 熊 澤 久 右 衛 門  
電話本宅(長)一四八 工業營業所(長)一四八

同 中 町  
萬古陶磁器 製造販賣 合資會社 川 村 組  
振替東京七〇〇五

同 四日市停車場前  
繭糸問屋 森 清 太 郎  
電話〇二(又)〇

同 新 道  
繭糸問屋 藤 澤 常 吉  
電話長三三三、五五 電略ケンシ(又)ケ

同 濱 田 町  
綿糸、漁網、綿燃糸、編網機械製造 三 重 製 網 合 資 會 社  
電話長二四五 電略セモ(又)セ



四日市中納屋町  
今谷商店

米雜穀肥料  
委託問屋 今谷 常三郎  
電話長六一 電路イマ(ヌ)イ

同 中納屋町

直輸入肥料  
米穀ブローカー 長谷川 伊太郎  
電話長 三六五

同 中納屋町

内外米雜穀  
肥料委託賣買 東海 商店  
主任 小木曾六兵衛  
電話一四一 電路トカ(ヌ)ト

同 桶ノ町

米穀肥料商 大川 孫次郎  
電話長九 電路オ

同 中納屋町  
大久保清助支店

内外米穀  
肥料貿易商 大久保 松次郎  
電話長三四 電路ヲ

同 西町

肥料、米穀  
問屋 若林 谷吉  
電話長一一 電路ワカ

同 西町

米穀商 若林 喜兵衛  
電話一七三 電路コソキ

同 西町

米雜穀商 若林 七三郎  
電話長 三三八

同 稻葉町

米穀商 河合 善藏  
電話二三三 電路カツイ

同 同新町取引所前

菜種委託問屋 加藤 忠次郎  
電話特四一六 電路カト

同 豐野屋町

米穀料商 吉田 常吉  
電話長一三〇 電路ツ

同 藏前

米穀料商 吉田 伊三郎  
電話長五九 電路ヨシイ

同 中町

肥料商 伊達 貫一郎  
電話長一五二 電路タヲ

同 袋町

米穀貿易委託 伊達 商店  
電話長二六四 電路ヤ(ヌ)ヤ

同 中納屋町

肥料雜穀委託賣買 中村 幹太  
電話 五〇三

同 藏町

内外米穀肥料商 武藤 茂七  
電話特二一九 電路(ムト)ヌム

同 桶ノ町

肥料商 合資 九鬼肥料店  
電話長四一 電路クキ(ヌ)ク

同 桶ノ町

肥料商 久志本 久七郎  
電路クシモト(ヌ)クシ

同 停車場前

内外米穀肥料商 藤井 國松  
電話長四三三 電路カク三(ヌ)三

同 中納屋町

内外米穀肥料商 福島 浪造  
電話長三二九 電路フク(ヌ)フ

四日市下新町  
紙外類商 合資 清水紙店  
電話長五四 電略(シ)

花菱卸商 同 諏訪新道  
佐藤 佐吉

石炭丸商 同 中納屋町  
合資 伊藤店  
電話長二一〇 三五二

石炭類、三重セメント販賣 同 高砂町  
松島石炭商 松島寅吉  
電話長二一一 電略(マツ)

各種石炭 同 高砂町  
岩崎炭礦代理店 九鬼石炭部  
電話長四五四 電略クキ

回漕業 四日市停車場東堀川  
服部源兵衛  
電話長五三一 電略(〇八)

運送業 四日市停車場前  
四日市運輸合資會社  
金森俊二  
電話一二七

解請負通關手數一式及倉庫業 同 稻葉町  
四日市回漕合資會社  
電話長五八三二七 電略(カイン)

回漕業 同 中納屋町海岸  
辻良作  
寒水石粉販賣米穀委託賣買 電略ツレ

運送部、繭糸部、石灰部 同 濱田  
村上平  
電話一〇二、三三三

四日市高砂町、港海岸  
回漕及陸送業 黑川彦左衛門  
運送部電話長四 回漕部長二五

貨物運送 同 市川原町  
山中傳四郎  
電話長一一四 停車場前電長一〇六

兼料理旅館 同 濱田  
松茂樓 吉田茂太郎  
支店高砂町 電話長五一、四五一  
電話三〇八

兼料理旅館 同 高砂町  
山田屋本店 山田作平  
電話長二三七

料理業 同 高砂町  
岡本寅吉

料理業 同 藏町  
加藤千松

料理業 同 北町  
鬼頭元吉

旅館 同 北町  
橋本與八

旅館 同 濱町  
平野皆太郎

旅館 同 濱田町  
森新吉

## 員 辨 郡

伊勢の北部にあり、町屋川の流域を占め西北は山岳高く聳ゆるも其の他丘陵平野相連り、村落を望み伊勢北部養老山脈の西部を経て、美濃關が原に出づる街道と三國が嶽の南を掠めて近江に出づる街道とは共に本郡を通ず、山間の巷種々の礦物を出す、治田の銅山は古へは熾に採掘したるものなり。石榑地方は黄寶石、螢石、石炭を産す。西南北の三面は入道岳、鎌嶽、御在所嶽、水昌嶽、釋ヶ嶽等の高峯に圍まれ東方遠く開け遙かに伊勢灣を隔てて尾張三河の丘陵を望むべし。篠立風穴は立田村大字篠立の三國山中に在り。三朝塚は東藤原村大字西野尻に在り、文祿中北畠具成其祖親房等の南朝三帝より恩賜品を埋めし所、聖寶寺西藤原村に、照光寺は石榑村いしむねにあり、友切石は、山郷村大字南中津原なる判官坂の傍に、笠田老松は笠田村大字下笠田、丸市八幡社内に在り金井城址は大泉原村大字北金井に梅戸城址は梅戸井村大字門前に存す。

## 官衙所在地

員辨郡役所

大泉原村

大泉原警察署

大泉原村

## 名 勝

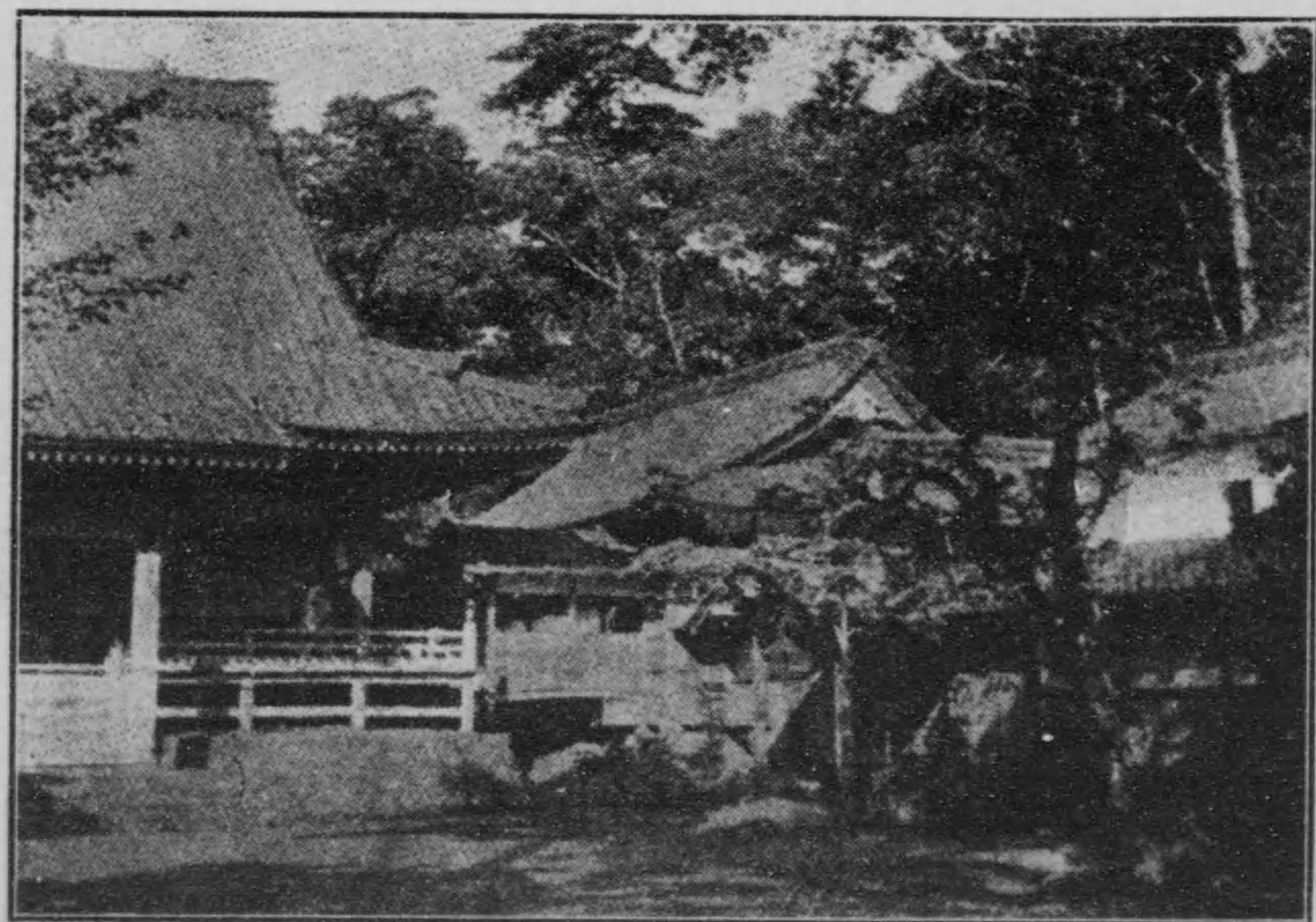
篠立風穴

友切石

三朝塚

金井城址

梅戸城址



通念寺 (員辨郡笠田村)



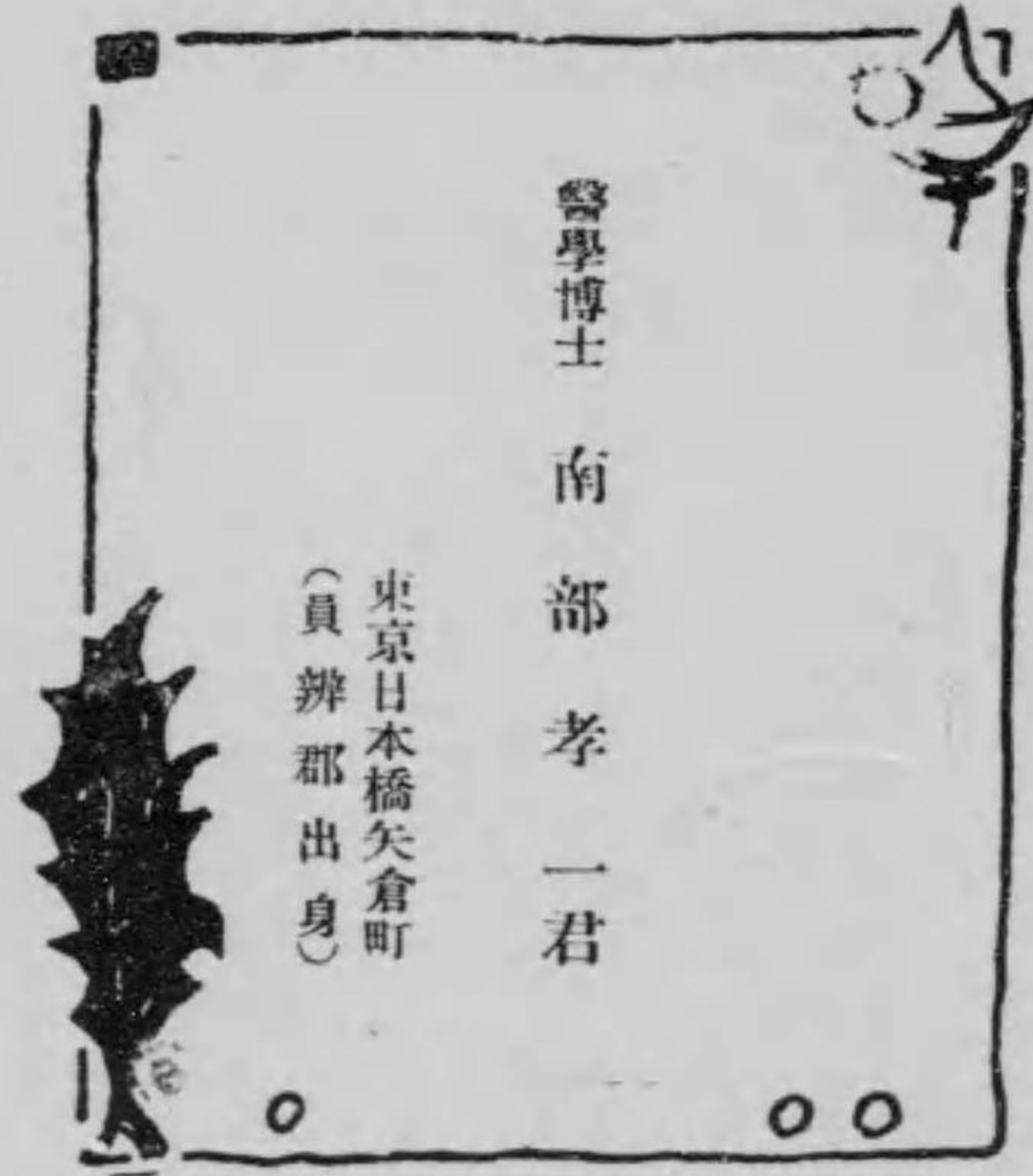
裁判所書記 瀬木盛之君

(身出塚平字大村里三郡辨員)裏西世塔市津住現



爲替貯金局事務官補 正七位 三輪重太郎君

(身出村原泉大)七十町霞布麻京東



醫學博士 南部孝一君

東京日本橋矢倉町  
(員辨郡出身)



和波久右衛門君

員辨郡笠田村



工學士 玉水弘君



法學士 江草重忠君

東京神田南神保町十三  
(員辨郡出身)

蓮成寺 (員辨郡梅戸井村)



町村長名

久米村長	勳七	藤谷	大長村長	勳七	伊藤
梅戸井村長	勳八	日沖	三里村長	勳七	樋口
石樽村長		飯田	丹生川村長		保太郎
治田村長		美濃	東藤原村長	勳七	岡本
西藤原村長		野澤	百瀬村長	勳七	瀬古
立田村長		近藤	中里村長	勳七	伊藤
十社村長	勳八	川瀬	阿下喜村長		林藤
山郷村長		江上	笠田村長		島田
大泉原村長		市川	大泉村長	勳八	水田
稻部村長		富永	神田村長		出谷
七和村長		幸次郎			種村
					重次郎
					明博



陸軍騎兵中尉 正七位勳五等 立花政之助君



陸軍歩兵中尉 正七位 郡作三郎君

(身出村米久郡辨員)

(身出村樽石郡辨員)

所在地	所在地
津市丸ノ内	南牟婁 郡立 技藝女學校
津市丸ノ内	南牟婁郡木本町
鈴鹿郡龜山町	津市立技藝女學校
鈴鹿郡龜山町	津市丸ノ内
安濃郡新町	四日市 市立 高等女學校
安濃郡新町	四日市大字南新町
三重郡富田町	宇治山田 市立 商業學校
三重郡富田町	宇治山田市大字豊川町
阿山郡上野町	宇治山田 市立 實科高等女學校
阿山郡上野町	宇治山田市大字八日市場町
宇治山田市船江町	大港 町立 造船徒弟學校
宇治山田市船江町	度會郡大湊町
津市大字津興	白子 町立 工業徒弟學校
津市大字津興	河藝郡白子町
飯南郡松坂町	田丸町外三 ヶ村組合立 田丸農蠶學校
飯南郡松坂町	度會郡田丸町
一志郡久居町	田丸町外三 ヶ村組合立 田丸實業女學校
一志郡久居町	度會郡田丸町
四日市商業學校	四日市大字濱一色
四日市商業學校	四日市大字濱一色
志摩郡鳥羽町	相可村外三 ヶ村組合立 農業學校
志摩郡鳥羽町	多氣郡相可村
桑名郡桑名町	相可村外三ヶ村組合立農業學校 附設相可村外三ヶ村組合立實業女學校
桑名郡桑名町	多氣郡相可村
鈴鹿郡農學校	鈴鹿郡龜山町
鈴鹿郡農學校	鈴鹿郡龜山町
飯南郡松坂町	飯南郡松坂町
飯南郡松坂町	飯南郡松坂町
阿山郡上野町	和具村外三ヶ 村學校組合立 崎島水產學校
阿山郡上野町	志摩郡和具村

鈴鹿郡

龜山町は東海道五十三驛の一にして商業盛なり石川氏の舊領地城址は公園となる、園内には眞微神社あり又大字西町には皇大神社あり龜山町に次ぎ關町は東海道及大和街道の要衝にして、鈴鹿關趾は字關臺と云ふ所名高き地藏院は字新所に在り又西北三十町餘に奇岩に名を得し筆捨山あり、阪下村字古町に、鏡石は字峠の山中に不斷櫻は字下中町高家氏の庭中にあり、石藥師寺眞言宗にして石藥師村に、野登寺は野登村の野登山に在りて何れも有名なり。能褒野神社川崎村大字田村女が坂にありて日本武尊の御陵なり。明治十二年に社殿を造營す又椿村に椿大神宮何れも由緒ある社とす社號は故久邇宮朝彥親王殿下の御選定御弊川の流域は山水の勝地なるも只僻地なるを惜む。商況の米穀酒造醬油醸造業盛なり又繭絲盛況なり著名なる商工業は別掲の如し。

名勝古蹟

御幣	野登寺	石藥師	不藥斷	鏡	筆捨	鈴微關	眞微社	皇太神宮	椿太神宮	能褒野神社
----	-----	-----	-----	---	----	-----	-----	------	------	-------

官衙所在地

鈴鹿郡役所	龜山町
龜山區裁判所	龜山町
龜山小林区署	龜山町
龜山警察署	龜山町
龜山郵便局	龜山町
龜山町役場	同東町



東京市下谷區中根岸町 (舊 龜山藩主)



東京府下代々木山谷 (龜山出身)

河藝郡白子町資産家

長谷川七左衛門  
伊達忠兵衛  
長谷川正榮  
境松次郎  
片山清次郎  
長谷川六右衛門  
寺尾齋兵衛

長谷川七郎右衛門  
梶口徳次郎  
横田淳兵衛  
長谷川庄兵衛  
坂倉廣兵衛  
北村治兵衛  
片岡宇太郎  
岡八郎



(身出山龜)

陸軍歩兵大尉正七位  
勳五等功五級

八木未郎君



(身出町山龜)七三町天辨込牛京東

京橋區役所  
庶務課係長

吉川等君

龜山町資産家

安藤良藏  
森庄太郎  
田中音吉  
館虎推  
下村市太郎  
吉田卯平  
櫻井橋太  
岩間與市

伊辻藤與  
辻藤五  
館喜右衛門  
伊藤八衛門  
橋本太  
堀本貞次  
後藤岩吉

河藝郡神戶町資産家

杉本清吉  
石岡庄之助  
坂倉平兵衛  
山中清七郎  
今井中四郎  
佐藤庄次郎  
須藤清五郎  
黒田甚右衛門

長谷川九郎八  
佐野又兵衛  
山野利兵衛  
市川彌三郎  
坂生兵衛  
辻文三郎  
石岡重造  
兼行重造



文部視學官

川上瀧男君

東京牛込北町  
(龜山出身)



陸軍歩兵特務曹長  
勳七等

小林藤左衛門君

歩兵三十三聯隊  
(鈴鹿郡出身)

關町資産家

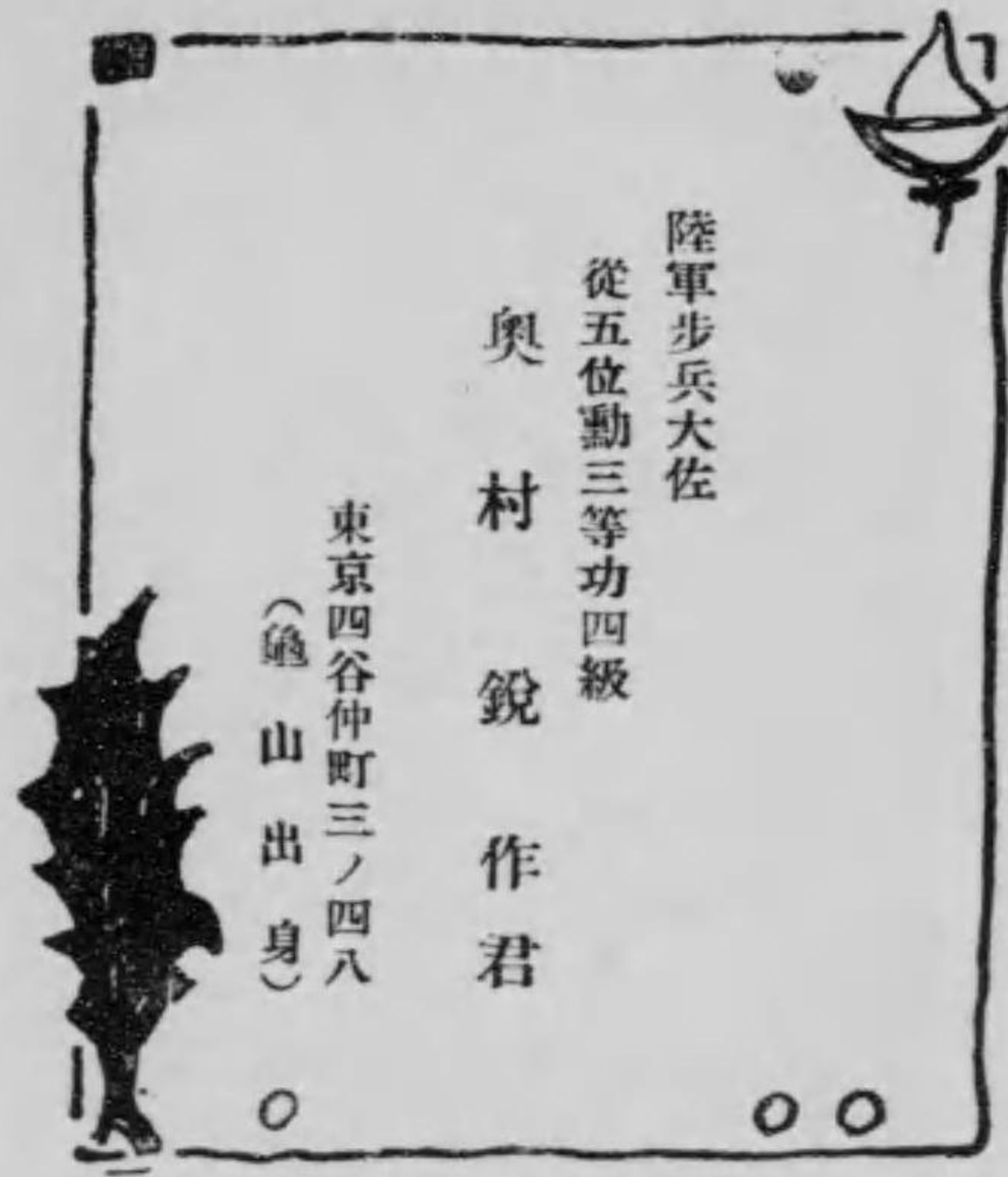
倉田五右衛門  
今井直三郎  
吉澤信輔  
田中澤太夫  
坂中俊次  
中林市平  
若林文七郎  
中村安五郎

田中庄次  
中島乙左衛門  
伊藤義利  
細川右衛門  
田中善次郎  
小石耕一郎  
三石善次郎  
伊藤藤彦市





陸軍歩兵中尉  
佐野 秀一君  
步兵三十三聯隊  
(鈴鹿郡白川村出身)



陸軍歩兵大佐  
從五位勳三等功四級  
奥村 銳作君  
東京四谷仲町三ノ四八  
(龜山出身)



陸軍砲兵大尉  
正七位勳五等功五級  
田中 謙次郎君  
千葉縣市川町  
(龜山出身)

一身田町資産家

森川市兵衛  
今井源之進  
小林藤吉郎  
辻孫一郎  
下津利兵衛  
川端馬次郎  
常盤井堯熙  
齋藤小右衛門  
岡崎和吉  
今井俊一  
稻葉周太郎  
小田常吉  
原繁次郎

稻生 渥美哲之助  
天名 馬瀬幸太郎  
合川 金丸九三郎  
榮 岩崎六兵衛  
上野 青木徳藏  
豊津 伊藤勘兵衛  
黒田 樋廻藤左衛門  
白塚 山崎喜兵衛  
栗真 増田五兵衛  
大里 菱川五一郎  
高野尾 赤塚善助  
椋本 小林貞之進  
明村 林宗右衛門  
飯野 佐野豊藏  
河曲 松岡幹郎  
一ノ宮 北川萬右衛門  
箕田 柿本仁三郎  
玉置 服部庄右衛門  
若松 伊坂又右衛門  
一村二名ヅ、掲グ  
大井良三郎  
田端和助  
鈴木保太郎  
後藤新次郎  
内山九左衛門  
坂常次郎  
岡半兵衛  
新堂源二郎  
伊藤嘉七  
植田重吉  
青木松之助  
駒田作五郎  
藤谷信次郎  
澤田鶴橋  
松林藤右衛門  
橋本末松  
杉岡光次郎  
西尾重  
濱中彌兵衛



龜山慶町  
海產青物 葛山新太郎  
乾物商 電話三九 電略ウヲケ

魚友  
海產青物 江藤友吉  
乾物商 電話一〇二

同 桃屋町  
太吳 岩間與市  
物服商 電話三五 電略イソマ

同 伊勢屋町  
太吳 岩間重五郎  
物服商 電話五八 電略イソナ

同 安井東町  
太吳 西田守  
物服商

同 阿野田屋町  
太吳 豊田重吉  
物服商 電話五九

同 榊喜屋町  
太吳 館齋  
物服商 電話四一 電略マスキ

龜山榊屋町  
太吳 館推  
物服商 電話二四 電略タチ

同 町東町  
太吳 山口鐵次郎  
物服商 電略六一

同 町東町  
太吳 山音吉  
物服商 電話一七 振替大阪一四九四

龜山停車場前  
龜山物産商會  
繭絲 市川駒次郎  
問屋業 電話長一 電略〇一

龜山町驛前  
繭絲 井野繭絲部  
屑物問屋 電話長三八 電略キノ(又)キ

同 瑞寶軒町  
名菓の尾 伊藤留吉

同 瓢軒町  
名産 川比多利餅 服部忠吉  
電話七四

關 深川屋町  
伊勢名菓 服部吉右衛門  
關の戸本舗 電話八 電略ハ

關 龜屋壽富町  
名菓 花廼友 太田新藏  
無花果餅 電話八 電略ハ

龜山町  
株式會社 龜山魚乾物市場  
電話長三九、二八

同 町東町  
龜山製絲株式會社  
電話五六

同 町東町  
旅館 中野嘉一  
電話長四四

關 町  
旅館 中村安五郎  
電話一二

内外米穀 關 伊藤利市

清酒醸造元 龜山町 岡本半造  
電話略ヲカ

内外米肥料 龜山町 大黒屋 伊藤喜作  
電話長九 電略イ(ヌ)イト

清酒醸造元 關町 中村市平  
電話一〇 電略ナカ一

米穀、石油 關町 岩田兼次郎  
種油製造業

銘酒醸造元 龜山町 鹽屋 草川善太郎  
鶴の友醸造元 電話三四

内外米穀料 龜山町 魚利喜 服部徳三郎  
電話四三 電略ハト(ヌ)ハ

醬油業 同町關町 岩本屋 吉澤信輔  
電話六 電略ヨシ

肥料商 同町東町 尾崎實吉

龜印醬油 同町東町 田中醬油店  
電話三二

米穀料 一身田町 辻祿藏商店

醬油業 關町 田中庄太夫

米穀油商 龜山停車場前 小林榮助支店  
電話二三 電略コシ

醬油業 龜山町東町 近江屋 藤川為吉

内外米雜穀 同町東町 和泉屋 三宅文治郎  
電話一〇三 電略ミヤケ

醬油味噌 龍山町 鈴木重平  
溜製造業 電話四六

銘酒醸造元 龜山町 近江屋 西谷與一  
文武醸造元 電話二〇 電略カク一

清酒薄綠 同町東町 岡村光三  
桃製造

銘酒醸造元 龜山町 鹽井屋 堀喜三郎  
室櫻醸造元 電話略ホリ

魚物乾物類商 龜山町 伊賀傳 生梅吉  
電話二八





陸軍工兵大尉滿洲遼陽  
工兵第十七大隊附

米倉嘉弼君

(身出行三村田黑郡藝河)



陸軍歩兵大尉正六位  
勳四等功五級

野原清次君

(河藝郡箕田村出身)

九九三村杉郡井日春西縣知愛時當



岐阜區裁判所監督判事  
從六位勳六等

藤井義成君

(身出田身一郡藝河)



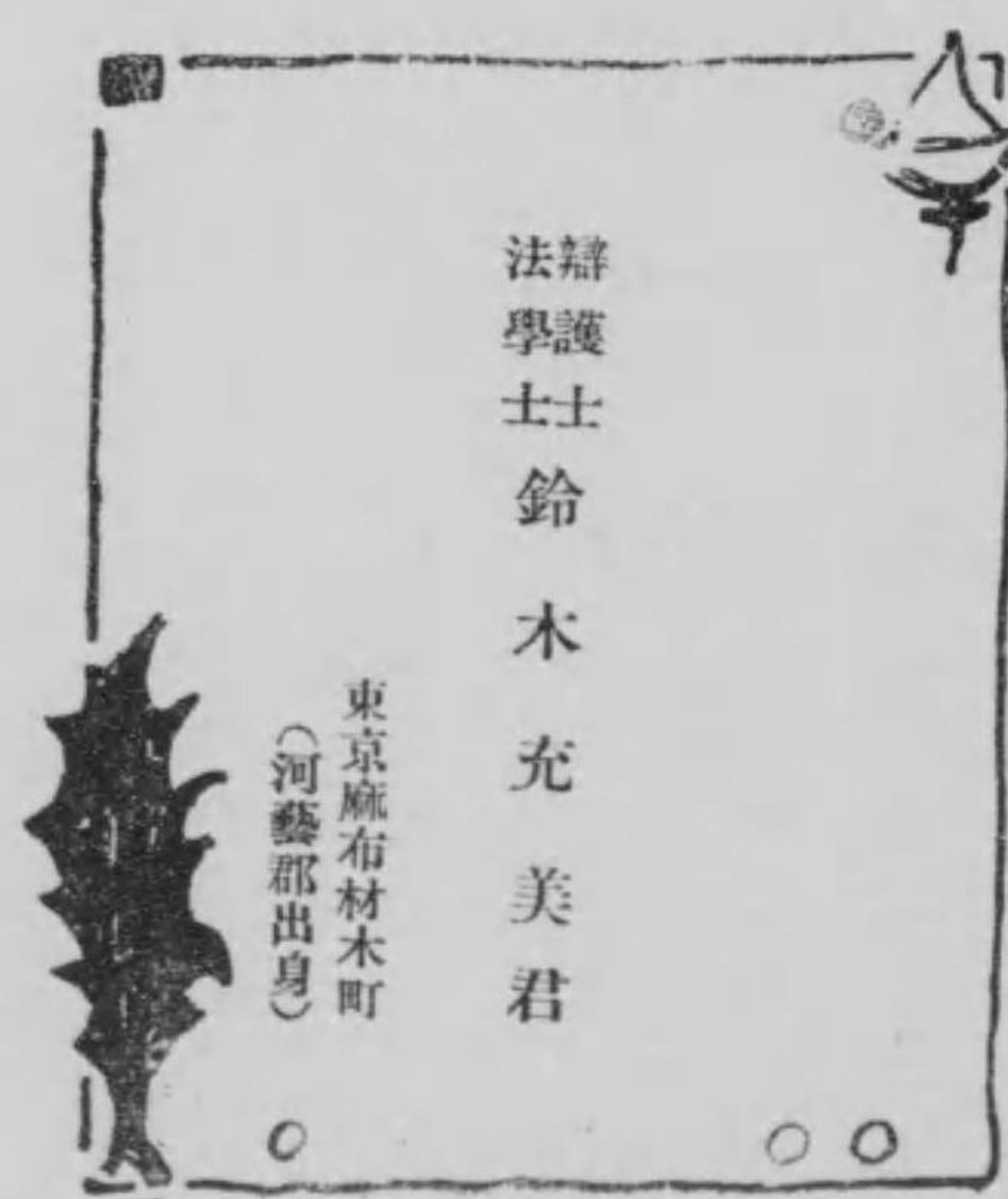
森田橋造君

河藝郡生垣村



辯護士岡崎正也君

東京市麻布區本村町  
(河藝郡出身)

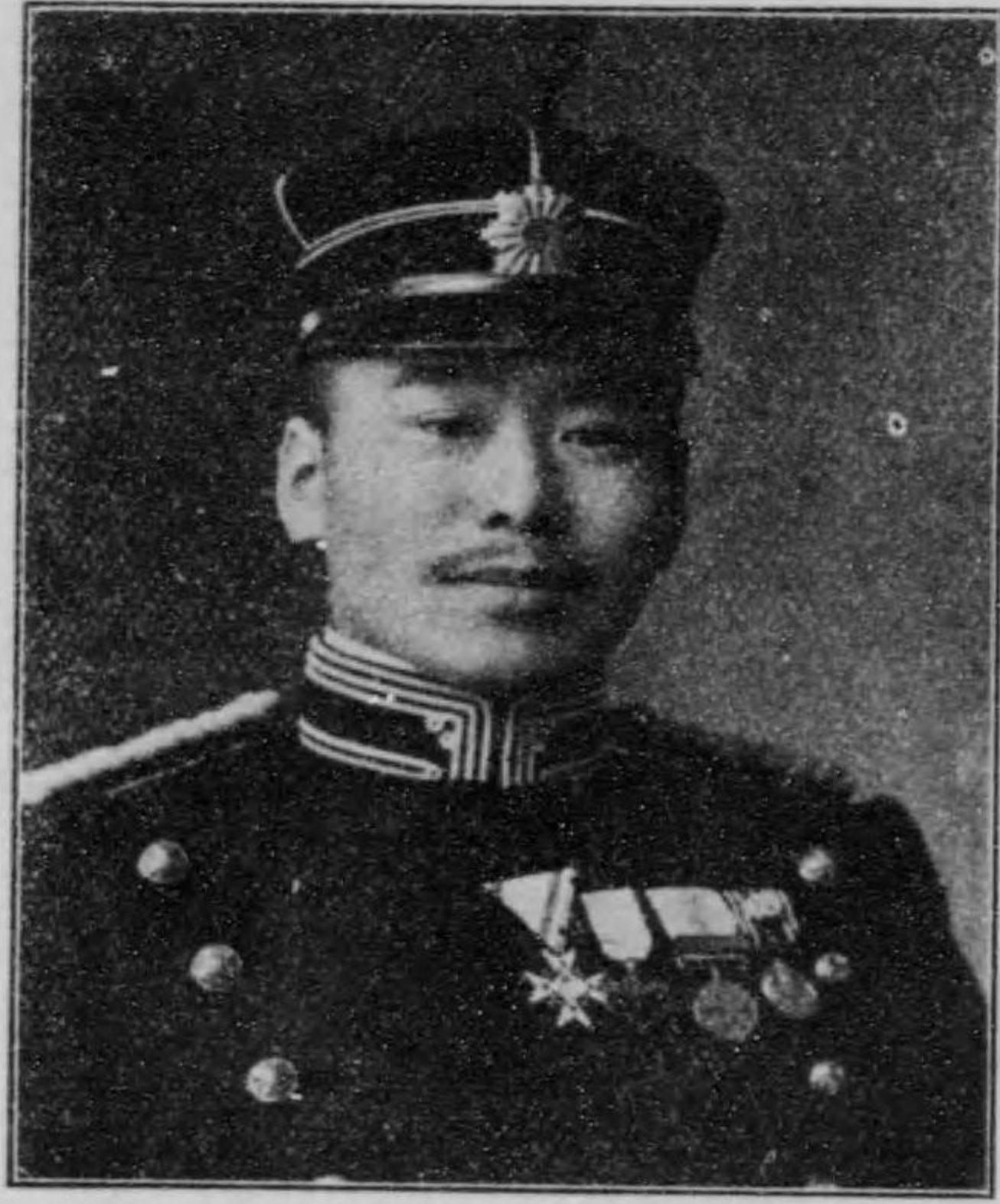


法辯護士鈴木充美君

東京麻布材木町  
(河藝郡出身)

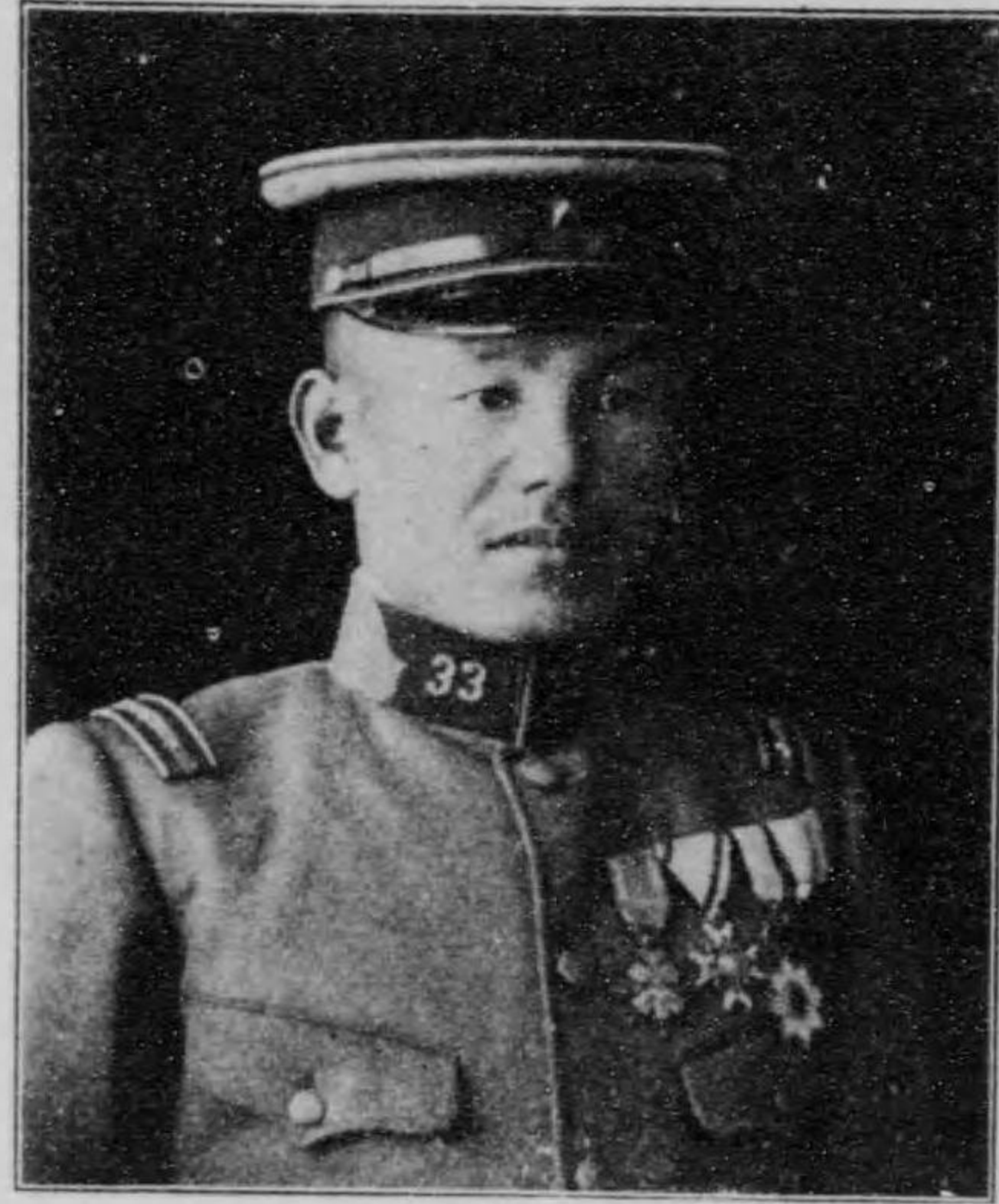


河藝郡明村 林 宗右衛門君



陸軍上等計手  
從七位勳六等  
米 川 巖君

(身出五二田德字村名天)附院病成衛岡靜現



陸軍歩兵大尉  
從六位勳五等功五級  
堀 保 次 郎君

(身出村田黑)



陸軍歩兵特務曹長  
勳七等功七級  
太 田 勘 藏君  
步兵第三十三聯隊  
(河藝郡飯野村出身)



陸軍歩兵特務曹長  
勳七等功七級  
石 川 常 七君  
步兵第三十三聯隊  
(河藝郡大黒村出身)



濱 中 彌 兵 衛君  
河藝郡若松村



(身出村宮ノ一郡藝河)

陸軍歩兵特務曹長勳七等  
功六級歩兵三十三聯隊附  
植村善六君



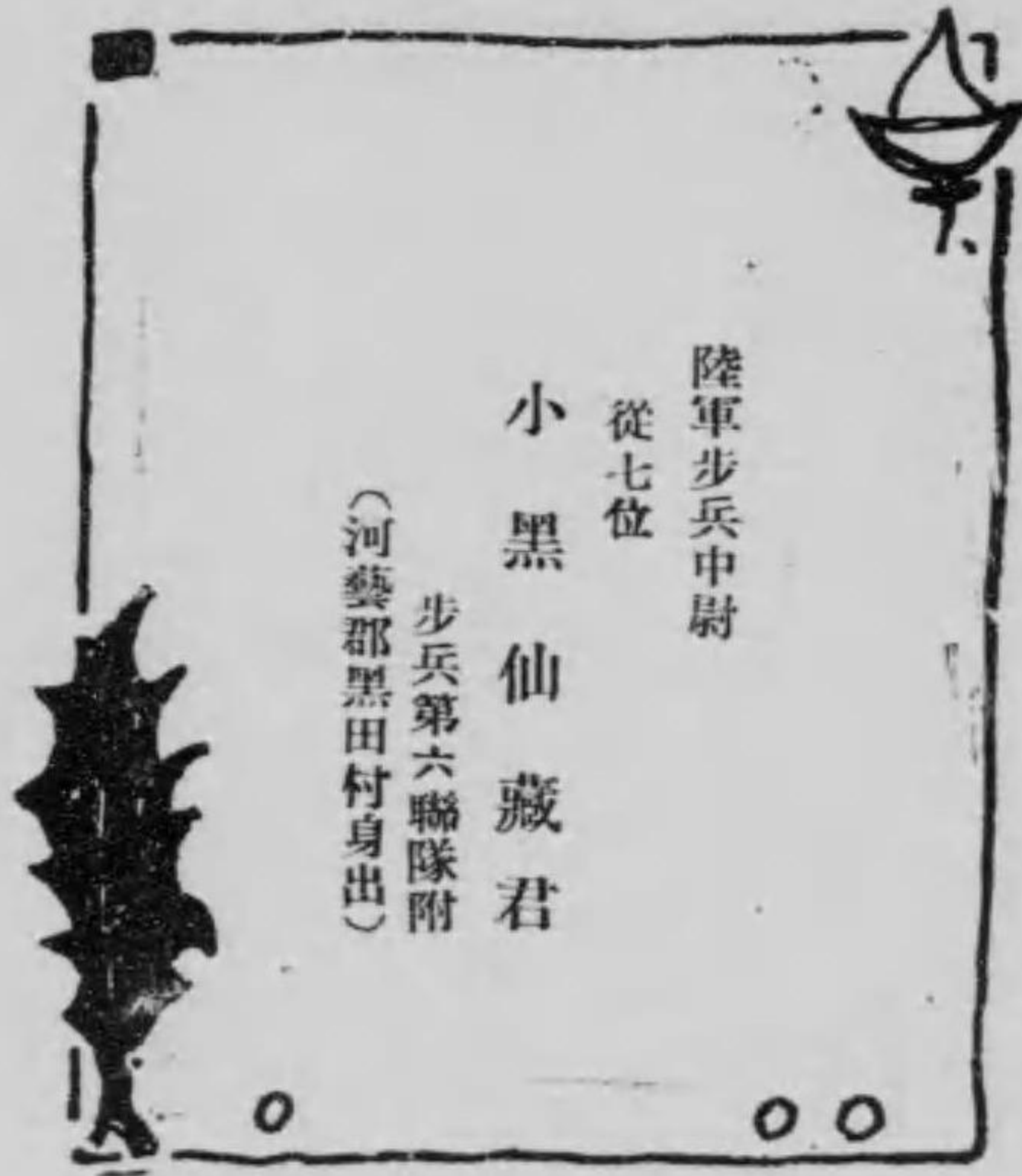
河藝郡上野村 増川六三郎君

表域區轄管所判裁

院 訴 控 屋 古 名

所 判 裁 方 地 津 濃 安

津濃安 區 所 判 裁 區  
 津市、安濃郡、河藝郡、鈴鹿郡、一志郡、飯南郡  
 多氣郡ノ内東黒部村、下御絲村、大淀村、上御絲村、明星村、齋宮村、  
 相可村、西外城田村、佐奈村、津田村、丹生村、五ヶ谷村、川添村、  
 上野(阿山郡、名賀郡)  
 四日市(四日市市、三重郡、員辨郡、桑名郡)  
 山田(宇治山田市、度會郡、志摩郡、  
 多氣郡ノ内、三瀬谷村、萩原村、領内村、大杉谷村)  
 木本(南牟婁郡、北牟婁郡)



陸軍歩兵中尉  
從七位  
小黒仙藏君  
歩兵第六聯隊附  
(河藝郡黒田村身出)



法學士加藤守一君



安濃津地方裁判所

九ノ内殿町

判事 部長 玉置直矩  
所長 長濱信太郎

檢事局  
檢事 寺崎勝治  
書記 山本安太郎

四日市區裁判所

四日市市西町

判事 壹岐寅之進  
監督書記 亦田八十吉

檢事局  
檢事 新谷昇  
書記 入交駿藏

檢事局

書記監督 佐藤信太郎

檢事正事 長谷川定

山田區裁判所

宇治山田市岡本町

判事 村瀬熊吉  
監督書記 中澤尙郎

檢事局  
檢事 岡外次  
書記 岡田以吉

書記監督 川口舍藏

安濃津區裁判所

九ノ内殿町

判事 橋倉次推  
監督 松田篤二郎

木本區裁判所

大森八十一郎

判事 大森八十一郎  
書記 福岡曉善

檢事局  
檢事 禪野佐助  
書記 山田寛

書記監督 森本武次郎

檢事局

檢事 宮崎國吉

安濃津監獄

津市佐伯町

典獄 鈴木信彌  
看守長 服部菊次郎

書記 高井賢三

宇治山田分監

宇治山田岩淵町

分監長 津熊浩司

上野區裁判所

阿山郡上野町

判事 小野寛  
書記監督 若合健吉

四日市分監

三重郡海藏村  
大字東阿倉川

分監長 北村源治郎

郡内著名商工者案内

河藝郡白子町  
國産形紙製造 市川 鶴松

肥米穀料商 一身田町 辻祿藏商店  
電話長二 電略ツシ(又)ツ

同 町 長谷川 六右衛門

肥米穀料商 一身田町 小林藤吉郎商店  
電話一〇電略コ(又)コイ

同 町 南部 米吉

肥米穀料商 白子町 長谷川 萬吉

同 町 寺尾 齋兵衛

肥米穀料商 一身田町 小田 常吉

同 町 北村 松助

米穀商 河曲 松林 藤左衛門

同 町 鈴鹿郡龜山町 龜田 金三郎  
電話五七 電略カメ

國産木綿問屋 一身田町 森川 市左衛門  
電話長一三 電略モリ(又)モ

同 町 那龜山町 小龜 自轉車商會  
電話七五 電略コカメ

名菓櫻おこし 菊おこし 總本店  
御用菓子同)

下村 嘉右衛門  
電話三七

同 町 那龜山町 寄元亭 淺生 元吉

特許中川式橫編縮織機足踏織機 (受賞數回)  
一身田町 森 中川 吉次郎  
電話二三

同 町 那龜山町 柏屋 多吉  
電話三一

一身田町 株式會社 河藝銀行  
電話三 電略カケ  
資本金十五萬圓

同 町 那龜山町 秋月 料理店 澤木 菊造  
電話一九



子爵 藤堂 高寛君

一志郡久居町

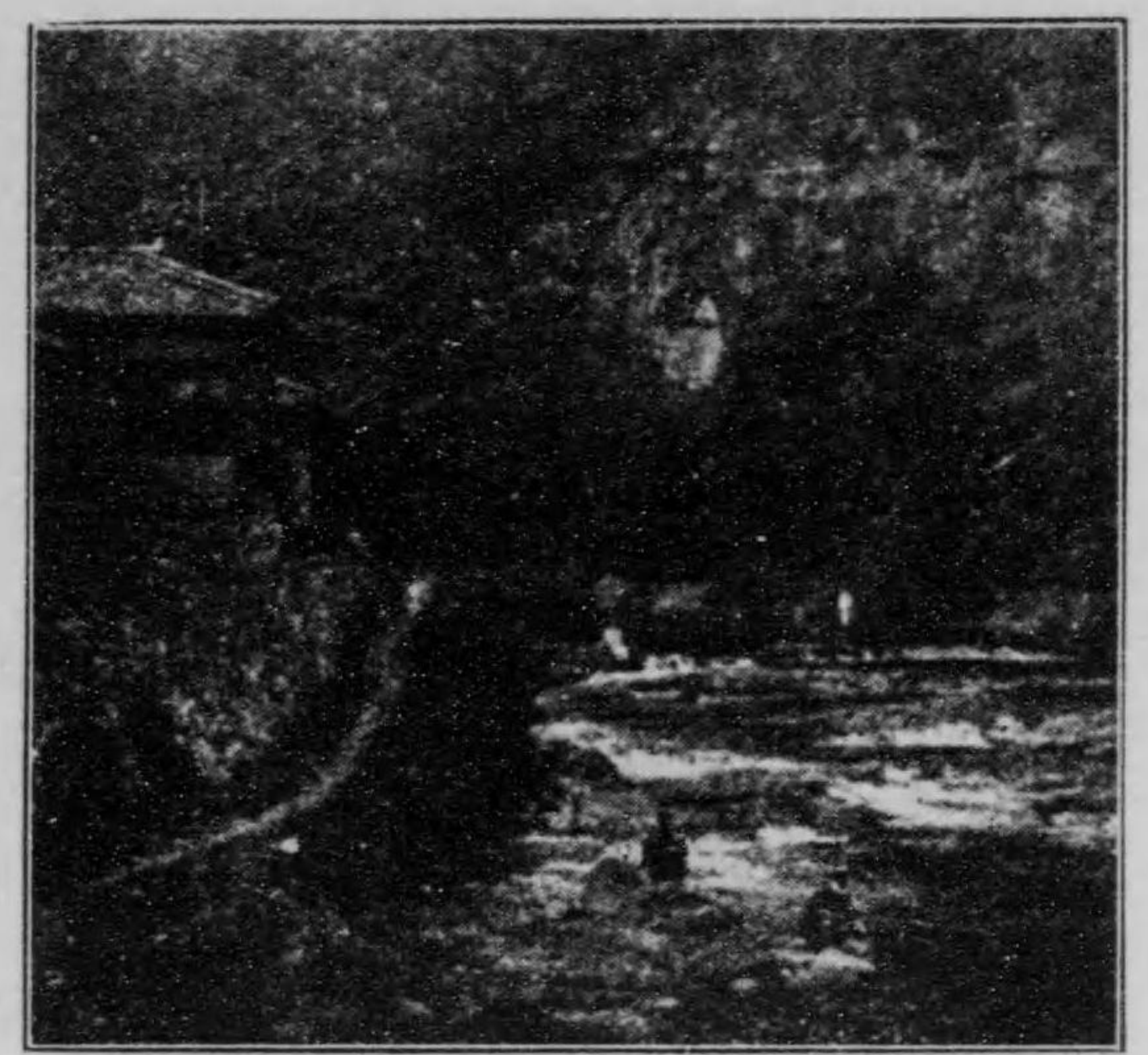
官 衙

一志郡役所 久居町

久居警察署 久居町

歩兵第三十旅團司令部 久居町

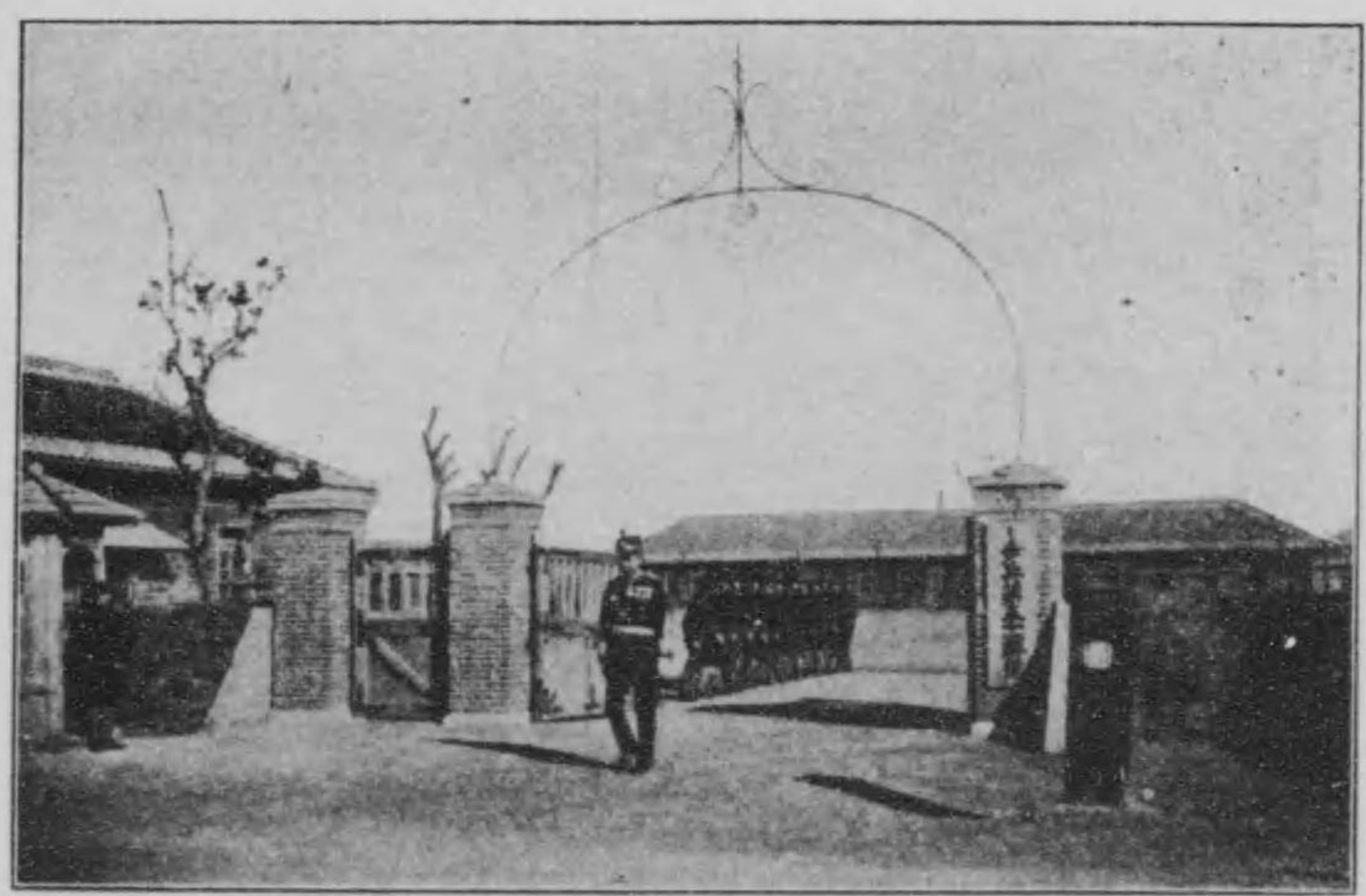
歩兵第五十一聯隊 久居町



む望を山石貝りよ泉温原榊

一志郡久居町

津市を西に距る事二里餘の所にあり一志郡役所所在地にして、初瀬街道、伊賀街道の分岐點なり、舊藤堂佐渡守五萬三千石の城邑にて本郡第一の名邑たり、交通の衝に當り居るを以て商業頗る盛にして豪戸軒を連ね、高通神社、玉旋寺、八幡神社、柳の井戸、幸町の鐘の諸名勝あり又附近に小戸木桃林、新屋桃林と云ふ反別三十餘丁の廣きに互り四萬餘株の栽培あるを以て桃花盛なる時は一面の花となり有名なり、此地霞酒鮎等を産し美味なり。



(居久)門正隊聯一十五第兵歩

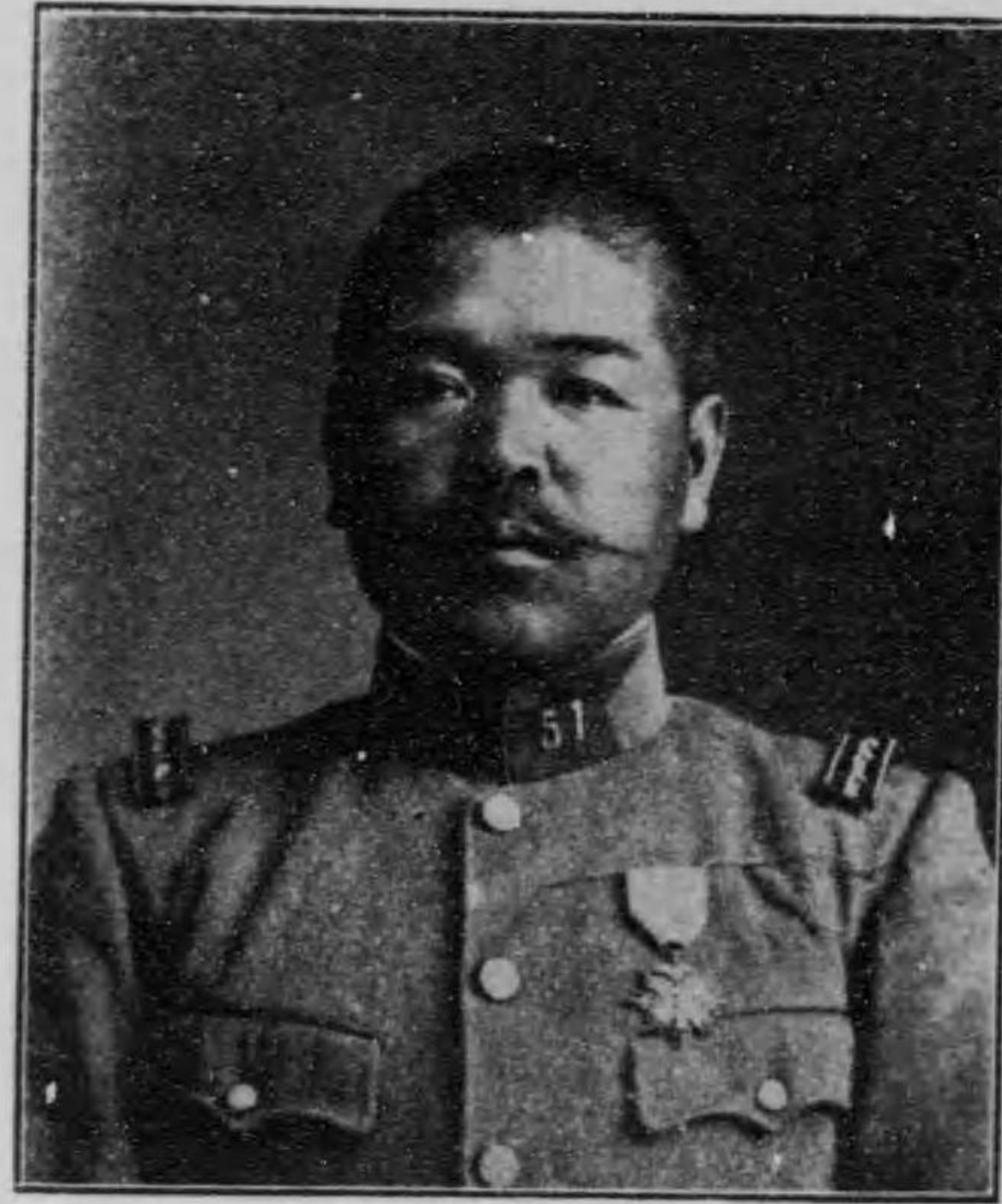
附近の名勝

安樂寺	真福寺	香洲松	阿坂	瀬戸	峠	多藏	西栗	七温
伊勢野村	矢野村	阿坂村	家城村	八幡村	多氣村	太生村	榊原村	



陸軍歩兵大尉正六位勳四等功四級  
歩兵第五十一聯隊本部附

前川米太郎君



(身出郡志一)

寫真師 高山増治郎君

一志郡久居町

貴族院書記官

宮田光雄君

東京麻布本村町  
(一志郡出身)

久居町字二ノ町  
國產木絹瓦斯  
交織物製造業 上野 孫七  
電話特長二

久居町字本町  
吳服商 加賀屋  
太物商 牛場 熊次郎  
電話長一四

吳服商 同  
太物商 山川 十次郎

久居町字本町  
米穀賣買業 志 精米製  
精米製油業 合資會社  
電話 二三

久居町字本町  
旭印三重完全肥料  
魚肥雜穀商 奧井伊兵衛  
電話特一二電路ヲクキ(ヲ)

久居町旅籠町  
肥料油兼 倉田 源左衛門  
煙草元賣捌 八町屋  
電話 二五

久居町字本町  
味噌醬油 萬屋  
製造業 山川 信太郎

久居町字本町  
素麵製造、乾伊賀屋  
物、青物、砂糖商 川島 喜兵衛  
電話 二四

久居町  
銅鐵金物商 江戶吉  
松本 吉五郎  
電話 一九

久居町  
萬荒物雜貨 松本 善次  
國產春慶塗 江戶善  
電話 〇エ

久居町  
資本金六拾參萬圓(設立明治二十八年)  
株式會社 一志銀行  
電話一 電略一シホ

久居町名

久居町跡  
 東鷹跡町  
 西鷹跡町  
 本木町  
 二ノ町  
 族籠町  
 幸籠町  
 萬寺町  
 同町  
 同町  
 同町

久居町資産家

小津六三郎	町田經宇	大郎生	中井甚之助	奥村庄七
柳下重勝	松本吉五郎	伊勢地	中子九式	岸野丈平
小屋光雄	北田與平	八幡特	山内榮五郎	池田彌生
倉田源左衛門	金田房吉	多氣	齋藤文三郎	辻村萬之助
野崎慎一	白石通則	下之郷	中田濤藏	中田榮次郎
辻岡八郎兵衛	小田半内	宇氣郷	大浦兼吉	牧野友之助
武部十三郎	近藤淺次郎	中郷	長谷川卯之助	三林要松
奥井伊兵衛	堀吉彦	大井	前田祐三	松本政藏
宇野捨二	白杵才化	高岡	金兒庫太郎	喜田川要三郎
榊原 丸岡爲之助	酒井與作	川合	西川利三郎	田端茂吉
大三 十森李次郎	行岡宗郎	中川	松田よね	加藤政次郎
倭 今井榮次郎	村上 方太	豐地	宮村信次郎	東畑吉之助
八ッ山 須田市三郎	中西長三郎	中原	鈴木房吉	山本金五郎
境 高尾彦次郎	竹内佳自由	阿坂	水本源次	太田迪郎
川口 眞柄文雄	藤岡宗一	米之庄	米本平左衛門	宇野治六
家城 巽武夫	瀧川彦之丞	松崎	松島吉右衛門	岩崎直三郎
竹原 森田久次郎	藤田彌之助	天白	飯田守雄	松岡信藏
八知 藤田政治郎	本村 上野英三郎	豐田	林 幾之助	西井伊之助
		小野江	田中善右衛門	田中圭太郎
		龍村	村田幸三郎	田中小十郎
		矢野	八木正太夫	今村勘左衛門
		雲出	小林嘉平次	勝谷光次
		高谷保	近藤恒太郎	近藤覺次郎
		桃園	松岡藤太郎	中山彌三郎
		本村	信藤準藏	



第三師團經理部附  
陸軍三等主計 堀山壽次郎君

(身出村崎ヶ松郡志一)



歩兵第卅三聯隊附  
歩兵中尉從七位 森永省三君

(身出田佐村倭郡志一)



神奈川縣警察部檢診醫長  
兼巡査教習所教官警察醫 栢原直次郎君

(身出村出雲郡志一)九一三町木春市濱横住現

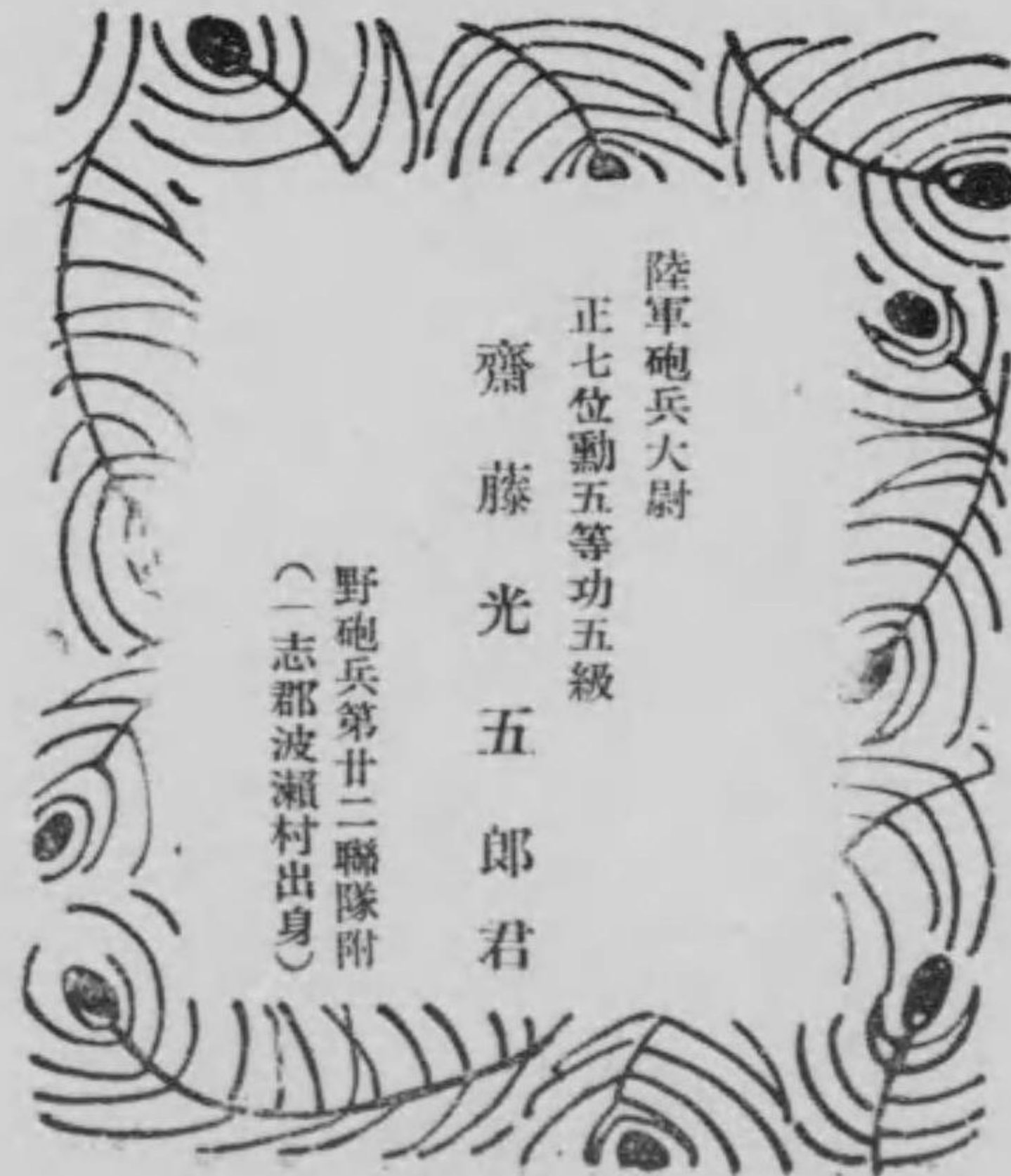


逓信省官吏

中央電話局勤務

鳥谷尾常藏君

東京芝公園十四ノ九  
二志郡出身

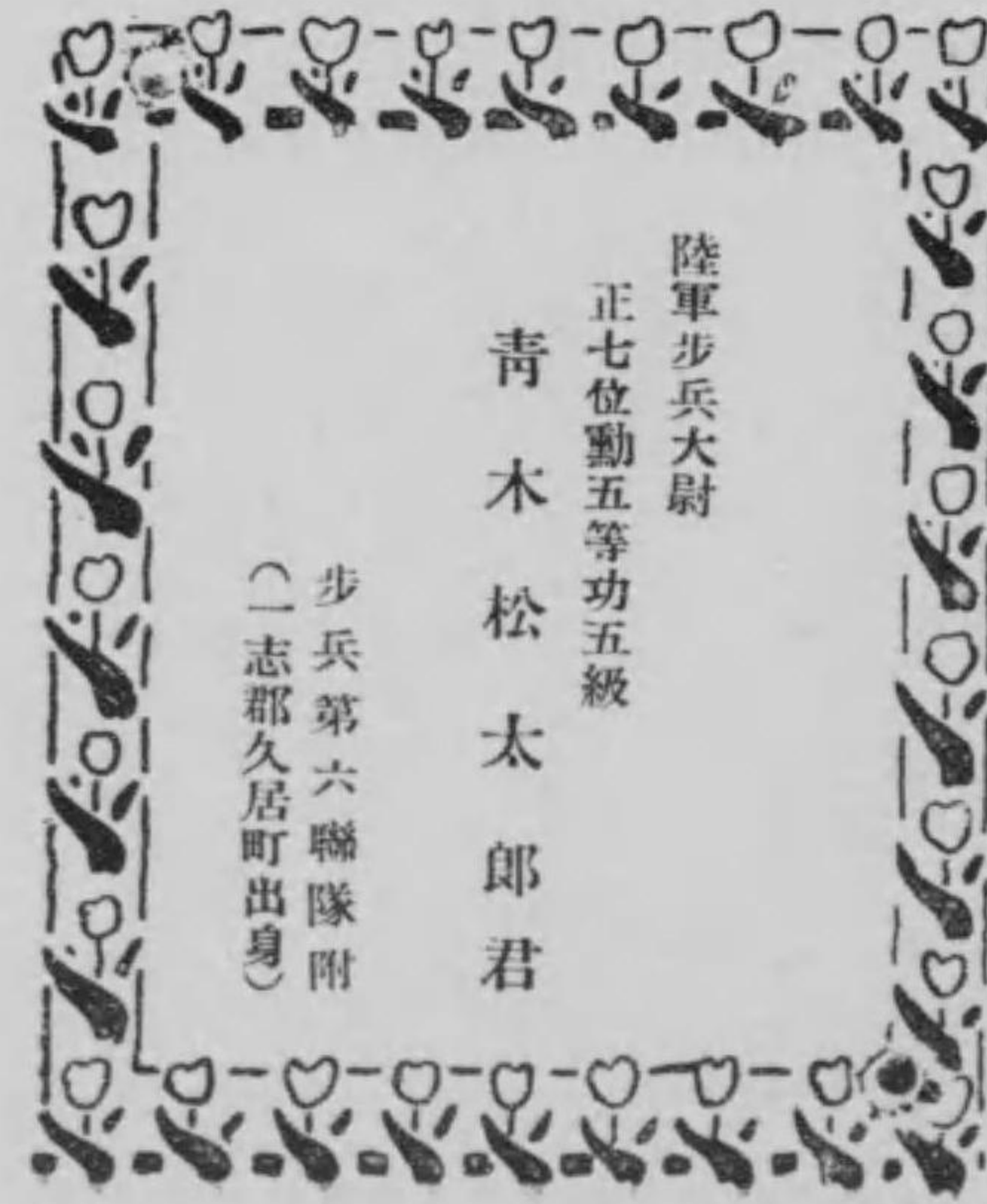


陸軍砲兵大尉

正七位勳五等功五級

齋藤光五郎君

野砲兵第廿二聯隊附  
(一志郡波瀨村出身)

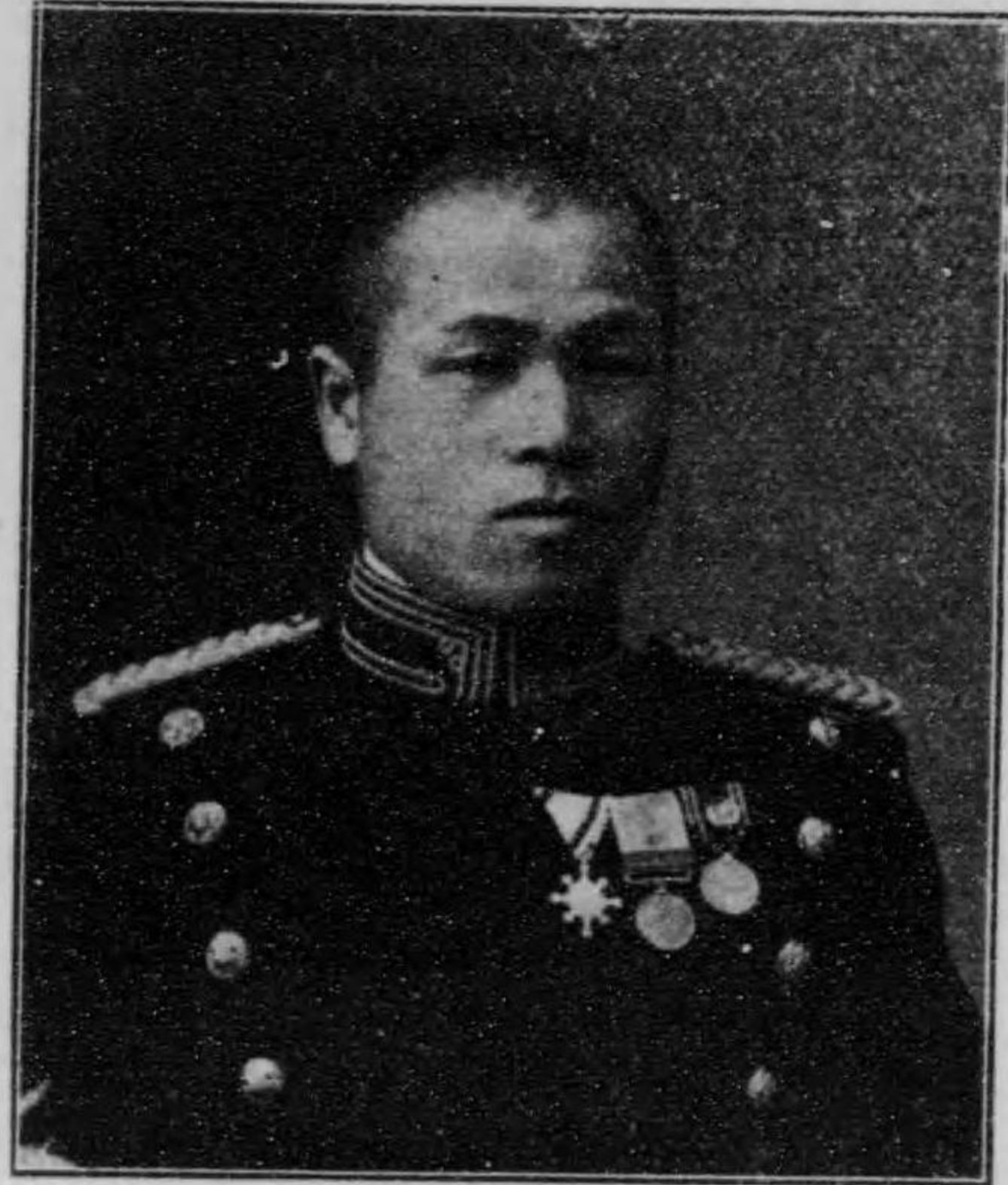


陸軍歩兵大尉

正七位勳五等功五級

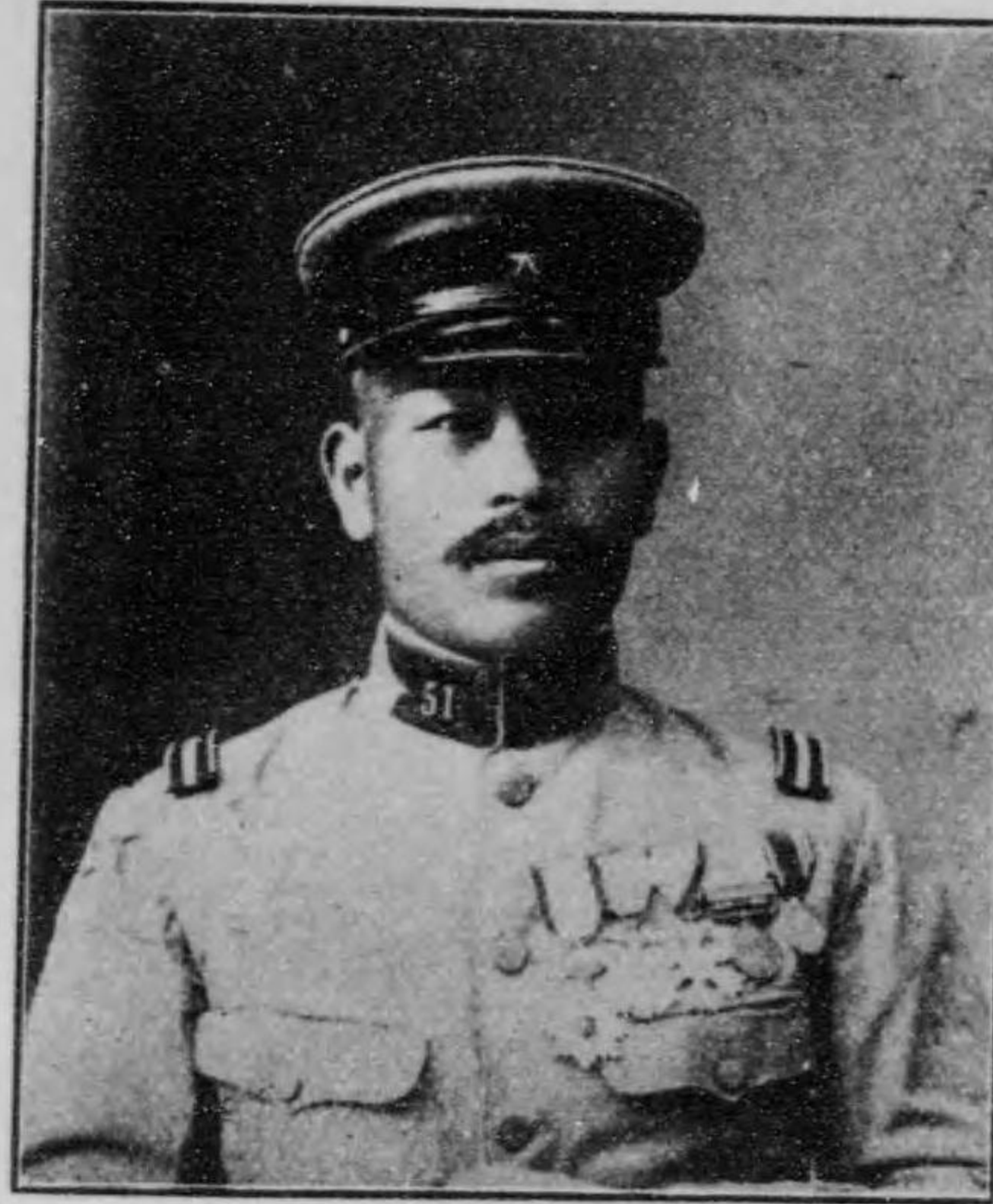
青木松太郎君

歩兵第六聯隊附  
(一志郡久居町出身)



步兵第五十一聯隊  
陸軍歩兵特務曹長  
金 兒 庫 造 君

(身出村田豊郡志一)



陸軍歩兵第五十一聯隊附  
特務曹長勳六等功七級  
野 崎 嘉 一 郎 君

(身出村木戸郡志一)



現時東京市赤坂  
區新町五ノ十七  
實商  
津 村 鐵 輔 君

(身出村地豊郡志一)



會 社 員

永 納 良 雄 君

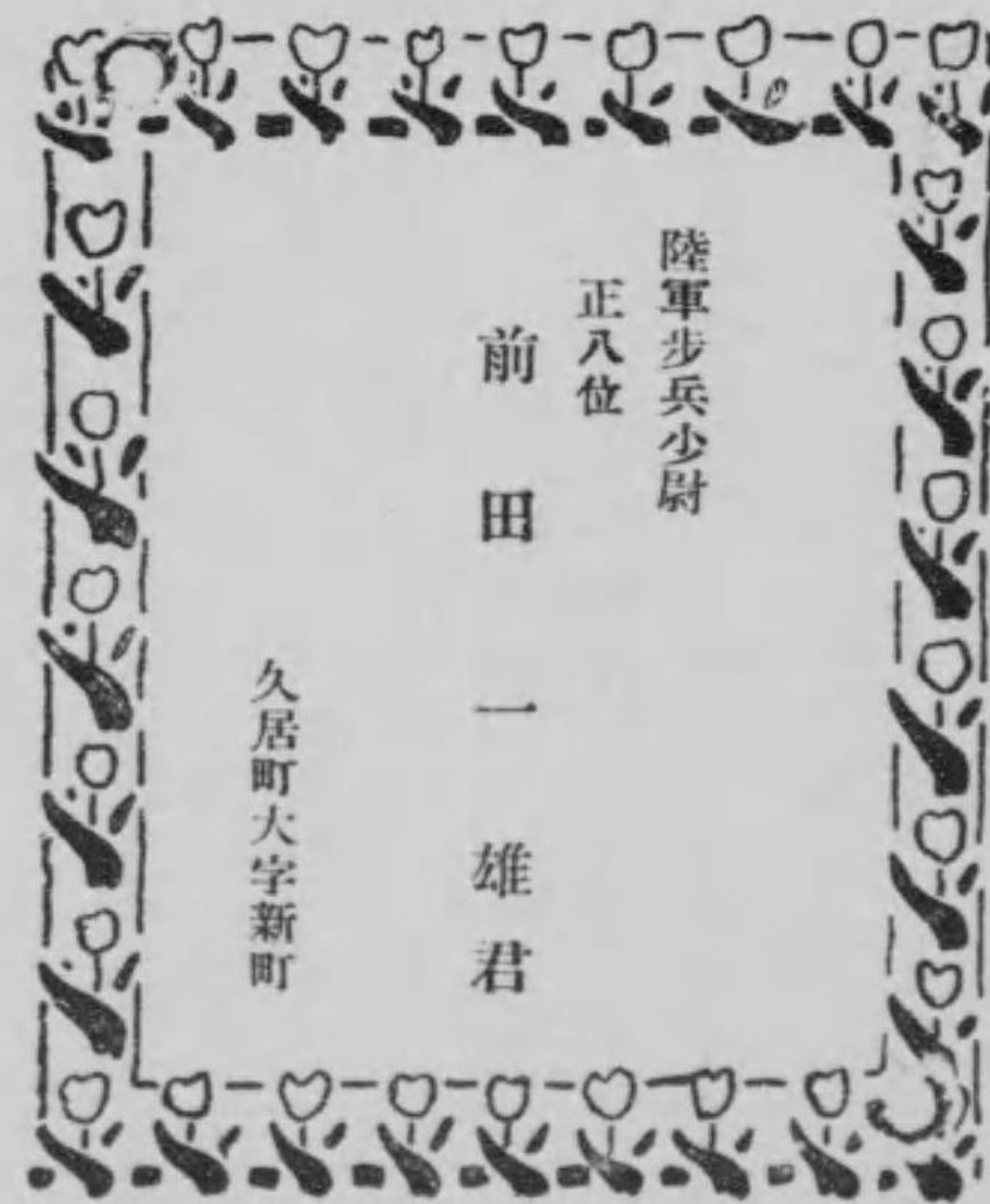
東京市麻布飯倉片町  
(志郡八知村出身)



逓信省官吏  
航路標識管理所

須 川 昇 太 郎 君

横濱市神奈川町九七〇  
(志郡雲出村本郷出身)



陸軍歩兵少尉  
正八位

前 田 一 雄 君

久居町大字新町



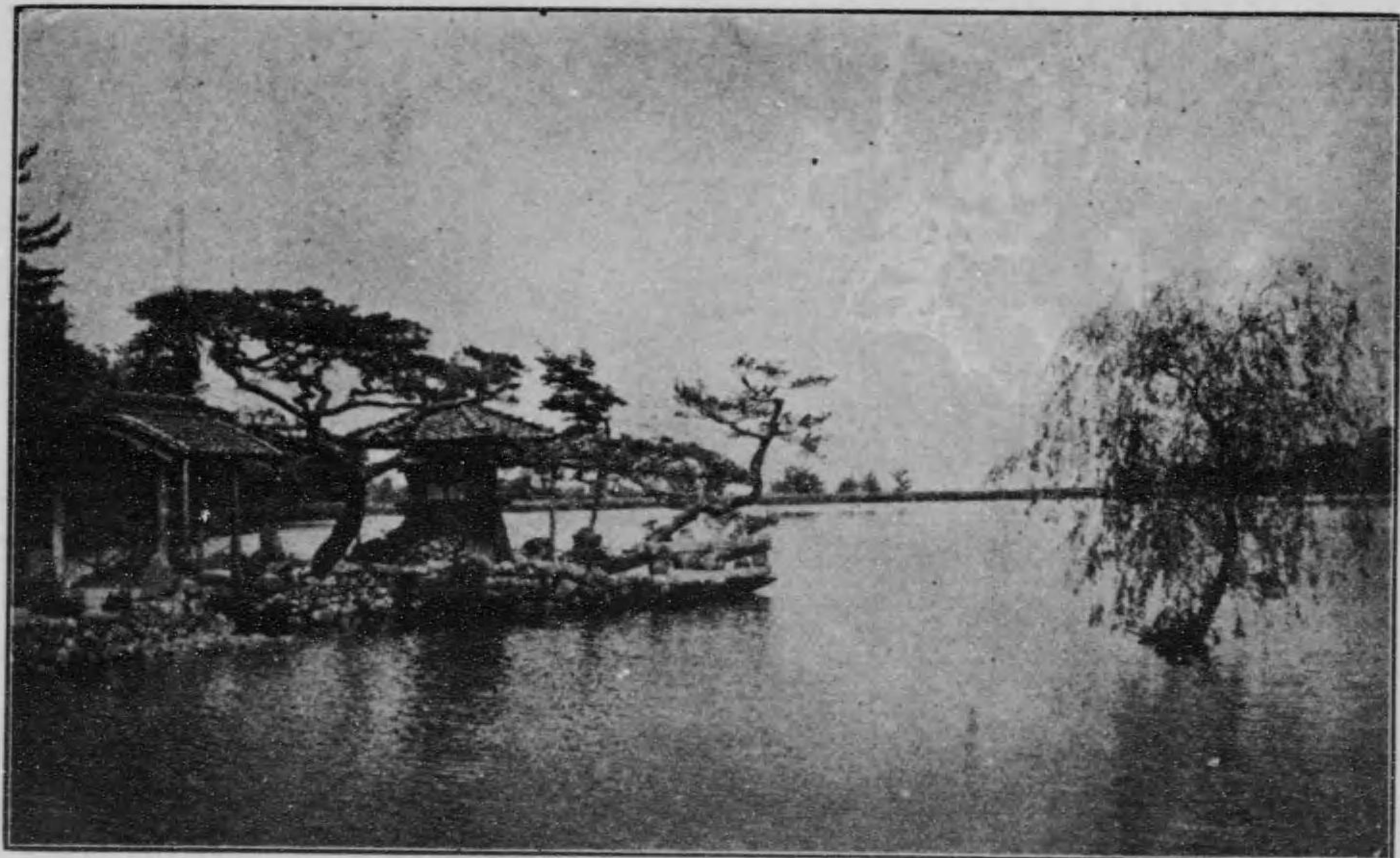
## 飯南郡松坂町

飯南郡松坂町は津市と山田市の中間にあり西南丘陵を負ひ、北に川を擁し、東一里にして一志浦に接す往昔北畠の治所なりしが蒲生氏、服部、古

田氏等交々松坂を治し徳川氏天下一統するに及び近傍十八萬石を徳川頼宣に加賜し明治維新に至る迄紀州藩の領する所たり。市場十有八伊勢街道の北端川井町より一直線に其南端愛宕町に貫通す停車場は町の東邊にありて運輸四達交通至便の一商區にして豪商軒を列し商業殷盛なり。最も繁華の町は本町、新町等とし、飯南郡役所、税務署、區裁判所、工業學校の所在地なり、殿町の松坂公

園は昔、四五日の森と稱し、宵森、四蘭生森とも誌せり、松坂城の石壁を存す。土地高燥にして老樹巨木空を掩ひ幽凄の趣に富む、境内は廣濶にて南龍神社の祠あり東方伊勢内海を望み、帆影點々たる處規模廣大なり。

此地名稱古蹟尠からず市内に龍泉寺、菅相寺、清光寺あり山室神社は國學者本居宣長



池天財辨寺殿瑞内岩 (近附坂松)。

を祭り墓は花岡村にあり、左側に平田篤胤の碑あり宣長の國學中興の祖を偲ばしむ。下樋小川は鈴止村にあり鈴止橋の名勝又國分寺、瑞巖寺は共に伊勢寺村に、朝田寺は朝見村に、一乗寺は神山村に、本宗寺は射

和村にあり。櫛田橋は櫛田川に架する長橋、古來の名所なり飯南郡の會都松坂町は本縣中津市、四日市市、宇治山田市に次ぎて殷盛なる所とす。有名なる國産松坂木綿を出す、隨て木綿問屋織布業者多く金融界にては松坂銀行明治二十八年設立にして信用多く商事會社重なるものは小津銀行伊勢農事株式會社松坂輕便鐵道株式會社松坂水力電氣株式會社株式會社青物問屋等にして商工業者の著名なる者別掲の如し

### 名所

松坂公園城址	來迎寺	龍泉寺
菅相寺	清光寺	瑞巖寺
山室神社	朝田寺	下樋小川
一乗寺	本宗寺	本居宣長墓



松坂町資産家

小津清左衛門	西川増次郎
長井九郎左衛門	白塚大三郎
鈴木藤三郎	西川藤左衛門
春木菊次郎	小津芳藏
若林太良一	尾崎三吉
西井久兵衛	吉田龜次郎
龜井齋九郎	小津茂右衛門
竹岡靜一郎	山路菊次郎
大比武彦	長島萬平
小津貞祐	小西多三郎
喜多村新助	小津孝之助
細野幸三郎	中須半藏
森井和助	久留春三
春本初太郎	小田勘七
藤村文兵衛	堀口新兵郡
德力嘉藏	東政吉
長部川治郎兵衛	井本萬藏
伊藤四郎兵衛	弓矢武三郎
竹中りさ	橋本七兵衛
後藤友之助	淺山二三郎
錦榮三郎	竹井正太郎
坂口金之助	中西關藏
曾原德三郎	土井伊之助
金兒政吉	中谷勝藏
清水芳之助	竹崎峰吉
富田元吉	清水市兵衛
井田キク	森岡喜作
世古惣十郎	佃安之丞
市川劍杵	淺井勝之進

東京帝國大學文科大學教授  
文學博士 佐々木信綱君  
東京市本郷西片町  
(飯南郡出身)

男爵 三井高保君  
東京麹町區上二番町  
(飯南郡松坂町)

貿易商  
大谷嘉兵衛君  
横濱市元濱町  
(飯南郡出身)

三井武之助君  
 東京麹町區富士見町五  
 (松坂町出身)



寺巖瑞内岩(近附坂松)

德田孝平君  
 東京市日本橋區坂本町

味噌醬油問屋  
 竹口作兵衛君  
 東京市深川佐賀町  
 (飯南郡出身)

大文字樓主  
 波木井清次郎君  
 東京新吉原江戸町  
 (飯南郡出身)

神奈川電氣株式會社社長  
 松田福一郎君  
 東京市芝區仲門前町  
 (飯南郡出身)

飯南郡松坂町 長谷川治郎兵衛君



飯南郡松坂町 小津清左衛門君



長井九郎左衛門君  
松坂町



松坂町湊町

肥料穀商 西田 幸吉  
電話一五五 電略ニシ

久居町

旭印三重完全商 奧井伊兵衛  
肥料魚肥雜穀 電話特一二

松坂湊町

精米業 金子兒益吉  
電話長一五六 電話のア

松坂町新町

米雜穀 長井直七  
電話五八 電略ナガイ(又)ナ

松坂町黒田町

海產肥料商 長崎肥料商店  
化學 電話長五七 電略十七(又)十

松坂町字新町  
倉房

雜穀乾物商 倉田房次郎  
製粉 電話一〇七

松坂町字黒田町  
酢和

雜米肥商 森井和助  
貨商 電話長二〇六 電略スワ

松坂町大字新町  
中須屋

菊露養命酒 西井久兵衛  
特許豆粕削器械 壓搾器製造 電話長二四長一〇五

松坂町字港町  
角清商店

櫻印醬油 齋田準之助  
製造元 電話三一八

松坂町

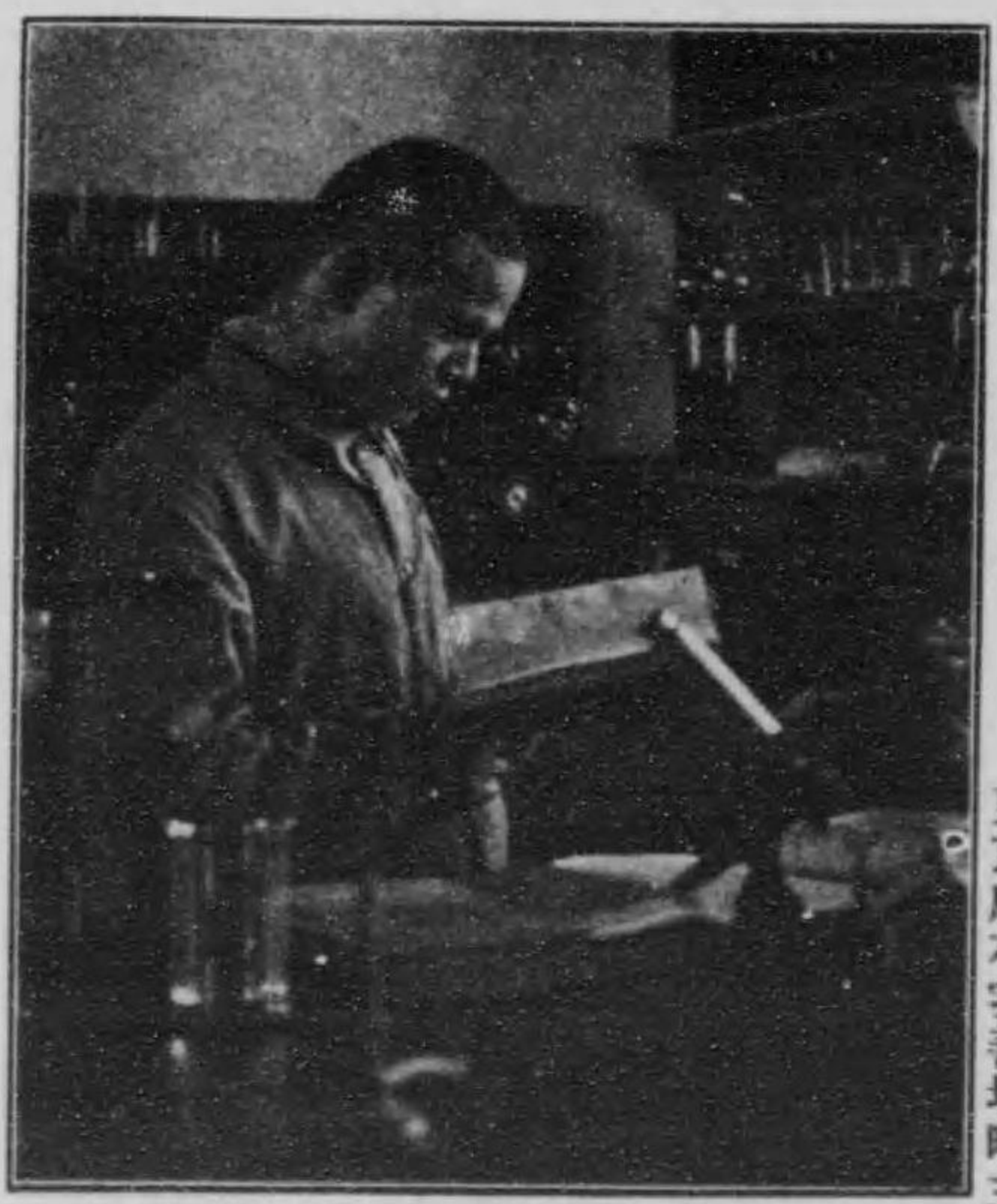
醬油業 世古惣十郎  
電話長二三〇

東京府女子師範學校教諭  
兼東京府第二高等女學校  
教諭 堀田要三郎君  
東京本郷駒込蓬萊町三九



(身出瀨桂郡南飯)

工業試験所官吏  
「油脂工業試験法」著者 上野誠一君  
東京麻布我善坊町三九



(身出坂松)

名古屋稅務監督局

三 重 縣

- |              |      |     |     |
|--------------|------|-----|-----|
| 津稅務署 (津市)    | 安濃郡  | 河藝郡 | 一志郡 |
| 桑名 (桑名郡)     | 員辨郡  |     |     |
| 四日市 (四日市市)   | 三重郡  | 鈴鹿郡 |     |
| 松坂 (飯南郡)     | 多氣郡  |     |     |
| 宇治山田 (宇治山田市) | 度會郡  | 志摩郡 |     |
| 上野 (阿山郡)     | 名賀郡  |     |     |
| 尾鷲 (北牟婁郡)    | 南牟婁郡 |     |     |

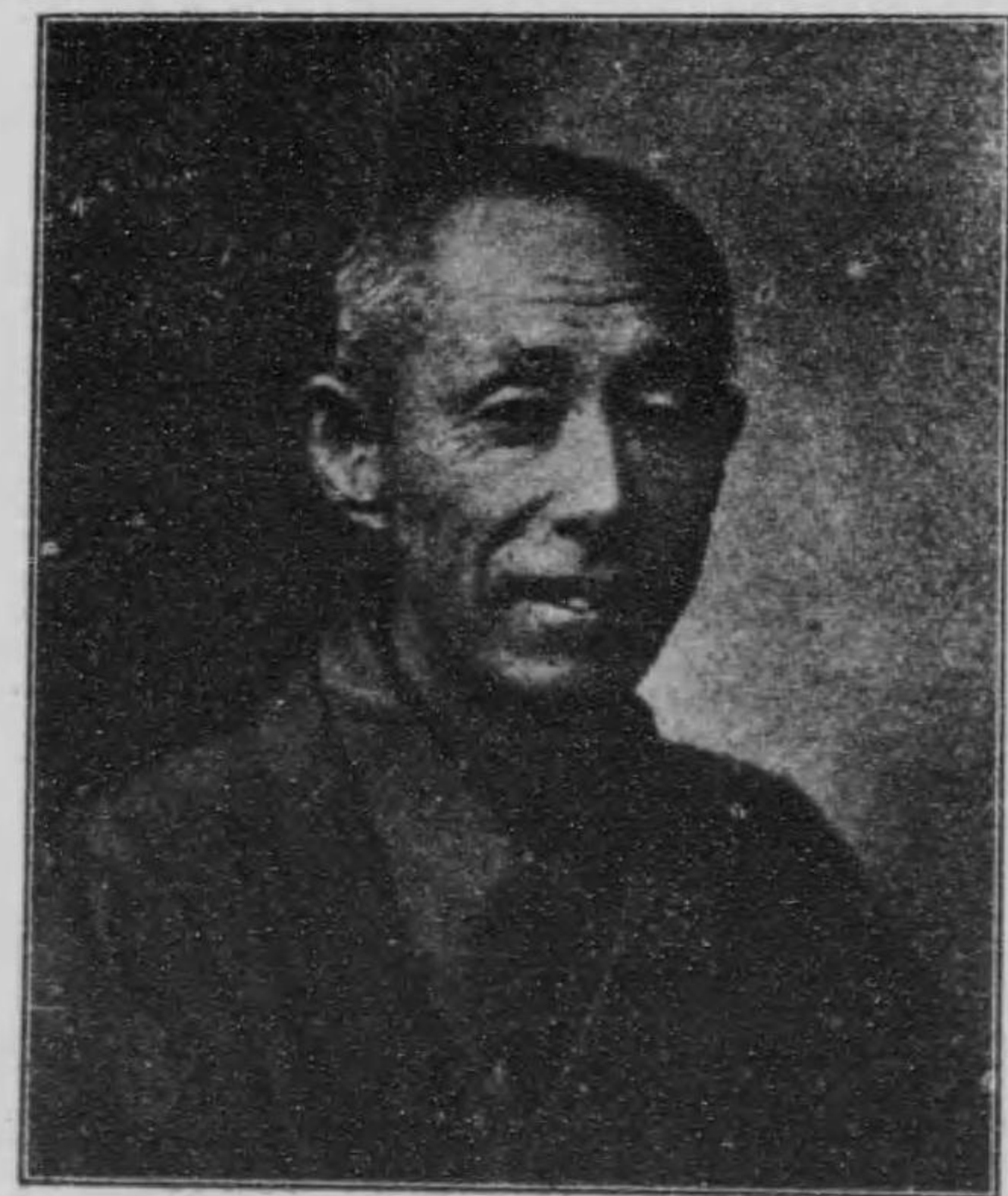
東京帝國大學病院產科婦人  
科醫局醫科大學副手醫學士



東京本郷本町一ノ十 (身出坂松)

幾石敏夫君

飯南郡射和村 國分勘兵衛君



實業家  
井田榮造君  
東京市赤坂區新坂町二六  
(松坂町出身)

陸軍三等軍醫正  
從六位  
織戶悅造君  
東京四谷區南伊賀町十八  
(松坂町出身)

農商務省技師  
從七位 工學士  
橘英太郎君  
東京芝三田豐岡町五五  
(飯南郡漕代村出身)

陸軍歩兵特務曹長  
勳七等功七級  
沖中庸太郎君  
歩兵第三十三聯隊  
(飯南郡柿野村出身)

千住製絨所  
石井立郎君  
東京府下南千住町六七  
(飯南郡藤部田出身)

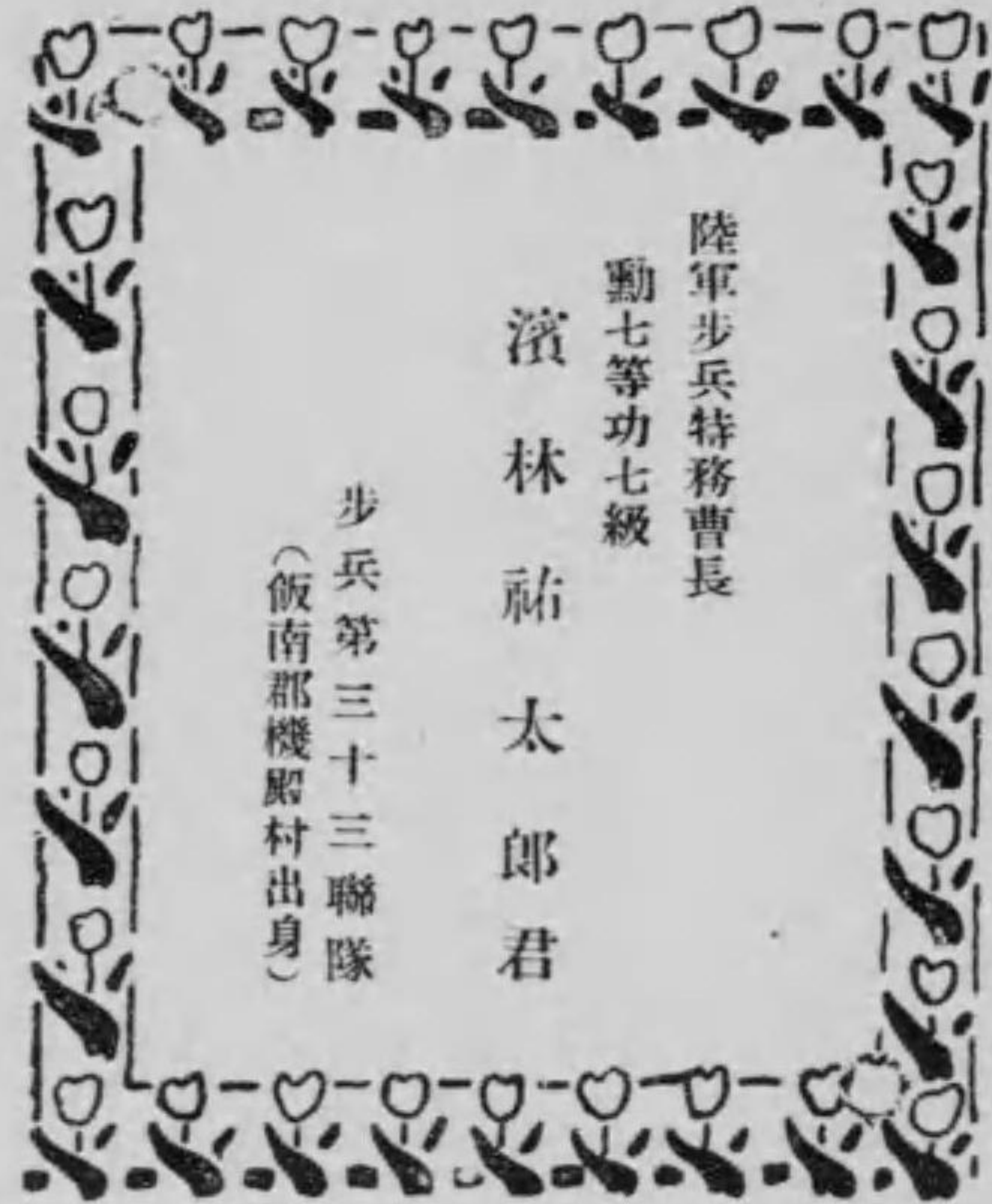
静岡商業學校教諭  
石井清之助君  
静岡市東草深町二ノ廿七  
(飯南郡桂瀬出身)



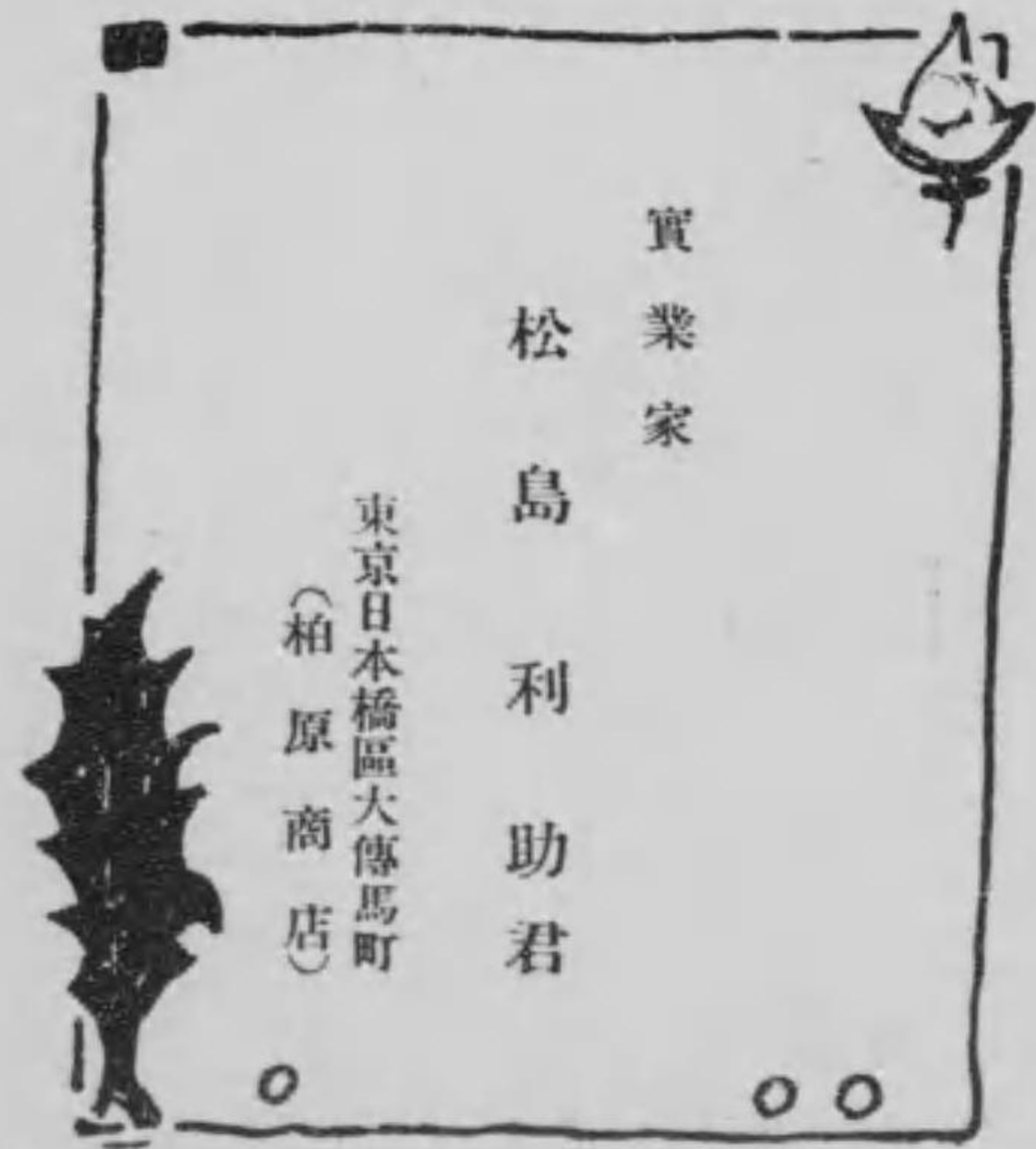
飯南郡機殿村 神川 節君



逓信省官吏  
 織戸 誠三君  
 東京四谷區仲町三ノ一  
 (松坂町出身)



陸軍歩兵特務曹長  
 勳七等功七級  
 濱林 祐太郎君  
 歩兵第三十三聯隊  
 (飯南郡機殿村出身)



實業家  
 松島 利助君  
 東京日本橋區大傳馬町  
 (柏原商店)



竹口 作兵衛君  
 東京深川區佐賀町二ノ六五  
 (飯南郡中萬村)



德田 孝平君  
 東京日本橋區坂本町  
 (飯南郡)



松坂日野町 石井商店 木綿卸商 石井勘次郎 電話長三三五

一志郡久居町 國產木綿 瓦斯交織物製造 上野孫七 電話特長二

松坂町日野町 國產木綿 問屋 大井彌平 電話長五三三 電略オキ(又)オ

松坂町日野町 古川屋 國產松坂木綿特製 丸木清四郎 電話長三五五 電略〇キ

松坂町新座町 織布業 谷口源次郎 電話長二一七

松坂町 織布業 松坂木綿合資會社 電話一二九 電略モメン

松坂町 織布業 藤方製織所 電話長三二八 電略〇キ

松坂町 國產木綿 製造卸 藤村吉兵衛 電話六九 電略フキ

松坂町 內外向綿縮製造 笹川縮製織所 電話長一〇三 電略ササ

松坂町日野町 八幡屋 洋反物商 別所常助

松坂日野町 湊屋 吳服商 土井伊之助 電話二三六 電略ドイ

同 大丸屋 吳服商 長島萬平 電話一一四

久居町字本町 加賀屋 吳服太物商 牛場熊次郎 電話長一四

松坂町新町 井筒屋 吳服物商 增井直助 電略ナヲ

松坂町新町 茶新 吳服物商 喜多村新助 電話長四一 電略〇チ

松坂町大字新町 平野屋 吳服太物松坂木綿製織 平野しめ 電話長四三一 電略ヒラノ

松坂町 大和屋 吳服物商 鈴木藤兵衛 電話六五

松坂町新町 丸一屋 綿絲商 丸一嘉吉 電略〇一

松坂町字新町 井田正 小間物卸商 井田商店 電話長一三四 電略キ

松坂町大字本町 歐米雜貨商 德力嘉藏 電話長五〇 電略ト

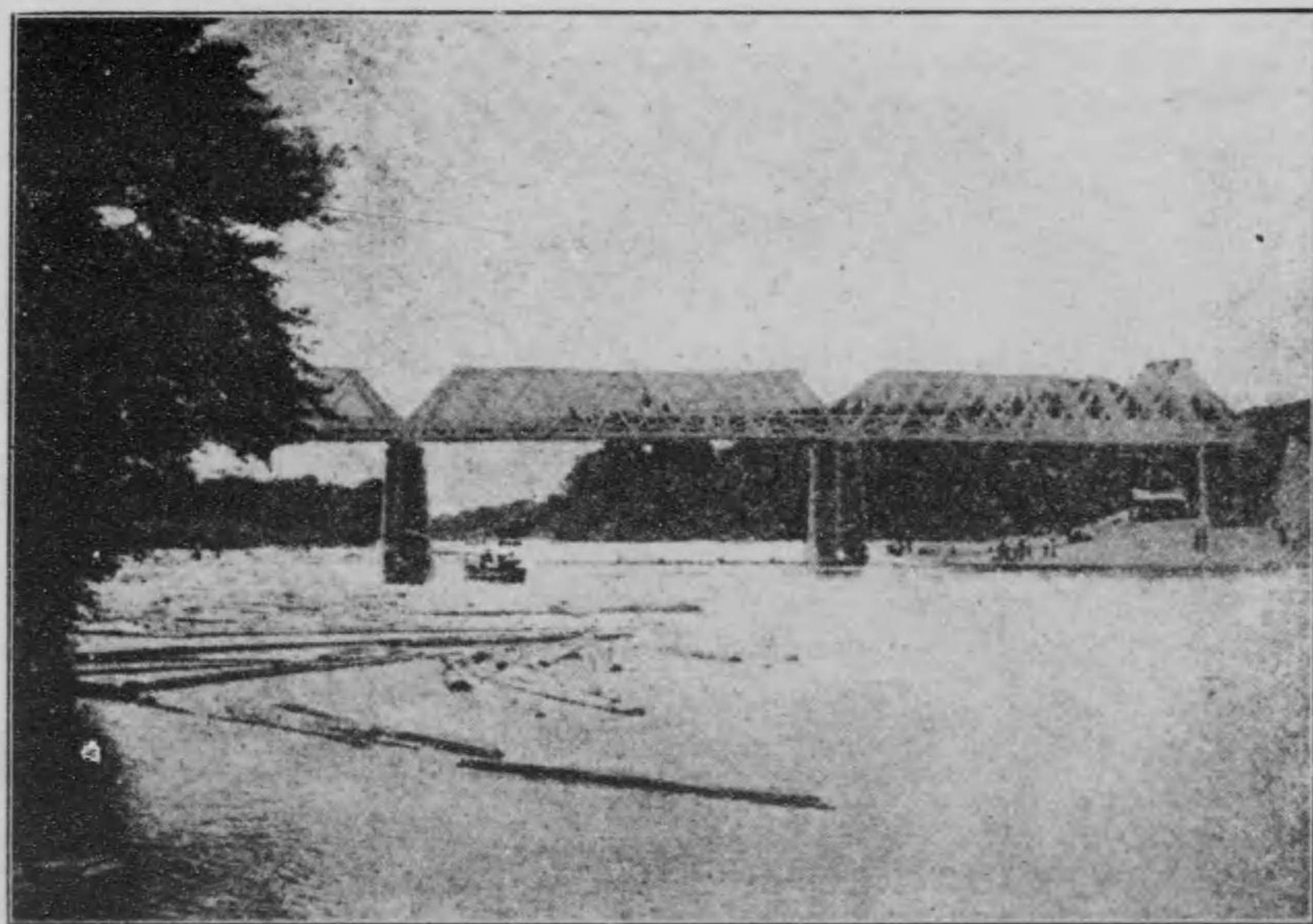
高等洋服商 德力嘉藏

多氣郡

南は度會郡に接し北は櫛田川を隔て、飯南郡に對す西部五ヶ谷村領内村大杉谷村等は山間の避地にして高山重疊し有名なる大台ヶ原山は伊勢大和兩國境に聳ゆ、本郡中央の小邑にして相可村大字相可あり、兩影橋を隔て、飯南郡射和村に接し熊野街道の要路たり、郡役所警察署稅務署其他の官衙竝に農學校實業女學校等あり、殊に近年松坂驛を起點とせる輕便鐵道射和驛に近く本郡西部大石村に通じ貨物運輸の便頗るよし、官鐵參宮線相可驛は相可村大字兄國にあり相可より約廿丁車馬の便あり、同驛附近竝に東部一帯は土地平坦豐饒にして農産に適し本郡生産高全部の半を占む。



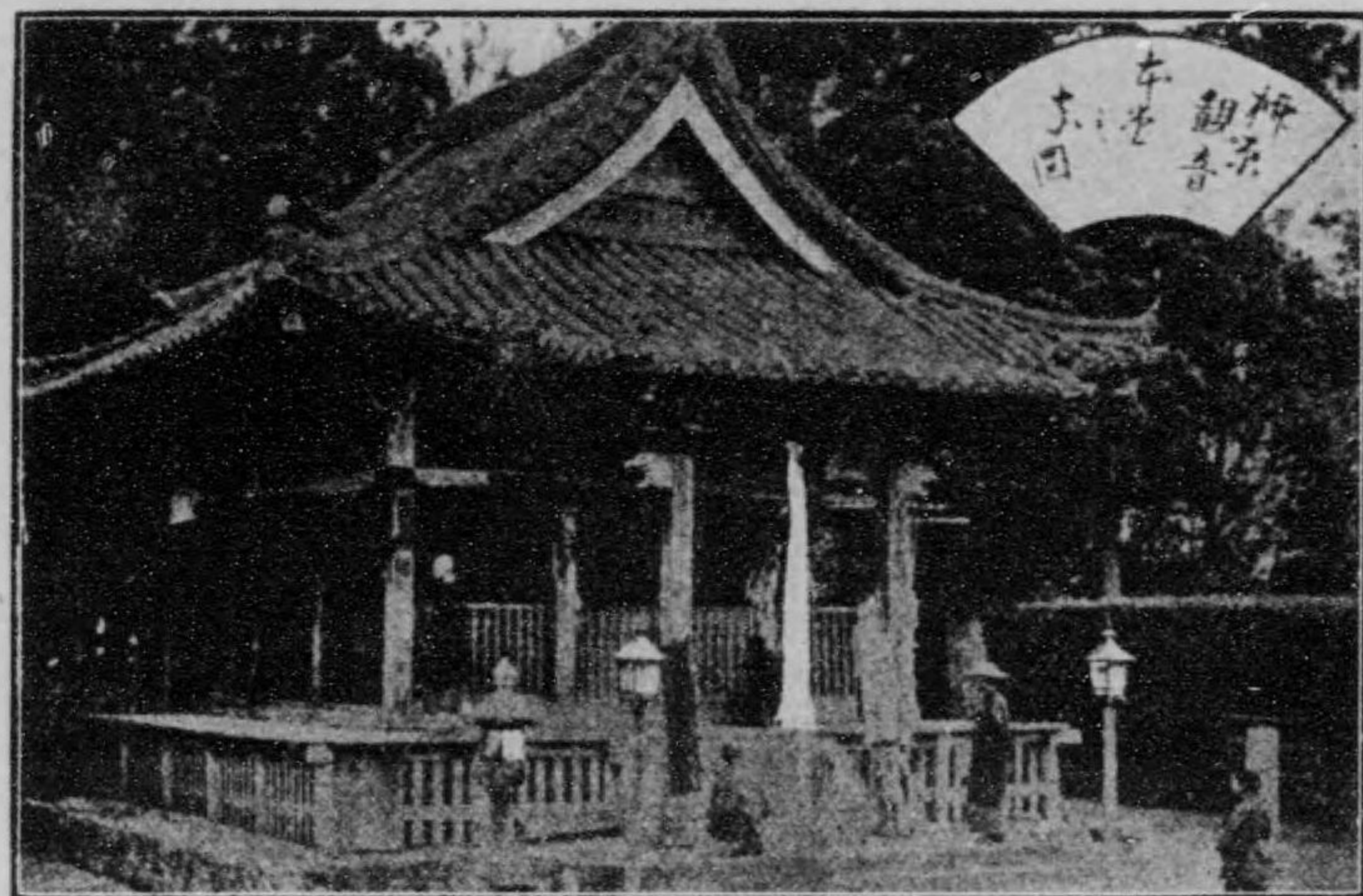
相可、射和間假設兩影橋



名勝

丹涼城千齋  
生石 鳥宮  
大岩  
師屋山瀬址

丹大佐相齋  
生杉奈可宮  
村谷村村村



寺福千音觀原柳 (村添川)



門山師大 (村生丹)



步兵第六十八聯隊附  
陸軍步兵少尉正八位  
大西小四郎君

(身出村可相)



(身出村宮齋郡氣多)

警視廳技師  
正六位勳六等  
永島忠君  
東京牛込新小川町二ノ二〇



農商務技師  
從六位  
山脇宗次君  
東京芝神谷町十八

(身出村宮齋)

多氣郡

大杉谷村	萩原村	五ヶ谷村	佐奈村	相可村	明星村	下御原村	東黒都村
三瀬谷村	丹生村	領内村	川添村	津田村	西外城田村	上御絲村	大淀村

官衛所在

相可警察署 相可村  
 多氣郡役所 同  
 相可稅務署 同  
 松坂區裁判所出張所 同



東京市京橋區木挽町  
池田病院副院長醫學士  
花岡鶴三郎君

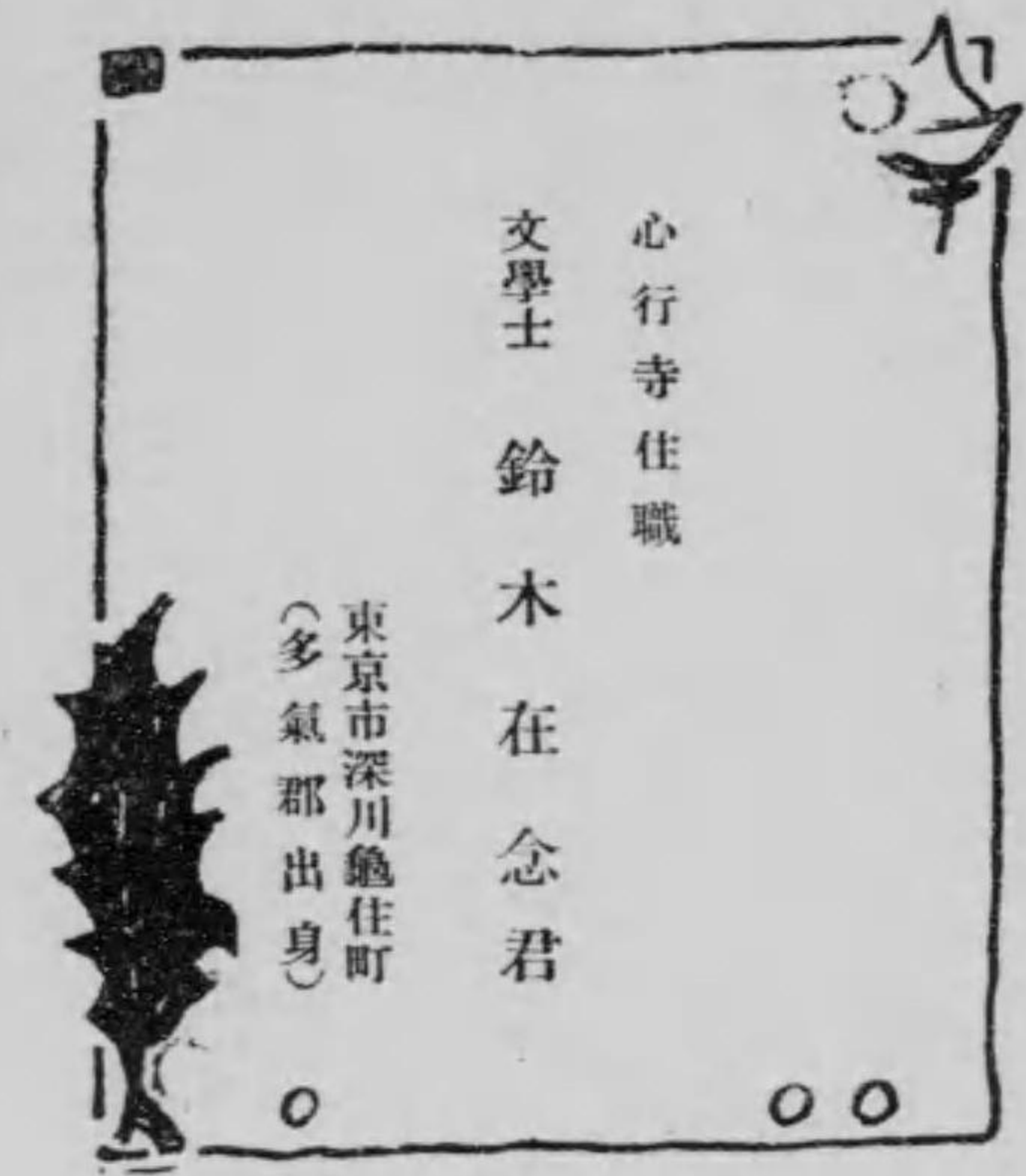


(身出郡氣多)

心行寺住職

文學士 鈴木在念君

東京市深川龜住町  
(多氣郡出身)



陸軍歩兵少尉

從七位

小林勘藏君

歩兵三十三聯隊  
(相可村出身)



日本海員掖濟會静岡支部幹事

吉川房吉君

(舊性木戸口)  
静岡市横内町三二  
(多氣郡齋宮村出身)



源工業株式會社支配人

坂井孝君

東京赤坂氷川町五  
(相可村出身)



醸造家

北村新次君

多氣郡五ヶ谷村



度會郡

宇治山田市

宇治山田市は宮川の東に位し尾部坂以西を宇治と稱へ其以東を山田と稱す、明治二十年町村制の實施に際し相合して宇治山田市と爲す。大港の所在地にして大港、神社の二港を擁し志摩、大和、紀伊各街道の衝に當り交通の便亦備はり諸國より參拜する者四季此地に集まり繁盛なり。町に神宮司廳、度會郡役所、區裁判所支部、稅務署、縣立第四中學校、神宮皇學館の所在地なり最も繁華なる町は常盤町、八日市場町、古市町等なり。

宗廟豐受大神宮一に外宮と稱すは山田町の南端停車場を出で直ちに南向すれば詣ずるを得べし。宮居は寛濶幽邃にして社殿また森嚴を極む、本社には豐受太神を祀り、瓊々杵尊天兒屋命、大玉命を配し、雄略天皇の二十二年七月之れを創建すと傳ふ。毎二十一年遷宮式を行はせらる、外宮神苑の前に農業館あり、豐受太神宮の神徳に因み明治二十四年初めて之れを建設して記念となせり現今出品數三萬に近く學理と實際を參酌して選擇分類し斯業の現況を觀察せしめ有益の事業たり。

此地の名産は春慶塗、宮木箸、篠笛、茶、紙葺入等にして朝熊山には有名なる萬金丹の本家あり。

附近岡本町の南に宮崎文庫あり、慶安元年の創建にして藏書二萬餘卷往昔室鳩巢、貝

原益軒、伊藤東涯等來りて閱結講演せし所と云ふ外宮の近傍高倉山の丘陵に天の岩戸なるものあり、蓋し塚穴の極めて宏大なるものならんが有名なり。

市況

靈場の地にして諸國より參拜者群集するを以て旅館料理店の顯しく發達す水産物漆器問屋雨傘商土産物商繁盛を極め其他の商業

町名

宇治館町	八日市場町
同浦口町	同浦口町
同古市町	同中島町
山田尾上町	同中ノ切町
同吹上町	同中ノ町
同一ノ木町	山田倭町
同宮後町	同岩淵町
會彌町	同船江町
同常磐町	逢坂峠
同辻久留町	同大世古町
同今在家町	下中ノ郷町
同櫻木町	同二俣町
同久世戸町	同宮川町
同岡本町	本宮川町
同河崎町	
同豊川町	
同志久保町	

は比較的發達せざるも概して富の平均し勢況なり商工業の機關山田銀行は明治二十七年の設立にして信用厚く其他重要な諸會社商工者の重なる者を擧ぐれば別記の者等とす。

神社港

宇治山田市の東北約二里の處なり沙合河口

と相對し、灣内水淺きも、海上參宮の要港に當るを以て大阪商船會社の汽船定期茲に寄港し、又熱田との間に小汽船を往復し市街の小規模なるに比して商業發達す。

大湊港

神社港より十數町なり宮川の河口にあり古來航海業と造船業とを以て其名高し、現在に於ても縣内重要な工業地として造船及船用鐵器の製造地なり大湊造船所、市川造船所松崎造船所、内田造船所、菊川鐵工場等其

神宮司廳	神宮皆學館
縣立第四中學校	臨濟宗 光明寺 岩淵町
宮崎文庫	淨土宗 寂照寺 宇治中之町
徵古館	西行庵址 館町字岩井田山
農業館	

主なるものにして今又造船徒弟學校の設けあり。

二見ヶ浦

宇治山田より東北約二里電氣鐵道の便あり二見村大字江村の海濱にあり海を隔て近く參尾の山岳より遠く駿信の峻峯を望み風景掬すべし、殊に此の浦をして其名を高からしめしは海岸十數間を隔て、相對する立石の存在にして、御荷鉢系に屬する輝石より成れる蒼黒色の奇巖が波濤に洗はれて兩々相對峙する状宛も自然の門戸の如し、もし

夫れ水平線上瞳々として上り來れる旭日を其間に迎ふるの偉觀は實に天下の絶景と稱せらる、附近海中に亦鯨石、鼻岩鷄冠岩、屏風等の奇石あり、孰れも同様の岩石の風浪の浸蝕を受けて種々の奇形を呈せるものあり、毎年一月元旦庶民群集して此の浦に旭日を拜する習慣あり沿岸の地肆店軒を並べて多く貝細工を鬻ぐ、其東端水蝕より成れる小洞窟ありて、俗に天ノ窟戸と稱し旅人また此に賽するもの多し、近來海水浴場を設け來浴者年毎に殖へたり。

附近名勝 朝熊山は四郷村に屬し山上の風光よし金剛證寺、山下には朝熊神社あり音無山は東二見村大字江村にあり大江寺あり義盛物見松も尙存す土木家河村瑞軒、甘諸先生、青木昆陽は此の國に生る。二見浦附近には鯨石、屏風岩等奇岩多し。

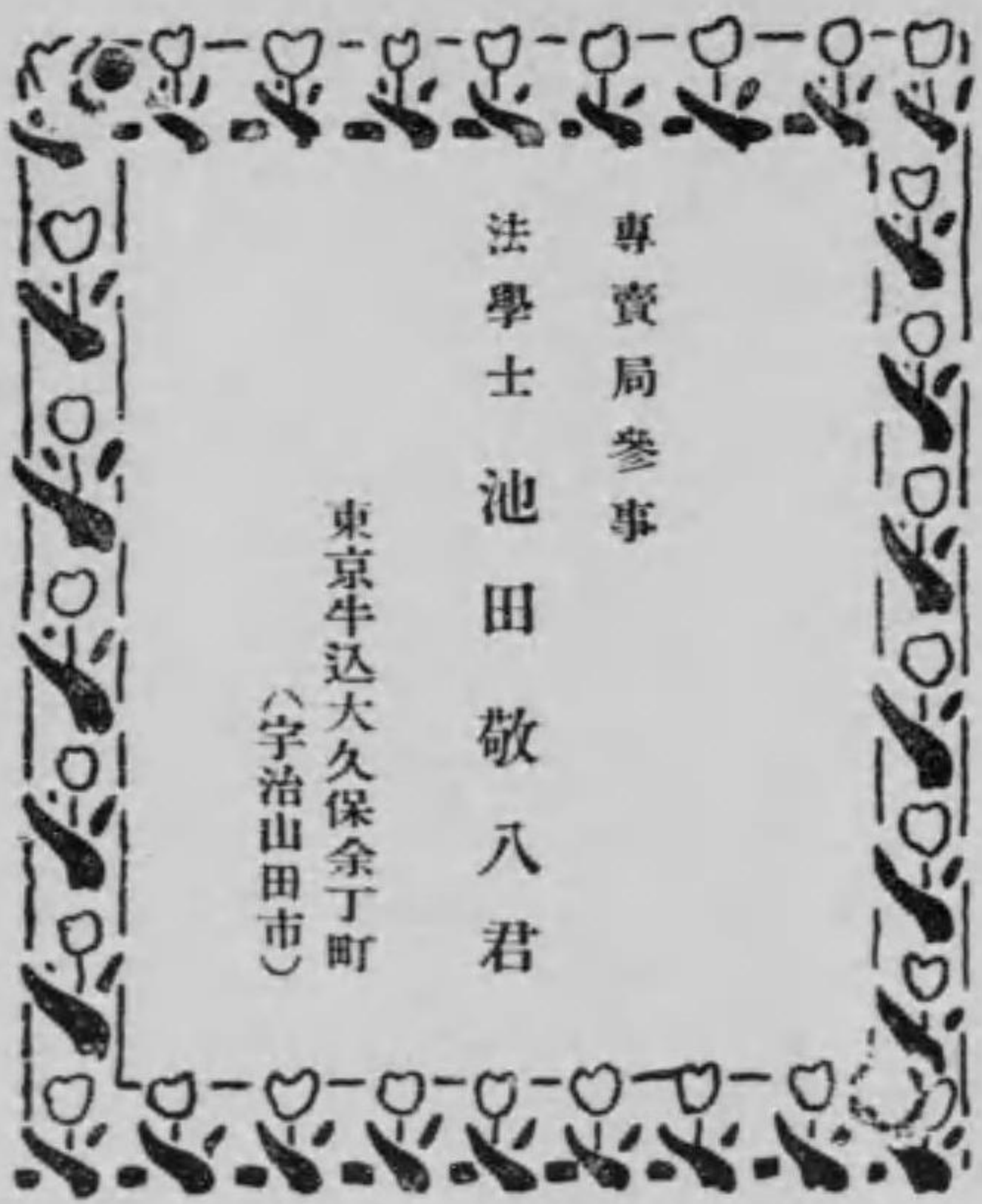
官衙所在地

宇治山田市役所	大字本岡町
度會郡役所	大字岩淵町
宇治山田稅務署	大字下中ノ郷町
山田郵便局	大字岡本町
山田區裁判所	大字岩淵町
宇治山田分監	大字岩淵町

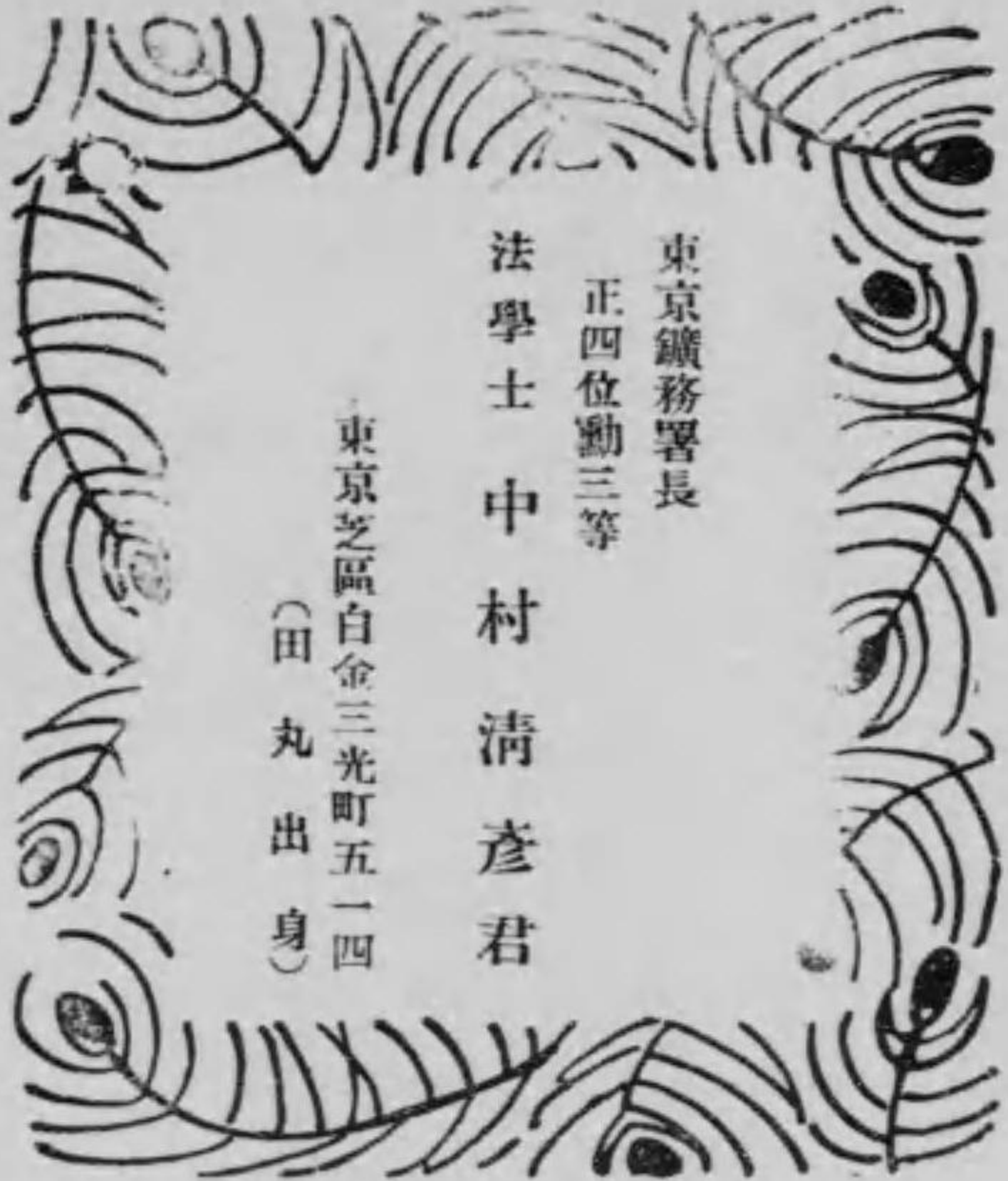








專賣局參事  
法學士 池田敬八君  
東京牛込大久保余丁町  
(宇治山田市)



東京鐵務署長  
正四位勳三等  
法學士 中村清彦君  
東京芝區白金三光町五一四  
(田丸出身)



岐阜地方裁判所長  
正五位勳四等  
三浦順太郎君  
岐阜  
(度會郡一之瀬出身)

■ 資 産 家 所得税千圓以上

○ 今在家町

越中こさい  
正木貞吉  
西澤清兵衛  
磯部百三  
森井セツ  
山田岩次郎

○ 古市町

永澄嘉平  
山崎曲藤  
谷口文吉  
永田佐平  
山上政吉  
小原信行  
今井道三  
角前政吉  
熊谷小太郎

○ 岡本町

濱田國松  
村井涼藏  
尾崎八束  
片岡善兵衛  
加藤章之助  
揚そめ  
酒徳虎五郎  
小西さぬ  
徳村徳兵衛  
森田實吉  
松原利吉  
岡本種松  
太田小三郎  
白井清榮門

○ 本 町

西田周吉  
多田龜太郎  
辻岡眞一  
橋本佐兵衛  
大澤景美  
杉本齊之助  
西村かつ  
西田米太郎  
矢島錦藏  
西塚泰三郎

○ 宮後町

佐伯市太郎  
八木清三郎  
鈴木正兵衛  
米田耕作  
木村春太郎  
河村清兵衛  
齋藤一  
福地内廉  
森井庄太郎  
坂本彌三  
深澤徳吉  
中村兼吉  
大西六郎兵衛  
高橋治郎七  
川北正吉  
安藤勇

度會郡四鄉村朝熊 野間 國彦君



衆議院議員辯護士勳四等

濱

田國松君  
宇治山田市岡本町

雨傘製造 山田市宮後町  
三木屋貞次郎  
各賞牌受領

國產傘 宇治山田市二俣町  
田邊 猶三  
各博覽會共進會等ニ於テ賞牌受領

國產傘松竹梅 同市浦口町  
新案特許器械製傘彈山本德松  
並雨傘原料卸問屋 振替東京二二一六五

雨傘發賣所 同市河崎町  
東金屋甚九郎

紙煙草入 同市中ノ町  
紙製漆器製造 三忠支店  
輸出擬草紙 電話二四七 電略三四

賣藥 同市上尾町  
朝熊山萬金丹 野間國彦支店  
電話五三四 振替大阪七九八五  
東京一五六二二

藥局 同市曾彌町  
松崎藤九郎  
電話長一三三

國產漆器 同市河崎町  
角仙  
傘問屋 村田仙右衛門  
電話長七 振替大阪一〇四一

雜貨商 同市吹上町  
野村平八商店  
電話二三五 振替東京一三六四

壘表、麻苧、茶、馬具 同市常盤町  
商山川好次郎  
電話五四五



部本隊大三第兵工  
級六功等五勳位七正尉中兵工軍陸  
君男武間切小  
(身出村原穗郡會度)



第四師團司令部副官  
陸軍輜重兵中尉正七位勳五等  
檜垣貞勝君

(身出市田山)



醫術開業試驗附屬  
病院醫員 醫學士  
村井捨三君

(身出市田山) 三町來矢込牛京東



陸軍省人事局  
陸軍歩兵大尉  
正七位勳五等功五級  
中村鐵藏君

(身出市田山治宇)

遞信省管轄  
一等郵便局

私立宇仁田病院長  
醫學士 宇仁田 秀二郎君  
宇治山田市下中ノ郷町

津市大門町  
津郵便局 局長 青山卯三郎  
四日市中納屋町  
四日市郵便局 局長 岡出寅藤  
桑名郡桑名町  
桑名郵便局 局長 橋本定二  
宇治山田市岡本町  
山田郵便局 局長 山村清松

商船學校教諭  
從六位  
金 森 寅 吉君  
東京小石川區同心町十四  
(田丸出身)



東京下谷區車坂町十七  
島津製作所技師

小川弘太郎君

(身出市田山治字)



三共株式會社取締役

古田宗二郎君

東京市日本橋區室町三  
ノ十三共株式會社內  
(宇治山田市大世古町出身)



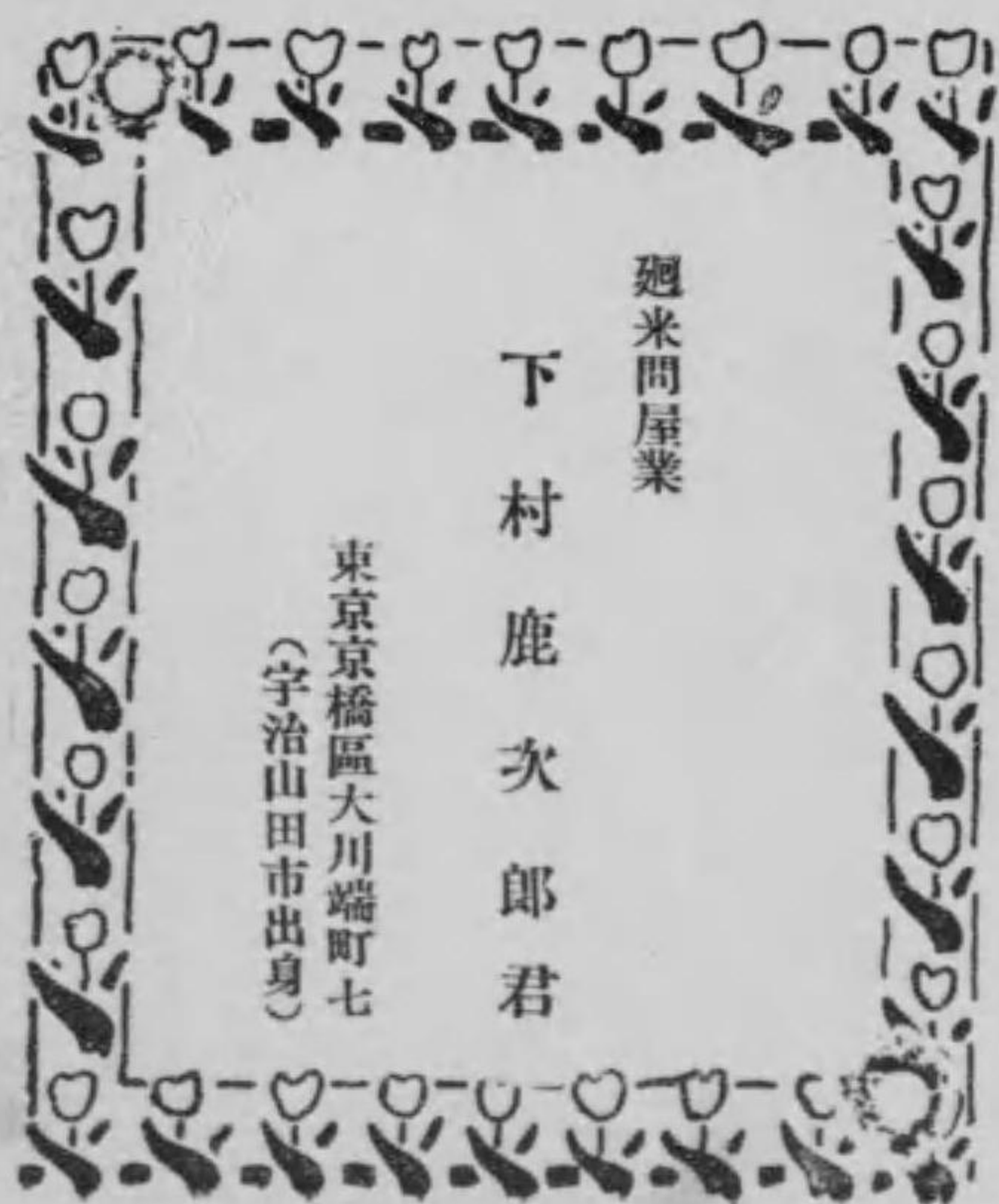
歩兵大尉

正七位勳五等

西村

茂君

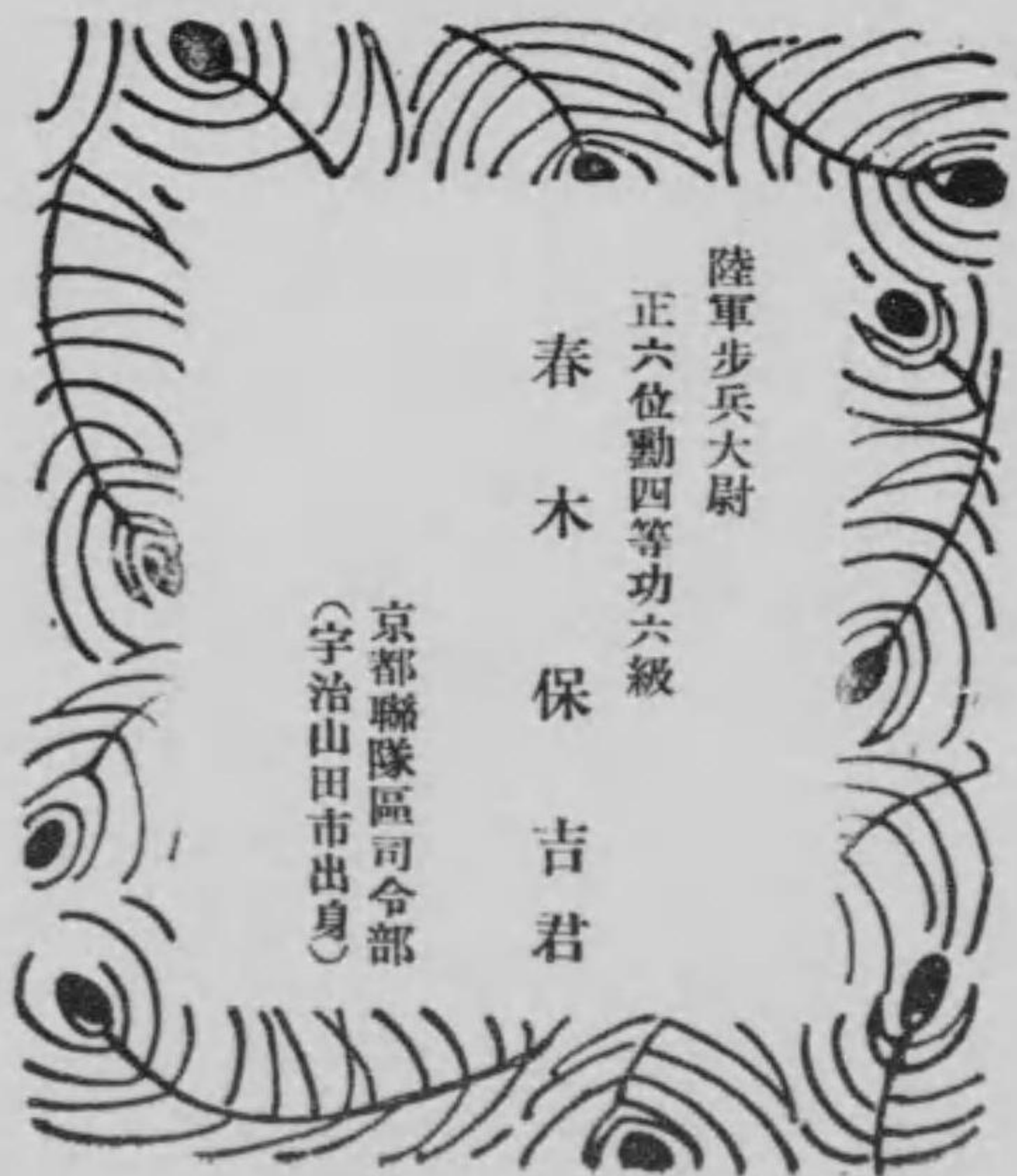
歩兵第九聯隊  
(度會郡柏崎村出身)



廻米問屋業

下村鹿次郎君

東京京橋區大川端町七  
(宇治山田市出身)

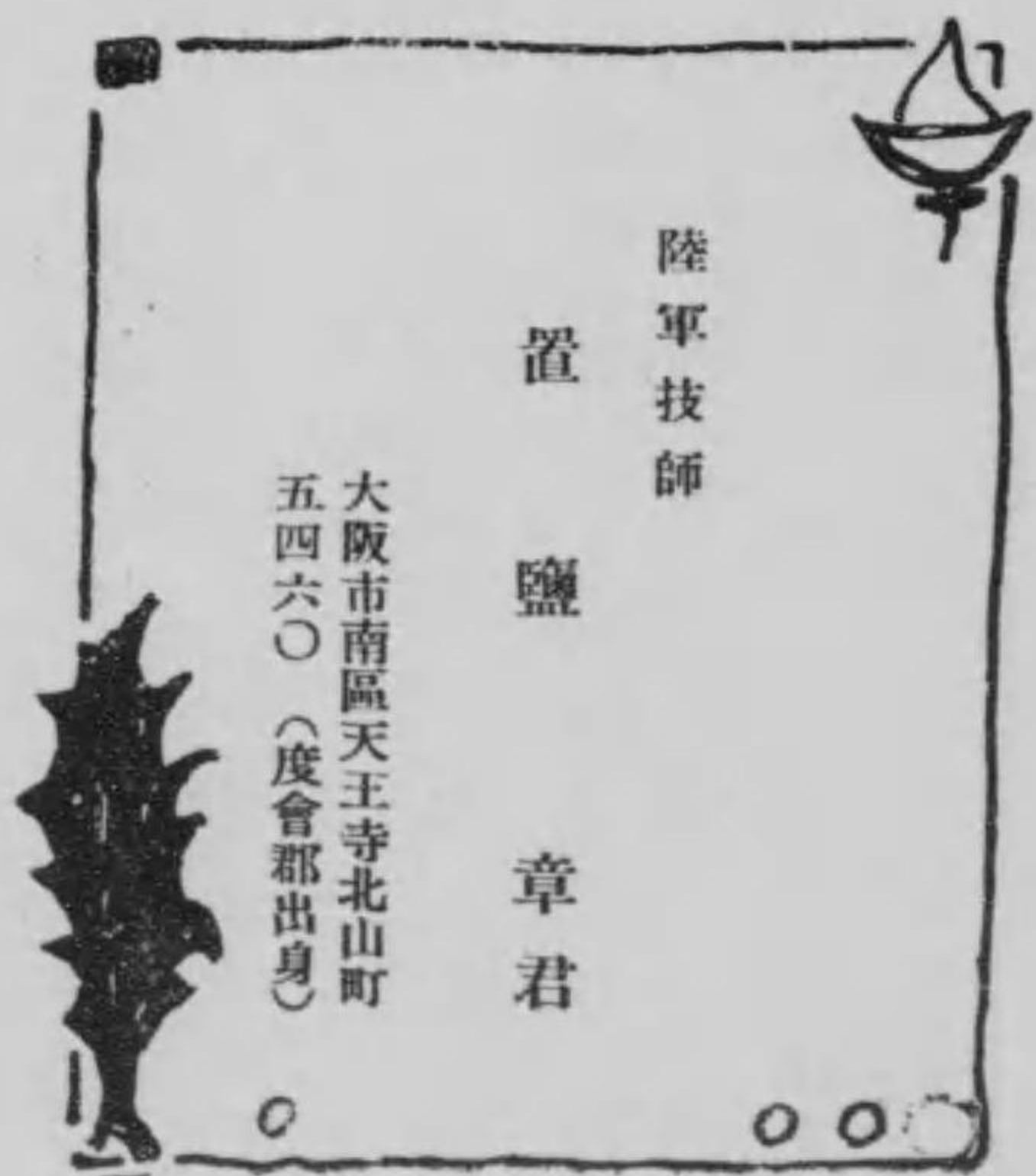


陸軍歩兵大尉

正六位勳四等功六級

春木保吉君

京都聯隊區司令部  
(宇治山田市出身)



陸軍技師

置鹽

章君

大阪市南區天王寺北山町  
五四六〇(度會郡出身)



教育家  
文學士  
中村 茂文君  
東京赤坂氷川町



實業家  
山本 徳松君  
宇治山田浦口町



杉木 齊吉君  
宇治山田市

同市 船江町  
油 惣  
内諸油商 橋村 總八  
電話長一五八 電略アフソ

同市 宮後町  
外諸油商 大西 六郎兵衛  
電話長六六 電略〇六(六)

同市 高柳  
油 安  
内外諸油商 北島 喜代藏  
電話長五三九

同市 岡本町  
和洋紙地金銀 青木 本店  
忠勇半紙發賣 元電話長一七〇

同市 常盤町  
砂糖石油 堀江 米藏  
壘表商 電話長五五一 電略ホヨ

同市 一志町  
砂糖商 佐野 豹八郎  
電話長一〇八 電略サノ

同市 河崎町  
内外砂糖 榎本 三右衛門  
粉小麥卸商 電話長一〇七 電略(エ)(エノモト)  
石油諸油

同市 中島町  
輸出、内地向 中川 久兵衛  
茶卸商 電話五二三 電略キウ

同市 宮後町  
鐵工業 阪本 彌三  
電話長二四八

同市 常盤町  
唧筒及製造 木下 喜助  
諸機械 電話二一四

久居歩兵五十一聯隊  
陸軍一等主計正六位勳四等

橋本國藏君



(身出村郷川小郡會度)

陸軍三等軍醫  
正八位

岡野友藏君



(身出田山)六町霞區布麻京東



遞信書記官

正六位 法學士

中西四郎君

東京遞信省構内官舎  
(山田市出身)

○中島町

- |        |        |
|--------|--------|
| 小林菊次郎  | 橋本半七   |
| 里和助次郎  | 藤坂與三松  |
| 東鹿次郎   | 山下相吉   |
| 小津幸次郎  | 野村四郎兵衛 |
| 長谷川要次郎 | 磯和喜十郎  |
| 多氣拾三郎  | 角田喜之吉  |
| 茂谷木地保  | 中村光藏   |
| 堀江清次郎  | 橋本藤五郎  |
| 梶谷由兵衛  | 中川久兵衛  |
| 岡田齊次郎  | 松島松三郎  |
| 村上權兵衛  | 山下四郎治  |

○八日市場町

- |        |        |
|--------|--------|
| 中北喜平   | 宇仁田仁兵衛 |
| 中岡助三郎  | 村瀬熊吉   |
| 藤原延太郎  | 樋口喜藏   |
| 川上安藏   | 慶谷藤之助  |
| 福島末義   | 橋本六之助  |
| 坂井伊之助  | 森田恆    |
| 小西清香   | 秋山鋼太郎  |
| 西川武右衛門 |        |

○一志久保町

- |       |       |
|-------|-------|
| 島田長七  | 寺田縫之助 |
| 七家善八  | 山崎金長  |
| 佐野豹八郎 | 加藤さくゑ |
| 小川長之助 | 西井安兵衛 |
| 岡島卯吉  | 長尾彌七  |

(以下別紙)

宇治山田市岡本町八  
吳服物商 加藤章之助  
電話四五二

同市吹上町  
吳服物商 竹内善兵衛  
電話長五四 振替大阪一六五三

同市本町  
吳服物商 辻定七  
電話三二一

同市曾禰町  
吳服物商 松田齊助  
電話二二九

同市河崎町  
吳服物商 松本總五郎  
電話五二三

同市中島町  
吳服物商 松島松三郎

同市一志久町  
吳服物商 瓢織木綿製造卸 七家善八  
電話長二六三 電略(シチカ)

同市中ノ郷町  
小間物卸商 朝熊萬金丹 人參入風藥 中山後平  
電話三〇九 電略ナカ

同市曾禰町  
婦人小間物商 五富利支店 永田榮吉  
電話三二二(乙)

同市中ノ郷町  
繭絲問屋 北村利平  
電話三〇三 電略キタリ(キ)

宇治山田市二俣町  
生絲製造 度會製絲場  
電話三三五 電略イト

同市曾禰町  
綿絲商 五富利金吾  
電話三二二 電略五

同市河崎町  
麻苧商 漁網、綿然、絲 竹村勘太郎  
電話四〇二 電略タケ

同市河崎町  
綿五商店  
內外麻苧、漁網、綿絲、疊表 上野五兵衛  
電話一四八 電略五(又)ワタ五

同市岡本町  
國產漆器 塗箸商 井林次雄  
振替東京一三九二六

同市岡本町  
漆器問屋 塗箸問屋 橋本佐兵衛  
電話長四六 電略ハシミ

同市岡本町  
漆器問屋商 塗箸雜貨商 片岡善兵衛  
電話長五五

同市中ノ郷町  
國產漆器 塗箸匙問屋 杉重三郎  
電話長四二三 電略スキ

同市吹上町  
陶器商 野村平七  
電話三五八

同市吹上町  
傘問屋 西村圓吉



宇治山田市中ノ郷町  
精米雜穀 羽室庄助  
電話五〇四

山田市中島町  
丹羽商店

肥米穀料商 丹波増太郎  
電話長三三四 電略ニハ(又)二

宇治山田市川崎町  
肥米穀料商 西川安吉  
電話長一二六 電略ニシカワ(ニ)

宇治山田市古市町  
精米穀料商 米萬 徳村徳次郎

同 河崎町 大和屋  
肥料、酒、醬油商 川喜田彌助  
振替大阪一四六三八 電略(カ)

同 河崎町  
肥米穀料商 村松合資會社  
電話長五七七 電略(ムラ)

同 中島町  
精米穀料商 多氣治三郎  
電話三六五

同 曾禰町 米増商店  
米穀問屋 中西増吉  
電話一六四 電略マス(マ)

同 曾禰町  
精米穀料兼業 中辻久吉

同 中島町  
精米穀料業 糶谷由兵衛  
電話六一一

宇治山田市河崎町  
東倉商店  
内外米穀 委託問屋 東倉松吉  
電話六四 電略カネト(又)ト

同 曾禰町 佐野屋  
精米穀及米業 佐藤林藏

同 浦口町  
雜米穀料商 平井莊作

同 中島町  
醬油製造商 橋本藤五郎  
鹽、素麵商 電話四三五

同 河崎町 榎屋  
味噌醬油問屋 山崎道治  
各地醬油問屋 電話長四二四 電略(マス)

同 大世古町 山田商會  
市場業果物問屋 中西庄助  
青物乾物 電話(サナ)

同 河崎町 ヤマ五本店  
水産問屋 山下五郎兵衛  
電話五二九 電略ヤマ五(又)ヤ

同 一ノ木町 山田青物問屋  
青物乾物 果實委託 世古善兵衛  
電話長一一〇 電略(セコ)

同 河崎町  
魚問屋業 伊勢水産株式會社  
電話長五二 電略口三(又)口

同 河崎町  
水産問屋業 株式會社魚商會  
電話長三二四 電略(シヨウ)

志摩國志摩郡鳥羽町

西北は伊勢に連なり、東南北は海に瀕したる半島國にして東西三里南北七里に互り面積二十方里あり、元二郡なりしが現時志摩郡一郡にして、維新の際には鳥羽藩ありて鳥羽縣を置かれしことあり、山岳山伏峠、逢阪山、日和山、淺間山等にして河川の重なるもの神路川、加茂川なり、港灣鳥羽、的矢、安乘、小濱ありて出入甚し陸運は不便なるも海運は頗る盛にして遠く横濱大阪等の東西より汽船往來し熊野沖遠洲灘を通るの船舶の風波に漕逢すれば常に避灘の良津なり鳥羽港は伊勢海の口に當り灣内迂餘曲折し東北は深さ三尋より五尋に至る深さあり。

荅志、菅、坂手等の諸島其の間に羅列し天然の良港を爲し府城址は海に枕して一廓を爲し風景頗る佳なり町の西北隅に日和山の小丘あり羅布せらる、大小の島嶼を俯瞰し伊勢海をへだて、晴天東方遙かに富士山を望むを得べし、舟子必ず此の丘に登りて天候を相すと云ふ故に日和山の名あり、眺望の絶佳縣下無双とす。荅志島には九鬼嘉隆の墓あり、桃取辨天島は桃取村にあり渺たる小島なれ共風景絶佳夏時納涼の好適地たり。菅島の東端白崎に菅島燈臺あり、神島は千載集に「卯の花にいてことノ、し神島の波もさこそは岩をこえしか」とあるは此の島にして有名なる海門の難所なり、朝熊山は縣内有數の勝地にして頂上に在る古刹金剛證寺は本尊虚空藏菩薩を祀り像は、空海の作、又曇見峰の東麓に吞海庵と云ふあり、所謂十八ヶ國一望し得る勝地なり。

會都鳥羽町の町況

二見ヶ浦の東一里許の處たり宇治山田市を距る約五里にして諸官衙の所在地なり造船業、漁業商多く又海水浴場のある處なるを以て繁盛なり、鳥羽港を控へ船舶の寄港するを以て町勢活氣を呈す名産に綿木綿東海婦人(貝名)等なり。

志摩郡

警察管轄

役場所在地

町	鳥羽	安乘	的矢	磯部	長岡	國府	鏡浦	坂手	加茂	神島	荅志	桃取	菅島	神島	鶴方	甲賀	立神	志島	波切	名田	船越	片田	布田	和賀	越賀	
村	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
名	鳥羽	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
志摩郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
警察管轄	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
役場所在地	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同



(鳥羽町出身)

海軍艦型試験所長  
近藤基樹君

■志摩郡村名

加茂村	御座村	船越村	濱島村	波切村	神明村	長岡村	國府村	坂手村	鳥羽町
	答志村	布施田村	志島村	片田村	甲賀村	安乘村	鶴方村	鏡浦村	桃取村
	菅島村	和貝村	名田村	越賀村	畔名村	磯部村	立神村	的矢村	神島村

■官衛

志摩郡役所	鳥羽警察署	波切分署	鳥羽商船學校	水産試験場	鳥羽町役場	崎島水産學校
鳥羽町	鳥羽町	波切町	鳥羽町	濱島村	鳥羽町	和貝村

■名勝

城址 海に臨みて風光よく九名勝の撰あり。

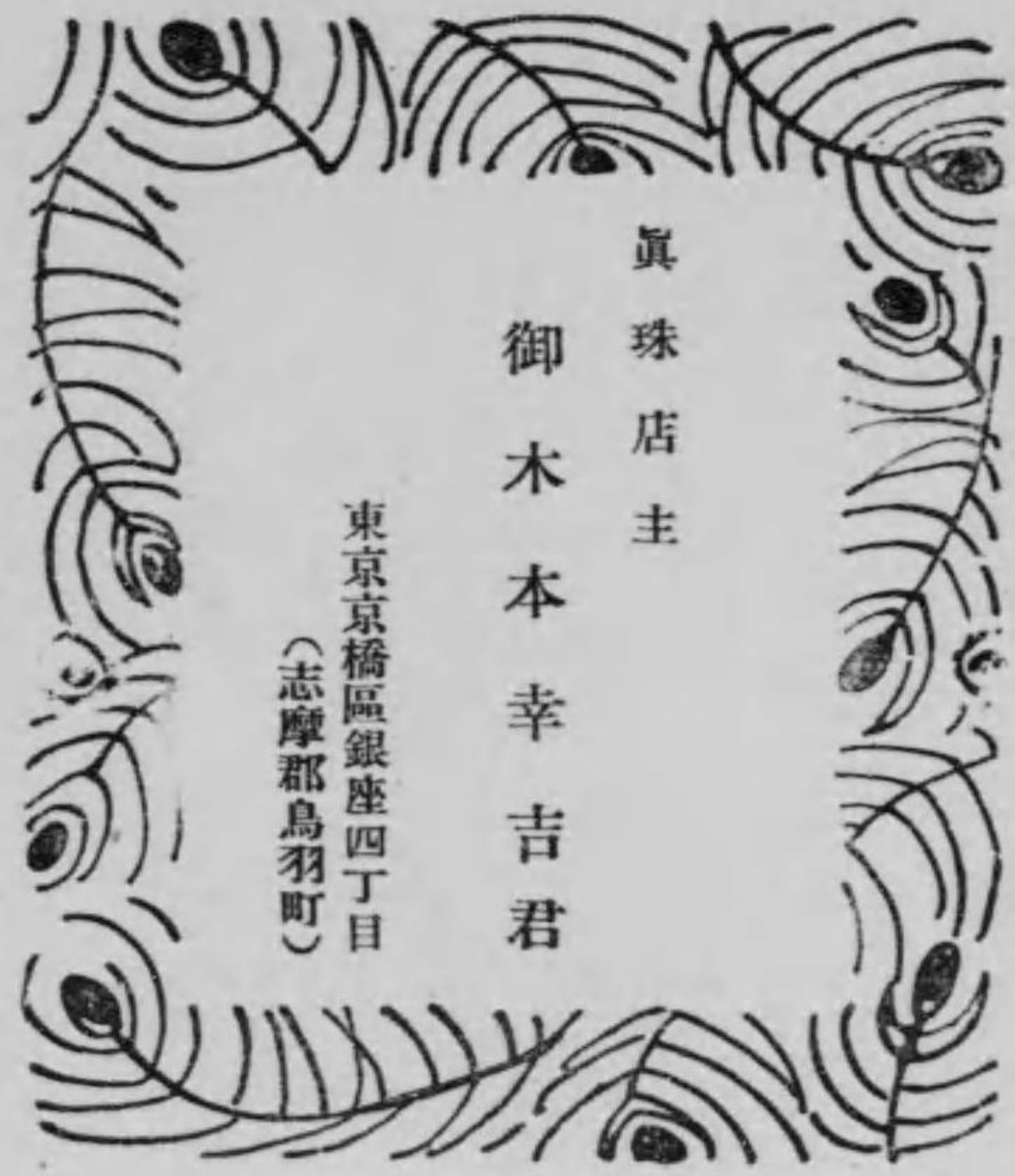
伊雜宮 俗に磯部宮所在は磯部村大字上之郷。

正福寺 加茂村大字松尾に在り、西明寺は長岡村大字畔蛸に在り。

安乘崎 安乘村東北の山尾、大王崎は波切村の東南に突出す共に海觀雄壯なり。

濱島港 良港灣にして熊野沖を往來するもの必ず寄泊し港内常に帆檣林立す。

答志島 周回六里鳥羽の北二里尙、管島、坂手、神島何れも住民を有す。





(身出町羽鳥)

官吏  
加藤素一郎君  
東京牛久富辨天町一三四



(身出町羽鳥郡摩志)

農商務省鐵務技師 從六位  
東京府下下澁谷豐澤一六九八  
森島佐市郎君

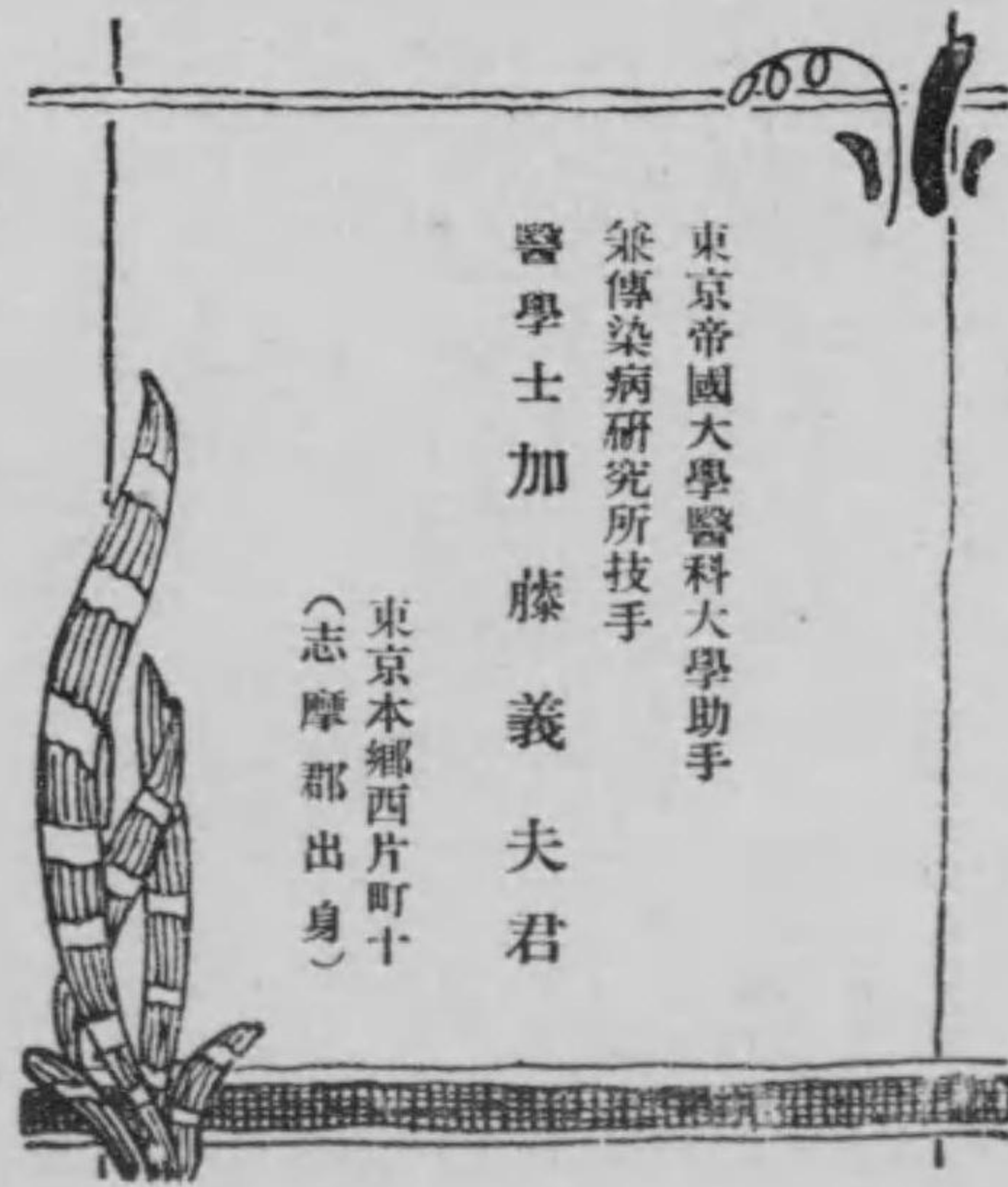


(身出郡摩志)

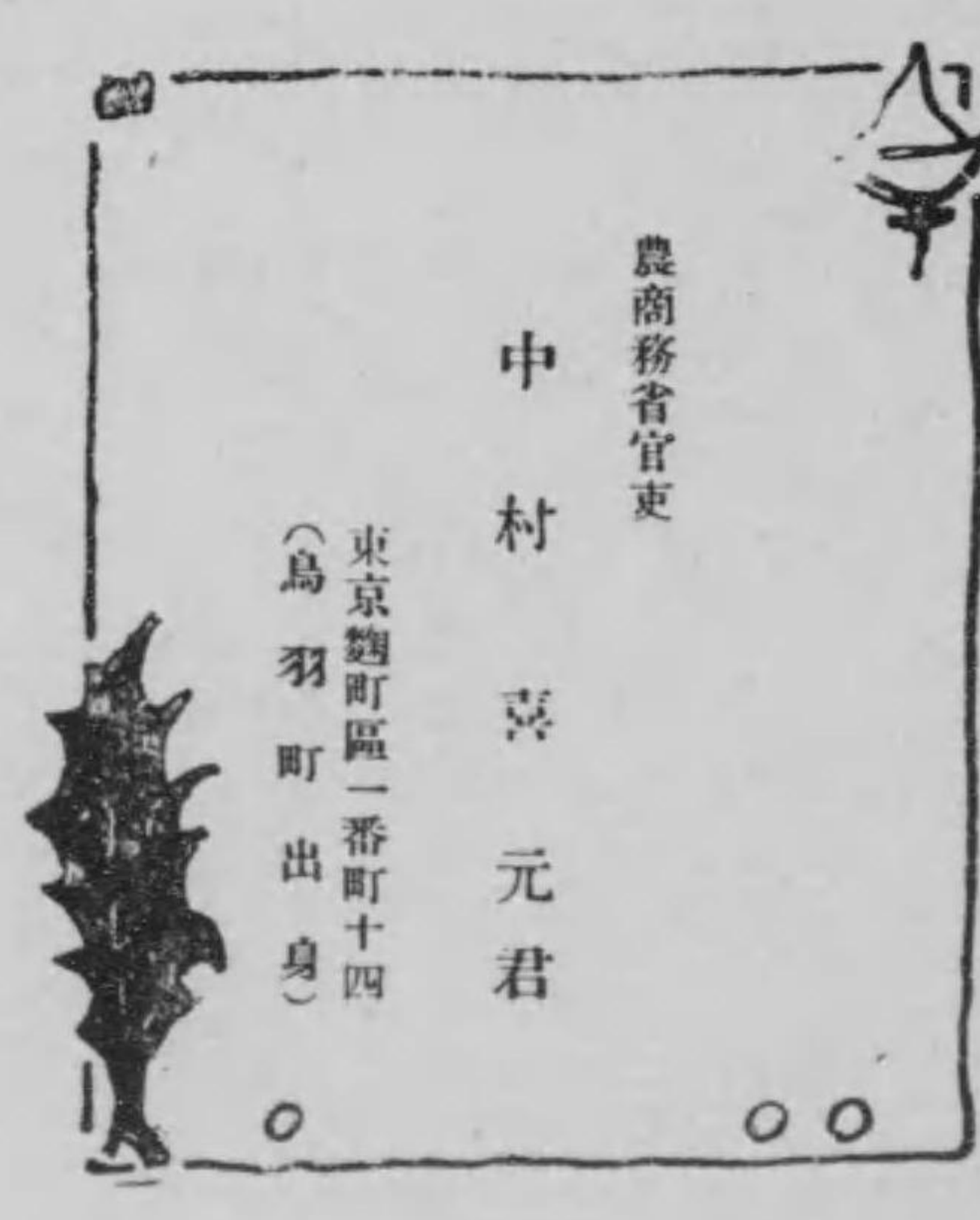
三井物産參事  
御酒本徳松君  
東京赤坂區青山高樹町



內務技師從六位  
工學士大久保清長君  
東京府北品川長者町二四八



東京帝國大學醫科大學助手  
兼傳染病研究所技師  
醫學士加藤義夫君  
東京本郷西片町十  
(志摩郡出身)



農商務省官吏  
中村喜元君  
東京麴町區一番町十四  
(鳥羽町出身)